

海老名市立海西中学校屋内運動場大規模改修工事

図 面 リ ス ト					
図 面 番 号	図 面 名 称	図 面 番 号	図 面 名 称	図 面 番 号	図 面 名 称
No. A - 00	表紙・図面リスト	No. A - 26	ステージ ブドウ棚 舞台装置 詳細図	No. E - 01	電気設備改修工事特記仕様書
No. A - 01	特記仕様書(1)	No. A - 27	既存改修 1階天井伏せ図	No. E - 02	電灯設備 既存 1階平面図
No. A - 02	特記仕様書(2)	No. A - 28	既存改修 吹抜部天井伏せ図	No. E - 03	電灯設備 改修 1階平面図・平面詳細図
No. A - 03	特記仕様書(3)	No. A - 29	1階 キープラン表	No. E - 04	電灯設備 既存 2階平面図
No. A - 04	特記仕様書(4)	No. A - 30	吹抜け部 キープラン表	No. E - 05	電灯設備 改修 2階平面図
No. A - 05	案内図・配置図	No. A - 31	建具表(1)	No. E - 06	拡声設備 機器姿図
No. A - 06	特記事項・外壁改修内容一覧表	No. A - 32	建具表(2)	No. E - 07	音響設備 システムブロック図・機器姿図
No. A - 07	仕上表	No. A - 33	ホール 平面図・展開図	No. E - 08	通信・情報設備 既存 1階平面図
No. A - 08	既存 1階平面図	No. A - 34	既存改修 体育室床改修平面図	No. E - 09	通信・情報設備 改修 1階平面図・平面詳細図
No. A - 09	改修 1階平面図	No. A - 35	体育室床 詳細図	No. E - 10	通信・情報設備 既存 2階平面図
No. A - 10	既存 吹抜部平面図	No. A - 36	コートライン詳細図・基礎配置図	No. E - 11	通信・情報設備 改修 2階平面図
No. A - 11	改修 吹抜部平面図	No. A - 37	椅子収納台車・移動階段詳細図	No. E - 12	自動火災報知設備 既存 1階平面図
No. A - 12	既存 屋根伏せ図	No. A - 38	電動吊上式バスケットゴール詳細図	No. E - 13	自動火災報知設備 改修 1階平面図
No. A - 13	改修 屋根伏せ図	No. A - 39	壁面折畳みバスケットゴール 詳細図	No. E - 14	自動火災報知設備 既存 2階平面図
No. A - 14	既存改修 東側立面図	No. A - 40	改修 屋根詳細図	No. E - 15	自動火災報知設備 改修 2階平面図
No. A - 15	既存改修 西側立面図	No. A - 41	防水改修標準図	No. E - 16	電動吊上式バスケットゴールの制御盤(参考)
No. A - 16	既存改修 南側立面図	No. A - 42	外壁の改修工法ディテールシート(1)	No. M - 01	機械設備特記仕様書
No. A - 17	既存改修 北側立面図	No. A - 43	外壁の改修工法ディテールシート(2)	No. M - 02	空調設備 改修 1階平面図
No. A - 18	既存 断面図	No. A - 44	改修塗料等仕様書	No. M - 03	換気設備 改修 2階平面図
No. A - 19	改修 断面図	No. A - 45	雑詳細図(1)	No. M - 04	計装設備 改修 1階平面図
No. A - 20	既存 矩計図	No. A - 46	雑詳細図(2)		
No. A - 21	改修 矩計図	No. A - 47	仮設計画図(参考)		
No. A - 22	既存 体育室展開図(1)				
No. A - 23	既存 体育室展開図(2)				
No. A - 24	改修 体育室展開図(1)				
No. A - 25	改修 体育室展開図(2)				



外壁改修工事	⑨ ルーフドレイン	※ 鋳鉄製 ※ 縦型 ・ 横型	＜3.8.2＞＜表3.8.2＞			
	10. アルミニウム製笠木	部材の種類 ・ 押出 250形 ・ 板材折曲げ形 付属部品の材料、角各部並びに突当り部等の役物は、笠木本体製作所の仕様による。	＜3.9.2＞＜表3.9.1＞ ・ 押出 300形 ・ 押出 350形			
	⑪ 防水保証	表面処理 ※ B－1種 ・ B－2種	＜3.9.2＞＜表5.2.2＞ アスファルト防水、改質アスファルトシート防水及び合成高分子系ルーフィングシート防水の保証期間は、引渡しの日から10年間とし、施工業者との連名の保証書を提出する。 塗膜防水及びびケイ酸系塗布防水については、メーカー・防水業者が通常定めている期間として、作成し提出する。			
	① ひび割れ部改修	・ コンクリート打放し仕上げ 工 法	材 料	ひび割れの幅 (mm)	延べ長さ (m)	＜4.2.4～6＞
	※ シール工法	※ バテ状エポキシ樹脂 ・ 可とう性エポキシ樹脂		0.2未満		
	※ 樹脂注入工法	※ 硬質形エポキシ樹脂 ・ 軟質形エポキシ樹脂	0.2～0.3未満 0.3～0.5未満 0.5～1.0未満			
	※ Uカットシール材充てん工法	※ 可とう性エポキシ樹脂	0.2～0.3未満 0.3～0.5未満 0.5～1.0未満			
	・ モルタル塗り仕上げ 工 法	材 料	ひび割れの幅 (mm)	延べ長さ (m)	＜4.3.5～7＞	
	※ シール工法	※ バテ状エポキシ樹脂 ・ 可とう性エポキシ樹脂		0.2未満		
	※ 樹脂注入工法	※ 硬質形エポキシ樹脂 ・ 軟質形エポキシ樹脂	0.2～0.3未満 0.3～0.5未満 0.5～1.0未満			
※ Uカットシール材充てん工法	※ 可とう性エポキシ樹脂 ・ シーリング材PU－2 ・ 可とう性エポキシ樹脂	0.2～0.3未満 0.3～0.5未満 0.5～1.0未満 1.0～1.5未満 1.5～2.0未満 ～ 未満				
・ タイル張り仕上げ 工 法	材 料	ひび割れの幅 (mm)	延べ長さ (m)	＜4.5.5～8＞＜4.5.16＞		
※ シール工法	※ バテ状エポキシ樹脂 ・ 可とう性エポキシ樹脂		0.2未満			
※ 樹脂注入工法	※ 硬質形エポキシ樹脂 ・ 軟質形エポキシ樹脂	0.2～0.3未満 0.3～0.5未満 0.5～1.0未満				
※ タイル貼り除去後 ・ Uカットシール材充てん工法 ・ 樹脂注入工法の上タイル張替え工法	※ 可とう性エポキシ樹脂 ・ シーリング材PU－2 ・ 可とう性エポキシ樹脂	0.2～0.3未満 0.3～0.5未満 0.5～1.0未満 1.0～1.5未満 1.5～2.0未満 ～ 未満				
・ タイル部分張替え工法	・ ポリマーセメントモルタル ・ エポキシ樹脂					
・ 目地ひび割れ改修工法	※ 既製調合目地材					
・ 樹脂注入工法	＜4.3.4(c)＞					
ひび割れの幅 (mm)	0.2～0.3未満	0.3～0.5未満	0.5～1.0以下			
注入孔の間隔 (mm)	200程度	300程度	300程度			
注 入 量 (cc/cm)						
コアの抜取り検査	・ 行う	※ 行わない	＜4.3.4(f)＞			
・ コンクリート打放し仕上げ 工 法	材 料	平均深さ(mm)	延べ面積(㎡)	＜4.2.7＞		
※ 充てん工法	エポキシ樹脂モルタル	20～30未満 30～40未満				
	ポリマーセメントモルタル	5～10未満 10～15未満 15～20未満				
・ モルタル塗り仕上げ 工 法	材 料	平均深さ(mm)	延べ面積(㎡)	＜4.3.8～9＞		
※ 充てん工法	エポキシ樹脂モルタル	20～30未満 30～40未満				
	ポリマーセメントモルタル	5～10未満 10～15未満 15～20未満				
・ モルタル塗替え工法	・ ＜表4.4.1＞による	20程度 う下地25程度				
	・ ポリマーセメントモルタル					
・ タイル張り仕上げ 工 法	材 料	平均深さ(mm)	延べ面積(㎡)	＜4.4.7～8＞		
※ タイル部分張替え工法	エポキシ樹脂モルタル	20～30未満 30～40未満				
	ポリマーセメントモルタル	10～15未満 15～20未満 ～				
・ タイル張替え工法						

③ 浮き部改修	・ モルタル塗り仕上げ	＜4.3.4＞＜4.3.9～13＞				
	工 法	1箇所の面積 (㎡)	浮き代 (mm)	アンカーピン (本/㎡)	注 入 口 (箇/㎡)	延べ面積 (㎡)
	・ アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	0.25未満		※16・ ※25・		
	・ アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	0.25以上	1.0以下	※13・ ※20・	※12・	
	・ アンカーピンニング全面 ポリマーセメント スラリー注入工法	0.25以上	1.0を 越える	※13・ ※20・	※12・	
	・ 注入口付アンカーピン ニング部分エポキシ 樹脂注入工法	0.25未満		※9・ ※16・		
	・ 注入口付アンカーピン ニング全面エポキシ 樹脂注入工法	0.25以上	1.0以下	※9・ ※16・		
	・ 注入口付アンカーピン ニング全面ポリマー セメントスラリー 注入工法	0.25未満		※16・	※16・	
	・ 充てん工法					
	・ モルタル塗替え工法					
・ タイル張り仕上げ	＜4.5.4＞＜4.5.7～15＞					
	工 法	1箇所の面積 (㎡)	浮き代 (mm)	アンカーピン (本/㎡)	注 入 口 (箇/㎡)	延べ面積 (㎡)
	・ アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	0.25未満		※16・ ※25・		
	・ アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	0.25以上	1.0以下	※13・ ※20・	※12・	
	・ アンカーピンニング全面 ポリマーセメント スラリー注入工法	0.25以上	1.0を 越える	※13・ ※20・	※12・	
	・ 注入口付アンカーピン ニング部分エポキシ 樹脂注入工法	0.25未満		※9・ ※16・		
	・ 注入口付アンカーピン ニング全面エポキシ 樹脂注入工法	0.25以上	1.0以下	※9・ ※16・	※9・ ※16・	
	・ 注入口付アンカーピン ニング全面ポリマー セメントスラリー 注入工法	0.25以上	1.0を 越える	※9・ ※16・	※9・ ※16・	
	・ タイル部分張替え工法	0.25未満				
・ タイル張替え工法						
アンカーピンの材質	＜4.2.2＞ ※ ＜4.2.2(e)(f)＞による。 アンカーピン固定用エポキシ樹脂 ※ JIS A6024のJIS表示認証製品 ※硬質 高粘度形 注 入 用 エポキシ樹脂 ※ JIS A6024のJIS表示認証製品					
タイルの種類	＜4.5.8＞＜6.16.3＞					
施工箇所	形状 寸法 (mm)	き じ 磁器陶器 せつ 器	うわぐすり 施 無 施 ゆう ゆう	役物 有 無	色 標準	再生材 利用 タイル
		・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・
		・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・
		・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・	・ ・ ・ ・ ・
タイル張替え工法のタイル張り工法は、＜表4.5.3＞により、小口タイル以上二丁掛け以下は密着張りとする。						
⑤ 塗り仕上げ外壁	＜4.5.1＞＜4.5.2＞＜表4.5.1＞					
	規格名称	種類(呼び名)	仕上の形状	工 法	上塗り材	
・ 薄付け 仕上塗材	・ 外装薄塗材E ・ 仕上塗材	・ 砂壁状 ・ 砂壁状 じゅらく	※吹付け ・ ローラー			
・ 厚付け 仕上塗材	・ 外装厚塗材C ・ 外装厚塗材E ・		※吹付け ・ こて			
○複層仕上塗材	・ 複層塗材OE ※複層塗材E ・ 複層塗材RS ・ 複層塗材RE ・ 複層塗材SI ○防水形 複層塗材E ・ 防水形 複層塗材RS ・	・ ゆず肌 ・ 凸部処理 ○凸凹模様	※吹付け ・ ローラー	溶剤 ※水系 ・ 弱溶剤系 外観 ※つやあり ・ メタリック 樹脂 ※アクリル系 ・ シリカ系 ・ ポリウレタン系 ※アクリル シリコン系 (可とう形改修用 塗材の場合) ○ フッ素系		
・ 可とう形改修用仕上塗材	※可とう形改修塗材E ・ 可とう形改修塗材RE ・ 可とう形改修塗材CE	※ゆず肌 ・ さざ波	※吹付け ・ ローラー			
・ 軽量骨材仕上塗材	・ 吹付け用 軽量塗材 ・ こて塗用 軽量塗材	・ 砂壁状 ・ 平坦な状	・ 吹付け ・ こて塗り			
仕上塗材の耐候性	※ 耐候形1種 (可とう形改修塗材の場合) ・ 耐候形2種 ※ 耐候形3種 (可とう形改修塗材以外の場合)					

⑥ 壁仕上げ既存塗膜等の除去及び下地処理	塗膜の劣化部の除去工法	処 理 範 囲		＜4.7.4＞	
	・ サンダー工法 ○ 高圧水洗工法 ・ 塗膜はく離剤工法 ・ 水洗い工法	※ 既存仕上面全体 ○ 図示(10～15Mpa程度)			
5 ① 一般事項	改修工法 ・ かぶせ工法 ○ 撤去工法 新規建具周囲の補修方法及び範囲は図示による。			＜5.1.3＞	
建具改修工事	見本の作成等			＜5.1.5＞	
	製 作	※ 行わない	・ 行う(建具表による)		
	仮 組	※ 行わない	・ 行う(建具表による)		
	防犯建物部品	※ 使用しない	・ 使用する(建具表による)	＜5.1.7＞	
	外部に面する建具	＜5.2.2＞＜5.2.4＞＜表5.2.1＞ 種 別 耐風圧性 気密性 水密性 枠の見込み寸法(mm) ○ A 種 S－4 A－3 W－4 70(引違い、片引き、上げ下げ窓 て複層ガラスを使用する時に 性能が確保できない場合は、 100) ・ B 種 S－5 ・ C 種 S－6 A－4 W－5 ※100			
	※ 適用箇所は図示による				
	表面処理	外部に面する建具 内部 建 具	※ B－1種 ※ C－1種	・ B－2種 ・ C－2種	
	B－2種、C－2種の場合	・ ブロンズカラー(※標準色 ・濃色) ・ ステンカラー			
	防音ドアセット、防音サッシ	・ 適用する(適用範囲は図示による) ※ 適用しない ・ T－1 ・ T－2 ・ T－3			
	断熱ドアセット、断熱サッシ	・ 適用する(適用範囲は図示による) ※ 適用しない ・ H－2 ・ H－3			
耐震ドアセット、耐震サッシ	・ 適用する(適用範囲は図示による) ※ 適用しない ・ D－1 ・ D－2				
3. 網戸	使用方法による区分	※外面納まりの可動式 ・ 内部納まりの開き式		＜5.2.3＞	
4. 樹脂製建具	防虫網(線径0.25mm 網目16～18メッシュ) ・ ガラス繊維入り合成樹脂	※ステンレス(SUS 316) ※合成樹脂			
	防鳥網 ※ステンレス(SUS304)線径1.5mm ピッチ15mm				
	外部に面する建具性能等級等	＜5.3.2＞＜表5.3.1＞ 種 別 耐風圧性 気密性 水密性 枠の見込み寸法(mm) ・ A 種 S－4 ・ B 種 S－5 ・ C 種 S－6 A－4 W－5 ※建具表による			
	※ 適用箇所は図示による				
	防音ドアセット、防音サッシ	＜5.3.2＞ ・ 適用する(適用範囲は図示による) ※ 適用しない 適用する場合の遮音性の等級 ・ T－A種 ・ T－B種			
	断熱ドアセット、断熱サッシ	＜表5.3.2＞ ・ 適用する(適用範囲は図示による) ※ 適用しない 適用する場合の断熱性の等級 ・ H－A種 ・ H－B種			
	表面色	＜5.3.4＞ ・ 標準色(白) ・ 特注色(・黒 ・ブラウン ・シルバー)			
	簡易気密型ドアセット	＜5.4.2＞＜5.4.4＞＜表5.4.2＞ ※ 使用する(適用範囲は図示とする) 気密性 ※ A－3 水密性 ※ W－1 ・ 使用しない			
	外部に面する建具の耐風圧性	※ S－4 ・ S－5			
	建具寸法が＜5.4.2＞を超える又は図示された建具に使用する鋼板類の厚さ				
⑤ 鋼製軽量建具	区 分	使用箇所	厚さ (mm)		
	窓	枠類	枠 方 立、無目	＜表5.4.2＞に同じ	
	出入口	枠類	一般部分	2.3	
		戸	中骨	2.3	
	上配以外	＜表5.4.2＞に同じ			
	標準型鋼製建具	※ 使用する	・ 使用しない	＜5.3.6＞	
	簡易気密型ドアセット	＜5.5.2～4＞＜表5.5.1＞ ※ 使用する(適用箇所は図示による) 気密性 ※ A－3 ・ 使用しない			
	戸の鋼板	※ 表面処理亜鉛めっき鋼板 ・ ビニル被覆鋼板 ・ カラー鋼板			
	標準型鋼製軽量建具	※ 使用する	・ 使用しない	＜5.5.6＞	
	標準型鋼製軽量建具の小窓枠、がらり	※ 鋼製	・ アルミ製		
7. ステンレス製建具	簡易気密型ドアセット	＜5.6.2＞ ※ 使用する(適用範囲は図示とする) 気密性 ※ A－3 水密性 ※ W－1 ・ 使用しない			
外部に面する建具の耐風圧性	※ S－4 ・ S－5				
表面処理	・ HL			＜5.6.4＞	
鋼板の曲げ加工	※ 普通曲げ ・ かど出し曲げ			＜5.6.6＞	

8. 木製建具	建具材の加工、組立時の含水率 ・ A種 ※ B種 ・ C種 かまち戸の樹種 かまちは杉上小節程度 棧、鏡板は杉無節程度 ふすまの上張り ※ 新鳥の子程度又はビニル紙程度 ふすまの種類 ※ 戸ふすま ・ 在来型 ・ チップ型 ＜5.7.2～4＞ ＜5.8.2＞＜表5.8.1＞				
⑨ 建具用金物	金 物 の 種 類	型 式	製 造 所		
	モノロック				
	本締り付きモノロック				
	シリンダー箱錠				
	シリンダー本締り錠				
	ドアクローザー	パラレル型			
	フロアビンジ				
	ビンジクローザー	内 蔵 型			
	ビボットビンジ		JIS表示認証製品		
	レバーハンドル	アルミ合金 レバー長さ L=130程度	錠前類と同一製造所とする。		
	標準型鋼製建具及び標準型軽量鋼製建具(準標準型共)のドアクローザー、シリンダー箱錠は公共工事標準型とする。				
	マスターキーの作成	・ 要	・ 不要	・ 不要(既存マスターキーで施錠可能とする。)	
10. 自動ドア開閉装置	性能	・ スライディングドア ・ スイングドア	＜5.9.2＞＜表5.9.1～2＞		
	センサーの種類	・ 光線式(反射)スイッチ ・ マットスイッチ式 ・ タッチスイッチ ※ 補助センサー併用 ・	＜5.9.3＞＜表5.9.4＞		
	凍結防止装置	・ 要	※ 不要		
	全半開装置	※ 設ける(半開幅=)	・ 設けない		
11. 重量シャッター	＜5.11.2＞＜表5.11.1＞				
	種 類	シャッター ケース	耐風圧 性能	開閉方式	保護装置
・ 一般シャッター	※ 設ける ・ 設けない	・ 50 ・ 80 ・ 120 ・	※ 上部電動式 (手動併用) ・ 上部手動式	障害物感知装置 (自動閉鎖型) ※ 設ける ・ 設けない	
・ 防火シャッター	※ 設ける ・	(JIS A 4705による強さの区分)	※ 上部電動式 (手動併用)	障害物感知装置 (自動閉鎖型)を設ける。	
・ 防煙シャッター					
12. 軽量シャッター	＜5.12.2～4＞＜表5.12.1＞				
	開閉形式	シャッター ケース	耐風圧 性能	スラットの 形状	保護装置
※ 手動式	※ 設ける	・ 50 ・ 65 ・ 80 ・	※ インター ロッキング型	障害物感知装置 (自動閉鎖型) ※ 設ける ・ 設けない	
・ 上部電動式 (手動併用)	・ 設けない	・ 80 ・	※ オーバー ラッピング型		
		(JIS A 4705による強さの区分)			
13. オーバーヘッドドア	＜5.13.2～3＞				
	材 質	開閉方式	収納形式	耐風圧性能	ガイドレール
※スチールタイプ	※ バランス式	※ スタン ダード形	・ 50 ・ 75 ・ 100 ・ 125	・ 50 ・ 75 ・ 100 ・ 125	※ 溶融垂鉛 メッキ銅板
・ アルミニウムタイプ	・ チェーン式 ・ 電動式	・ ロー ヘッド形	・ 100 ・ 125	・ 100 ・ 125	・ ステンレス 銅板
・ ファイバー グラスタイプ		・ ハイ リフト形 ・ パーチ カル形	・ 125 ・ 150 ・ 175	・ 125 ・ 150 ・ 175	
保護装置	障害物感知装置				・ 設ける ・ 設けない
⑭ ガラス	＜5.14.2＞＜5.14.3＞ ※ 外部の建具に使用するガラスは、建築基準法に基づく耐風圧性能を有すること。 ※ ガラスの材料、厚さ、それぞれの種類等は建具表及び図示による。 合わせガラスの特性 ・ I類 ・ II－1類 ・ II－2類 ・ III類 強化ガラスの特性 ・ I類 ・ III類 熱線吸収板ガラス 性能 ・ 1類 ・ ブルー ・ グレー ・ ブラウン 複層ガラス(Low－E複層ガラス) 性能 ○ 1種 ・ 3種 (・ U3－1 ・ 4種 ・ 5種 封止の加速耐久性による区分 ・ I類 ・ II類 ○ III類 熱線反射ガラス 日射遮へい性 耐久性 色調 反射皮膜 映像調整				

・ モルタル
塗替え工法

・ <表4.4.1>による

20程度

5以下地25程度

・ポリマーセメント
モルタル

・ タイル張り仕上げ

工 法

材 料

平均深さ(mm)

延べ面積(㎡)

※ タイル部分
張替え工法

エポキシ樹脂モルタル

20～30未満

30～40未満

10～15未満

15～20未満

ポリマーセメント
モルタル

10～15未満

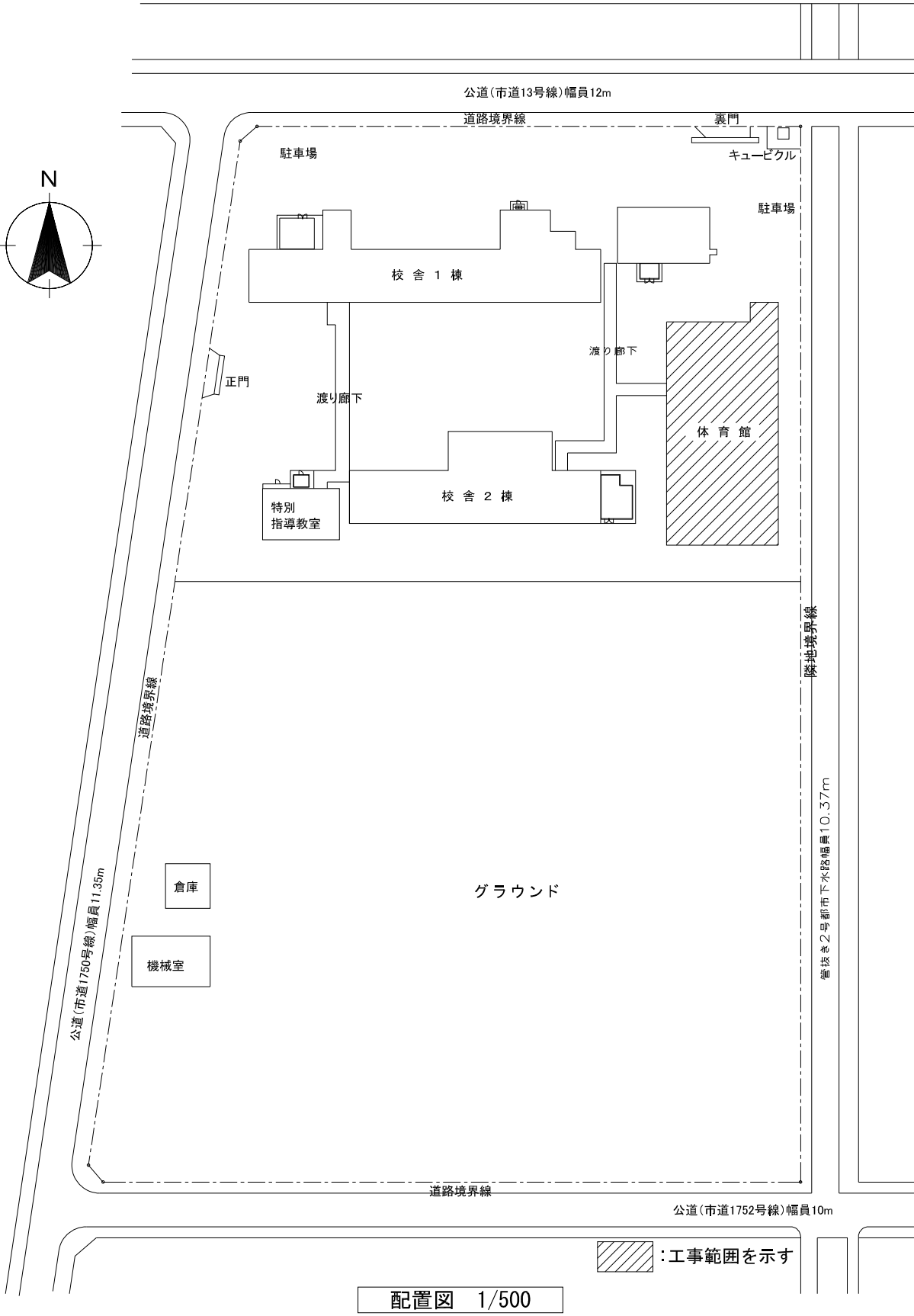
15～20未満

・ タイル
張替え工法

[illegible]

9 1 環境配慮 改修工事 (石綿含有 建材の処理 工事)	① 一般事項	石綿等の取扱については、石綿障害予防規則(平成17年2月24日厚生労働省令第21号)(以下、「石綿則」という。)を遵守すること。 施工調査 ・ 行わない。 ※ 行う (調査結果は図面等に記録し、監督職員に提出すること。 調査の結果、設計図書と異なる場合は監督職員と協議する。) 調査箇所 ※ 図示 調査事項 ※ 石綿含有建材等の使用部位 ※ 石綿含有建材等の種類、厚さ ※ 施工範囲と工事範囲区分 ※ 廃棄物などの搬出方法 ・ ・ 石綿含有分析 ○ 行わない ・ 行う(分析結果は監督職員に提出する。) 分析方法 ※ JIS A 1481「建材製品中のアスベスト含有測定法」による。 <table> <tr> <th>材 料 名</th><th>定性分析</th><th>定量分析</th></tr> <tr> <td></td><td>・(試験数:)</td><td>・(試験数:)</td></tr> <tr> <td></td><td>・(試験数:)</td><td>・(試験数:)</td></tr> <tr> <td></td><td>・(試験数:)</td><td>・(試験数:)</td></tr> <tr> <td></td><td>・(試験数:)</td><td>・(試験数:)</td></tr> </table> 石綿粉じん濃度測定 ・ 行わない。 ※ 行う(測定する時期・場所等は下表による) 「JIS K 3850-1 空気中の繊維状粒子測定方法－第1部－ :光学顕微鏡法及び走査電子顕微鏡法」による位相差、分散顕微鏡法による。 <table> <tr> <th>適用</th><th>測定名称</th><th>測定時期</th><th>測定場所</th><th>測定点 (各施工箇所ごと)</th><th>室 名 等</th></tr> <tr> <td rowspan="10">・</td><td>測定1</td><td>処理作業前</td><td>処理作業室内 (注1)</td><td>※2点 ・点 ※2点 ・点 ※2点 ・点 ※2点 ・点</td><td></td></tr> <tr> <td>測定2</td><td></td><td>施工区画周辺 又は敷地境界</td><td>※2点 ・点 ※2点 ・点</td><td></td></tr> <tr> <td>測定3</td><td>処理作業中</td><td>処理作業室内 (注1)</td><td>※2点 ・点 ※2点 ・点 ※2点 ・点</td><td></td></tr> <tr> <td>測定4</td><td></td><td>セキュリティゾーン入口 (空気の流れを確認)</td><td>※1点 ・点 ※1点 ・点 ※1点 ・点</td><td></td></tr> <tr> <td>測定5</td><td></td><td>負圧・粉じん装置の排出吹出口 (除じん装置の性能確認)</td><td>※1点 ・点 ※1点 ・点 ※1点 ・点</td><td></td></tr> <tr> <td>測定6</td><td></td><td>施工区画周辺 又は敷地境界</td><td>※2点 ○1点 ※2点 ・点</td><td></td></tr> <tr> <td>測定7</td><td>処理作業後 シート撤去前</td><td>処理作業室内</td><td>※2点 ○1点 ※2点 ・点 ※2点 ・点 ※2点 ・点</td><td></td></tr> <tr> <td>測定8</td><td></td><td>施工区画周辺 又は敷地境界</td><td>※2点 ・点 ※2点 ・点 ※2点 ・点</td><td></td></tr> <tr> <td>測定9</td><td>処理作業後 シート撤去後</td><td>処理作業室内</td><td>※2点 ・点 ※2点 ・点 ※2点 ・点</td><td></td></tr> <tr> <td colspan="4">測定点総計</td><td>点</td></tr> </table> 注1:周囲状況により上記によりがたい場合は、監督職員と協議する。 (例)石綿粉じん濃度測定方法 <table> <tr> <th></th><th>測点3</th><th>測点1, 2, 4, 6, 7, 8</th><th>測点5</th></tr> <tr> <td>数計機器</td><td colspan="2">位相差・分散顕微鏡</td><td></td></tr> <tr> <td>メンブレンフィルタの直径</td><td colspan="2">25mm</td><td>47mm</td></tr> <tr> <td>試料の吸引流量</td><td>1L/min</td><td>5L/min</td><td>10L/min</td></tr> <tr> <td>試料の吸引時間</td><td>5min</td><td>120min</td><td>240min</td></tr> <tr> <td>試料の透明化</td><td colspan="3">アセトン固定－有機物灰化－屈折率浸液法</td></tr> <tr> <td>計数条件</td><td colspan="3">総合肥率400倍、アスベスト繊維総数、通常50視野</td></tr> <tr> <td>計数アスベスト</td><td colspan="3">幅3 μ m未満、長さ5 μ m以上、アスペクト比(長さ/幅)</td></tr> <tr> <td>定量限界</td><td>50本/ L</td><td>0. 47本/ L</td><td>0. 3本/ L</td></tr> </table> 記録する項目 ア. 測定結果 イ. 測定時間 ウ. 測定位置(測定高さとともに図面上に記載する。) エ. サンプリング条件 (メンブレンフィルタ直径、吸引時間、吸引空気量) オ. マウンティング法 カ. 顕微鏡視野面積、計数視野数 キ. 測定時(各測定場所ごと)の 天候、温度、湿度、外気の風速及び風量 測定機関 都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関 施工記録報告書の提出 1. 施工計画書 2. 工事記録及び工事写真 3. 産業廃棄物処理記録(廃石綿) 4. 施工調査等記録(条規施行調査、含有分析、粉じん濃度測定等) 5. 作業者の作業記録、各種健康診断記録、安全衛生教育記録 6. その他必要事項 提出部数 3部作成	材 料 名	定性分析	定量分析		・(試験数:)	・(試験数:)		・(試験数:)	・(試験数:)		・(試験数:)	・(試験数:)		・(試験数:)	・(試験数:)	適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点 (各施工箇所ごと)	室 名 等	・	測定1	処理作業前	処理作業室内 (注1)	※2点 ・点 ※2点 ・点 ※2点 ・点 ※2点 ・点		測定2		施工区画周辺 又は敷地境界	※2点 ・点 ※2点 ・点		測定3	処理作業中	処理作業室内 (注1)	※2点 ・点 ※2点 ・点 ※2点 ・点		測定4		セキュリティゾーン入口 (空気の流れを確認)	※1点 ・点 ※1点 ・点 ※1点 ・点		測定5		負圧・粉じん装置の排出吹出口 (除じん装置の性能確認)	※1点 ・点 ※1点 ・点 ※1点 ・点		測定6		施工区画周辺 又は敷地境界	※2点 ○1点 ※2点 ・点		測定7	処理作業後 シート撤去前	処理作業室内	※2点 ○1点 ※2点 ・点 ※2点 ・点 ※2点 ・点		測定8		施工区画周辺 又は敷地境界	※2点 ・点 ※2点 ・点 ※2点 ・点		測定9	処理作業後 シート撤去後	処理作業室内	※2点 ・点 ※2点 ・点 ※2点 ・点		測定点総計				点		測点3	測点1, 2, 4, 6, 7, 8	測点5	数計機器	位相差・分散顕微鏡			メンブレンフィルタの直径	25mm		47mm	試料の吸引流量	1L/min	5L/min	10L/min	試料の吸引時間	5min	120min	240min	試料の透明化	アセトン固定－有機物灰化－屈折率浸液法			計数条件	総合肥率400倍、アスベスト繊維総数、通常50視野			計数アスベスト	幅3 μ m未満、長さ5 μ m以上、アスペクト比(長さ/幅)			定量限界	50本/ L	0. 47本/ L	0. 3本/ L	② 除去工事 共通事項	専門工事業者 石綿含有建材の除去を直接行う専門業者については、工事に相応した技術を有することを証明する書類を監督員に提出する。 作業主任者の選出 石綿作業主任技能講習又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者技能講習を終了したものの中から、「石綿作業主任者」を選任しなければならない。 除去作業者の教育 作業者は、就業時に石綿則に基づく教育を受けた者とする。 また、一般健康診断、石綿健康診断及びじん肺健康診断を受診した者とし、肺機能に異常のない者とする。 特別管理産業廃棄物管理責任者の選出 排出業者は、特別管理産業廃棄物管理責任者の資格を有するものを配置しなければならない。 石綿含有吹き付け材の除去工事 ・ 行う (適用範囲・図示 ・ 行わない ・ 集塵機付高圧洗浄工法 作業場等の隔離等 ※ 作業場は以下によるものとし負圧除じん機にて負圧状態により飛散防止をすること。 隔離シートの性能 ※ 床面 ※ 0.15mm以上のプラスチックシート等で二重 ※ 壁面 ※ 0.08mm以上のプラスチックシート等 ただし、(財)日本建築センターの「建設技術審査証明事業」による「吹き付け石綿粉じん飛散防止処理技術(除去)」の審査証明書(以下、「審査証明書」という。)を取得している工法と同等の飛散防止処理技術を有する工法とすることができる。その際には監督員の承認を得ること。 セキュリティゾーンの設置 ※ 下表による <table> <tr> <th>通用</th><th>室名</th><th>状態</th><th></th></tr> <tr> <td>※</td><td>更衣室</td><td></td><td>※ 更衣ロッカー ※ 呼吸用保護具保管箱 ※ 新品の保護具 ※ 洗顔、うがい設備 ・</td></tr> <tr> <td>※</td><td>洗浄室</td><td>負圧</td><td>※ エアシャワー(温水シャワー) ・</td></tr> <tr> <td>※</td><td>前室</td><td>負圧</td><td>※ 高性能真空掃除機 ・ 使用済み保護衣保管かご</td></tr> </table> ただし、(財)日本建築センターの「建設技術審査証明事業」による「吹き付け石綿粉じん飛散防止処理技術(除去)」の審査証明書(以下、「審査証明書」という。)を取得している工法と同等の飛散防止処理技術を有する工法とすることができる。その際には監督員の承認を得ること。 除去物及び汚染等 処理方法 ※ 密封処理(二重袋梱包) 隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機フィルタ、除じん機フィルタについても密封処理を行う。 ・ セメント固化 石綿含有保温材の除去工事 ・ 行う (適用範囲・図示 ・ 行わない 養生等 ※ 養生シート等を用いて区画し、場外への飛散防止を行う。 掻き落とし、破砕、切断による除去方法 ※ 行わない ・ 行う(<9.1.3>「石綿含有吹き付け材の除去」による) 除去工法 ※ 粉じん飛散抑制剤などにより湿潤化したあとに、手ばらしによること。 ※ 除去物については<9.1.3(b)>により、密封処理とする。	通用	室名	状態		※	更衣室		※ 更衣ロッカー ※ 呼吸用保護具保管箱 ※ 新品の保護具 ※ 洗顔、うがい設備 ・	※	洗浄室	負圧	※ エアシャワー(温水シャワー) ・	※	前室	負圧	※ 高性能真空掃除機 ・ 使用済み保護衣保管かご	③ 石綿 含有吹き付け材の除去	石綿含有成形板の除去 ○ 行う (適用範囲・図示 ・ 行わない 養生 ・ 行う (適用範囲・図示 ・ 行わない 除去工法 ※ 作業場は、散水等により湿潤化し、手ばらしによること。 ※ やむを得ず破壊しなければならない場合には、十分に湿潤化した状態で行うこと。 ※ 除去物については、粉じんの飛散防止に努め、特に破砕された石綿含有成形板については、湿潤化の上、丈夫なプラスチック袋に入れる等の飛散防止措置を講ずること。	④ 石綿 含有仕上塗材の除去	石綿含有仕上塗材の除去工事 ○ 行う (適用範囲・図示 ・ 行わない 養生 ○ 行う (適用範囲・図示 ・ 行わない 除去工法 ・ 集じん装置付きディスクグラインダーケレン工法 ・ 集じん装置併用手工具ケレン方法 ・ 集じん装置付き高圧水洗工法(15MPa以下、30～50MPa程度) ・ 集じん装置付き超高圧水洗工法(100MPa以上) ・ 剥離剤併用超音波ケレン工法 ○ 剥離剤併用手工具ケレン工法 ※ 除去物の保管、運搬及び処分は、<9.1.5(3)>による。 ※ 確認及び後片付けは、<9.1.5(4)>による。 ※ 石綿含有仕上塗材面に足場つなぎを設置する場合は、集じん機付きドリルを使用する。	9 2 環境配慮 改修工事 (断熱材)	① 断熱材	断熱材の打込み及び現場発泡工法 <table> <tr> <th>種 類</th><th>箇 所</th><th>厚さ(mm)</th><th>備 考</th></tr> <tr> <td>※ ポリスチレンフォーム (発泡プラスチック保温材)</td><td>・A種ビーズ法 ※A種押出法 2種b ※A種押出法 3種b (スキム層付き) ・</td><td>下配以外</td><td>※ 25 JIS A 9511の JIS表示認証製品</td></tr> <tr> <td>・ 硬質ウレタンフォーム保温材</td><td>※A種 ・</td><td>・</td><td>・</td></tr> <tr> <td>・ フェノールフォーム保温材</td><td>※A種 ・</td><td>・</td><td>JIS A 9511の JIS表示認証製品</td></tr> <tr> <td>○ 吹付け硬質ウレタンフォーム保温材</td><td>※A種1 ・</td><td>※ 20 ・</td><td>JIS A 9526 による難燃性 ・2級 ※3級</td></tr> <tr> <td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td></tr> </table> ※ 施工範囲は建築工事標準詳細図(図7-01-1)による。 上記以外に用いる断熱材 <table> <tr> <th>種 類</th><th>箇 所</th><th>厚さ(mm)</th><th>備 考</th></tr> <tr> <td>・ JISA発泡プラスチック保温材</td><td>・A種ビーズ法 ※A種押出法 2種b ※A種押出法 3種b (スキム層付き) ・</td><td>下配以外</td><td>※ 25 JIS表示認証製品</td></tr> <tr> <td>・ グラスウール保温材</td><td></td><td></td><td>※ 100 ※ 24K品 ・</td></tr> </table> ※ グラスウール使用部分の室内側防湿シート ※ 被覆品 ・防湿層ポリエチレンフィルム(t0.15)張り(重ね100)	種 類	箇 所	厚さ(mm)	備 考	※ ポリスチレンフォーム (発泡プラスチック保温材)	・A種ビーズ法 ※A種押出法 2種b ※A種押出法 3種b (スキム層付き) ・	下配以外	※ 25 JIS A 9511の JIS表示認証製品	・ 硬質ウレタンフォーム保温材	※A種 ・	・	・	・ フェノールフォーム保温材	※A種 ・	・	JIS A 9511の JIS表示認証製品	○ 吹付け硬質ウレタンフォーム保温材	※A種1 ・	※ 20 ・	JIS A 9526 による難燃性 ・2級 ※3級	・	・	・	・	種 類	箇 所	厚さ(mm)	備 考	・ JISA発泡プラスチック保温材	・A種ビーズ法 ※A種押出法 2種b ※A種押出法 3種b (スキム層付き) ・	下配以外	※ 25 JIS表示認証製品	・ グラスウール保温材			※ 100 ※ 24K品 ・	10 土工	① 埋戻し及び盛土の種別	・ A 種 ※ B 種 ・ C 種 ・ D 種 (3.2.3)(表3.2.1) C種の場合 建設発生土受入れ量 発生場所 受入条件 ・ 構外に搬出し適切に処理する。 ・ 構外指示の場所に搬出する。 受入れ施設名・住所(km) ○ 構内指示の場所に敷きならす。 ・ 構内指示の場所にたい積する。	② 建設発生土の処理	1. コンクリートブロック塀壁及び塙 ※ 空洞ブロック 16 (ただし、設備配管用裏積等は空洞ブロック08とすることができる。) 2. 押出成形セメント板 ・ 貼替を行う(割れた押出成形セメント板)	11 コンパ ンクリ ート・押 出成形 セメント 板工事	1. 2.	2. 3.	2. 4.	2. 5.	2. 6.	2. 7.	2. 8.	2. 9.	2. 10.	2. 11.	2. 12.	2. 13.	2. 14.	2. 15.	2. 16.	2. 17.	2. 18.	2. 19.	2. 20.	2. 21.	2. 22.	2. 23.	2. 24.	2. 25.	2. 26.	2. 27.	2. 28.	2. 29.	2. 30.	2. 31.	2. 32.	2. 33.	2. 34.	2. 35.	2. 36.	2. 37.	2. 38.	2. 39.	2. 40.	2. 41.	2. 42.	2. 43.	2. 44.	2. 45.	2. 46.	2. 47.	2. 48.	2. 49.	2. 50.	2. 51.	2. 52.	2. 53.	2. 54.	2. 55.	2. 56.	2. 57.	2. 58.	2. 59.	2. 60.	2. 61.	2. 62.	2. 63.	2. 64.	2. 65.	2. 66.	2. 67.	2. 68.	2. 69.	2. 70.	2. 71.	2. 72.	2. 73.	2. 74.	2. 75.	2. 76.	2. 77.	2. 78.	2. 79.	2. 80.	2. 81.	2. 82.	2. 83.	2. 84.	2. 85.	2. 86.	2. 87.	2. 88.	2. 89.	2. 90.	2. 91.	2. 92.	2. 93.	2. 94.	2. 95.	2. 96.	2. 97.	2. 98.	2. 99.	2. 100.	2. 101.	2. 102.	2. 103.	2. 104.	2. 105.	2. 106.	2. 107.	2. 108.	2. 109.	2. 110.	2. 111.	2. 112.	2. 113.	2. 114.	2. 115.	2. 116.	2. 117.	2. 118.	2. 119.	2. 120.	2. 121.	2. 122.	2. 123.	2. 124.	2. 125.	2. 126.	2. 127.	2. 128.	2. 129.	2. 130.	2. 131.	2. 132.	2. 133.	2. 134.	2. 135.	2. 136.	2. 137.	2. 138.	2. 139.	2. 140.	2. 141.	2. 142.	2. 143.	2. 144.	2. 145.	2. 146.	2. 147.	2. 148.	2. 149.	2. 150.	2. 151.	2. 152.	2. 153.	2. 154.	2. 155.	2. 156.	2. 157.	2. 158.	2. 159.	2. 160.	2. 161.	2. 162.	2. 163.	2. 164.	2. 165.	2. 166.	2. 167.	2. 168.	2. 169.	2. 170.	2. 171.	2. 172.	2. 173.	2. 174.	2. 175.	2. 176.	2. 177.	2. 178.	2. 179.	2. 180.	2. 181.	2. 182.	2. 183.	2. 184.	2. 185.	2. 186.	2. 187.	2. 188.	2. 189.	2. 190.	2. 191.	2. 192.	2. 193.	2. 194.	2. 195.	2. 196.	2. 197.	2. 198.	2. 199.	2. 200.	2. 201.	2. 202.	2. 203.	2. 204.	2. 205.	2. 206.	2. 207.	2. 208.	2. 209.	2. 210.	2. 211.	2. 212.	2. 213.	2. 214.	2. 215.	2. 216.	2. 217.	2. 218.	2. 219.	2. 220.	2. 221.	2. 222.	2. 223.	2. 224.	2. 225.	2. 226.	2. 227.	2. 228.	2. 229.	2. 230.	2. 231.	2. 232.	2. 233.	2. 234.	2. 235.	2. 236.	2. 237.	2. 238.	2. 239.	2. 240.	2. 241.	2. 242.	2. 243.	2. 244.	2. 245.	2. 246.	2. 247.	2. 248.	2. 249.	2. 250.	2. 251.	2. 252.	2. 253.	2. 254.	2. 255.	2. 256.	2. 257.	2. 258.	2. 259.	2. 260.	2. 261.	2. 262.	2. 263.	2. 264.	2. 265.	2. 266.	2. 267.	2. 268.	2. 269.	2. 270.	2. 271.	2. 272.	2. 273.	2. 274.	2. 275.	2. 276.	2. 277.	2. 278.	2. 279.	2. 280.	2. 281.	2. 282.	2. 283.	2. 284.	2. 285.	2. 286.	2. 287.	2. 288.	2. 289.	2. 290.	2. 291.	2. 292.	2. 293.	2. 294.	2. 295.	2. 296.	2. 297.	2. 298.	2. 299.	2. 300.	2. 301.	2. 302.	2. 303.	2. 304.	2. 305.	2. 306.	2. 307.	2. 308.	2. 309.	2. 310.	2. 311.	2. 312.	2. 313.	2. 314.	2. 315.	2. 316.	2. 317.	2. 318.	2. 319.	2. 320.	2. 321.	2. 322.	2. 323.	2. 324.	2. 325.	2. 326.	2. 327.	2. 328.	2. 329.	2. 330.	2. 331.	2. 332.	2. 333.	2. 334.	2. 335.	2. 336.	2. 337.	2. 338.	2. 339.	2. 340.	2. 341.	2. 342.	2. 343.	2. 344.	2. 345.	2. 346.	2. 347.	2. 348.	2. 349.	2. 350.	2. 351.	2. 352.	2. 353.	2. 354.	2. 355.	2. 356.	2. 357.	2. 358.	2. 359.	2. 360.	2. 361.	2. 362.	2. 363.	2. 364.	2. 365.	2. 366.	2. 367.	2. 368.	2. 369.	2. 370.	2. 371.	2. 372.	2. 373.	2. 374.	2. 375.	2. 376.	2. 377.	2. 378.	2. 379.	2. 380.	2. 381.	2. 382.	2. 383.	2. 384.	2. 385.	2. 386.	2. 387.	2. 388.	2. 389.	2. 390.	2. 391.	2. 392.	2. 393.	2. 394.	2. 395.	2. 396.	2. 397.	2. 398.	2. 399.	2. 400.	2. 401.	2. 402.	2. 403.	2. 404.	2. 405.	2. 406.	2. 407.	2. 408.	2. 409.	2. 410.	2. 411.	2. 412.	2. 413.	2. 414.	2. 415.	2. 416.	2. 417.	2. 418.	2. 419.	2. 420.	2. 421.	2. 422.	2. 423.	2. 424.	2. 425.	2. 426.	2. 427.	2. 428.	2. 429.	2. 430.	2. 431.	2. 432.	2. 433.	2. 434.	2. 435.	2. 436.	2. 437.	2. 438.	2. 439.	2. 440.	2. 441.	2. 442.	2. 443.	2. 444.	2. 445.	2. 446.	2. 447.	2. 448.	2. 449.	2. 450.	2. 451.	2. 452.	2. 453.	2. 454.	2. 455.	2. 456.	2. 457.	2. 458.	2. 459.	2. 460.	2. 461.	2. 462.	2. 463.	2. 464.	2. 465.	2. 466.	2. 467.	2. 468.	2. 469.	2. 470.	2. 471.	2. 472.	2. 473.	2. 474.	2. 475.	2. 476.	2. 477.	2. 478.	2. 479.	2. 480.	2. 481.	2. 482.	2. 483.	2. 484.	2. 485.	2. 486.	2. 487.	2. 488.	2. 489.	2. 490.	2. 491.	2. 492.	2. 493.	2. 494.	2. 495.	2. 496.	2. 497.	2. 498.	2. 499.	2. 500.	2. 501.	2. 502.	2. 503.	2. 504.	2. 505.	2. 506.	2. 507.	2. 508.	2. 509.	2. 510.	2. 511.	2. 512.	2. 513.	2. 514.	2. 515.	2. 516.	2. 517.	2. 518.	2. 519.	2. 520.	2. 521.	2. 522.	2. 523.	2. 524.	2. 525.	2. 526.	2. 527.	2. 528.	2. 529.	2. 530.	2. 531.	2. 532.	2. 533.	2. 534.	2. 535.	2. 536.	2. 537.	2. 538.	2. 539.	2. 540.	2. 541.	2. 542.	2. 543.	2. 544.	2. 545.	2. 546.	2. 547.	2. 548.	2. 549.	2. 550.	2. 551.	2. 552.	2. 553.	2. 554.	2. 555.	2. 556.	2. 557.	2. 558.	2. 559.	2. 560.	2. 561.	2. 562.	2. 563.	2. 564.	2. 565.	2. 566.	2. 567.	2. 568.	2. 569.	
材 料 名	定性分析	定量分析																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	・(試験数:)	・(試験数:)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	・(試験数:)	・(試験数:)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	・(試験数:)	・(試験数:)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
	・(試験数:)	・(試験数:)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点 (各施工箇所ごと)	室 名 等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
・	測定1	処理作業前	処理作業室内 (注1)	※2点 ・点 ※2点 ・点 ※2点 ・点 ※2点 ・点																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	測定2		施工区画周辺 又は敷地境界	※2点 ・点 ※2点 ・点																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	測定3	処理作業中	処理作業室内 (注1)	※2点 ・点 ※2点 ・点 ※2点 ・点																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	測定4		セキュリティゾーン入口 (空気の流れを確認)	※1点 ・点 ※1点 ・点 ※1点 ・点																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	測定5		負圧・粉じん装置の排出吹出口 (除じん装置の性能確認)	※1点 ・点 ※1点 ・点 ※1点 ・点																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	測定6		施工区画周辺 又は敷地境界	※2点 ○1点 ※2点 ・点																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	測定7	処理作業後 シート撤去前	処理作業室内	※2点 ○1点 ※2点 ・点 ※2点 ・点 ※2点 ・点																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	測定8		施工区画周辺 又は敷地境界	※2点 ・点 ※2点 ・点 ※2点 ・点																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	測定9	処理作業後 シート撤去後	処理作業室内	※2点 ・点 ※2点 ・点 ※2点 ・点																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
	測定点総計				点																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
	測点3	測点1, 2, 4, 6, 7, 8	測点5																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
数計機器	位相差・分散顕微鏡																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
メンブレンフィルタの直径	25mm		47mm																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
試料の吸引流量	1L/min	5L/min	10L/min																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
試料の吸引時間	5min	120min	240min																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
試料の透明化	アセトン固定－有機物灰化－屈折率浸液法																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
計数条件	総合肥率400倍、アスベスト繊維総数、通常50視野																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
計数アスベスト	幅3 μ m未満、長さ5 μ m以上、アスペクト比(長さ/幅)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
定量限界	50本/ L	0. 47本/ L	0. 3本/ L																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
通用	室名	状態																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																								
※	更衣室		※ 更衣ロッカー ※ 呼吸用保護具保管箱 ※ 新品の保護具 ※ 洗顔、うがい設備 ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
※	洗浄室	負圧	※ エアシャワー(温水シャワー) ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
※	前室	負圧	※ 高性能真空掃除機 ・ 使用済み保護衣保管かご																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
種 類	箇 所	厚さ(mm)	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
※ ポリスチレンフォーム (発泡プラスチック保温材)	・A種ビーズ法 ※A種押出法 2種b ※A種押出法 3種b (スキム層付き) ・	下配以外	※ 25 JIS A 9511の JIS表示認証製品																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
・ 硬質ウレタンフォーム保温材	※A種 ・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
・ フェノールフォーム保温材	※A種 ・	・	JIS A 9511の JIS表示認証製品																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
○ 吹付け硬質ウレタンフォーム保温材	※A種1 ・	※ 20 ・	JIS A 9526 による難燃性 ・2級 ※3級																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
・	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
種 類	箇 所	厚さ(mm)	備 考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
・ JISA発泡プラスチック保温材	・A種ビーズ法 ※A種押出法 2種b ※A種押出法 3種b (スキム層付き) ・	下配以外	※ 25 JIS表示認証製品																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							
・ グラスウール保温材			※ 100 ※ 24K品 ・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							

工 事 概 要		
工 事 名 称	工事名称	海老名市立海西中学校屋内運動場大規模改修工事
	工事場所	海老名市さつき町58番地
	建物用途	屋内運動場
	工事種別	大規模改修工事
構 造 ・ 規 模	敷地面積	21,935.00 m ²
	階 数	平屋建
	構 造	1階：鉄筋コンクリート造・吹抜け部：鉄骨造
	建築面積	901.70 m ²
	延床面積	823.30 m ²



■ 特記事項

【安全対策】 1. 工事搬入出車両の出入りは児童・生徒の登下校時、施設利用者の時間を極力避けること。 2. 敷地内での工事車両安全速度は15km/h以下とすること。 3. 外部足場の昇降口や資材置き場の出入口は常に施錠し第三者の工事エリア進入を防ぐこと。 4. 外部仮囲い等は強固に固定し、施設利用者が触れても危険が無いよう設置すること。 仮囲い等の仮設物の設置後は常に点検を行い、不備が認められた際には速やかに是正処置を講ずること。 5. 火気使用時(アーク溶接等)には床・壁共防災シートの養生を行い消火器を設置する。 また、火気使用2時間後に、作業場所の安全を確認すること。 6. 急な暴風雨、豪雨等にも迅速に対応出来るよう、予め体制を整備しておくこと。 7. 震度4以上の地震発生時や暴風・大雨警報などの「悪天候」が予想される時は、事前に点検し対策を実施して災害防止に備えるとともに点検結果を報告すること。 8. 搬出入に伴う工事車両の運用、荷揚げ等、やむを得ず一時的に工事エリア外での作業を行う際には、カラーコーン・コーンバー等にて区画を行うこと。 9. 関係法令、各種規準を遵守し、第三者の安全確保対策を充分に行うこと。	【一般事項(共通)】 1. 工事着手に先立ち本図を参考とし、監督員・施設管理者ほかの関係機関と綿密な協議の上施設運営に支障のない工事計画を行うこと。 2. 工事区域及び周囲の作業通路ほか、工事関連箇所は既存部分の養生を行い、完成検査(引渡し)前に清掃(クリーニング)を行うこと。 3. コンクリートの壁及び床のはつりやコア抜きを行う場合は、事前に施設で保管している図面等を参照し、現場調査を入念に行うこと。また作業前にレントゲン調査等を行うなど、埋設物を破壊させない準備を行うこと。 土間解体及び、掘削等の作業には以下に注意すること。 ・範囲内の地中埋設物を損傷させないよう、解体掘削は慎重に行い急激な作業を行わないこと。 ・状況に応じ重機を使わず、手はつり、手堀で作業を行うこと。 4. 自動火災報知機感知器が誤発報しないよう、以下による適切な対応を行うこと。 また、工事範囲内の感知器への対応は以下とすること。 ・感知器には専用カバー等で養生を行う。作業時間帯以外は取り外すこと。 ・室内温度差等により感知器が作動しないよう、投光器等の熱源は感知器から距離を置き熱の影響を受けないよう考慮すること。 ・万一自動火災報知機感知器が発報した際、工事によるものか否かを確認する方法や発報を停止する措置(施設側対応)に関して、事前に施設管理者と協議を行うこと。
【足場設置基準】 <外部足場> 1. 枠組足場・くさび緊結式足場は手すり先行据置方式とすること。 2. 壁つなぎの設置は以下とすること。(推奨) 垂直方向:根がらみから2スパン毎に取り付ける。 水平方向:外壁角から近い縦地から2スパン毎及び最上部は全縦地に取り付ける。 鉄骨造:鉄骨から直に壁つなぎを取るものとし、ALC版等の外壁部材からとらないこと。 □ 壁つなぎ穿孔作業は石綿作業主任者が常駐のうえ、「石綿作業主任者」又は「石綿作業従事者特別教育修了者」が行い集塵機及び、HEPAフィルタ付きドリルを使用し既存外壁塗材の飛散を防止すること。 3. 壁つなぎ用後施工アンカーはコンクリート躯体にしっかり固定すること。 4. 足場の脚部には、短・長辺方向に根がらみを設置すること。 5. 外部足場の外側には防災1頻ネット状養生シートをGLまで設置し、下記養生枠を設置すること。 □ H1,800までは金網式養生枠を設置する。 □ H2,000の塗装した仮囲鉄板を足元の隙間がないよう設置する。 □ H3,000の塗装した仮囲鉄板を足元の隙間がないよう設置する。 6. 手すり、下棧、幅木は四方に設置すること。 7. 層間ネットは専用金具を使用し、2層毎に設置すること。 8. 足場の出隅は緩衝材等で養生を行うこと。 9. 足場の外部に金物等の突出物が出る場合は緩衝材や既製の養生材で養生を行うこと。 10. 外部足場は設置場所を汚さないようシート養生を行った上に設置する。 11. 足場組立等作業主任者の掲示、最大荷重の表示を行うこと。 <移動式足場(ローリングタワー)> 1. 組立高は制限高さ(7.7m×(足場の短辺幅÷枠控出寸法)-5m)かつ5段以下。 2. 使用中はキャスターのブレーキを4か所確実に効かせる。 3. 手すりは90cm以上とし中棧を設置する。 4. はしごでの昇降には安全ブロックを使用すること。 5. 作業床でははしごや脚立は使用しない。 6. 作業者を乗せたままで移動は絶対行わない。 7. 作業者は安全帯を確実に使用する。 8. 最大積載量の表示を行う。	■一般事項-2(屋根改修) 1. 「金属板カバー工法」で施工した屋根に関しては引き渡し日より10年間の防水保証、シーリング材を施工した部分に関しては引き渡し日より5年間の防水保証、(請負業者、施工工事会社、材料製造会社)を行う。 2. 工事に先立ち、施工計画、施工仕様、安全対策等を記載した「施工計画書」を提出し、監督員の承認を得ること。 3. 屋根での作業は、JIS A 8971、屋根工用足場及び施工方法に準じて行うこと。 4. 作業動線全ての屋上周囲に安全手すり設置等の壁落、また屋根面には踏み抜き防止ネットを敷設すること。 5. 体育館天井面作業の際、破損の恐れのある空気管(自動火災報知設備)は、事前に空気管の保護や注意喚起表示を行うこと。 6. 既存屋根大波スレート葺きについては、石綿含有として作業を行うこと。 <特記事項> ・ 既存耐酸被覆鋼板については、石綿含有とみなして作業を行うこと。 ■一般事項-3(外壁改修) 1. 外壁モルタルの浮き処理に使用するアンカーピンの長さは、試し孔をあけ決定すること。 試験体は各面100m2ごと及びその端数につき1か所以上、かつ各面3か所以上行い、モルタル部を穿孔してその最大厚みを確認し、その厚さに30mmを加えた長さをピンの長さとする。 2. 監視員下検査時膜厚計を用意すること。測定位置として上階部・中階部・下階部とする。 (膜厚基準として1mm以上を目安とする。) 3. 雑物周囲には三方シーリング打ちを行う。 4. 原則として0.2mm未満のクラック補修は、下地調整材・アクリル系塗膜防水による処理とする。 ただし、漏水等があり補修方法が前記では不十分と判断される部分は、監督員と協議の上、工法を変更する。 5. 足場架設後、改修範囲の外壁施工数量調査を実施し、調査報告書を作成し監督員と協議の上、作業は施工範囲及び、数量を計画に確定した上で着手すること。なお設計数量に変更が生じた場合、原則設計変更をおこなう。 ※ 施工面が多い場合は、一定の範囲を調査後、上記を行うこととする。 6. 施工完了後、施工数量報告書を提出すること。 <特記事項> ・ 既存外壁小波スレート、石綿大平板については、石綿含有とみなして作業を行うこと。

■ 外壁改修内容一覽表

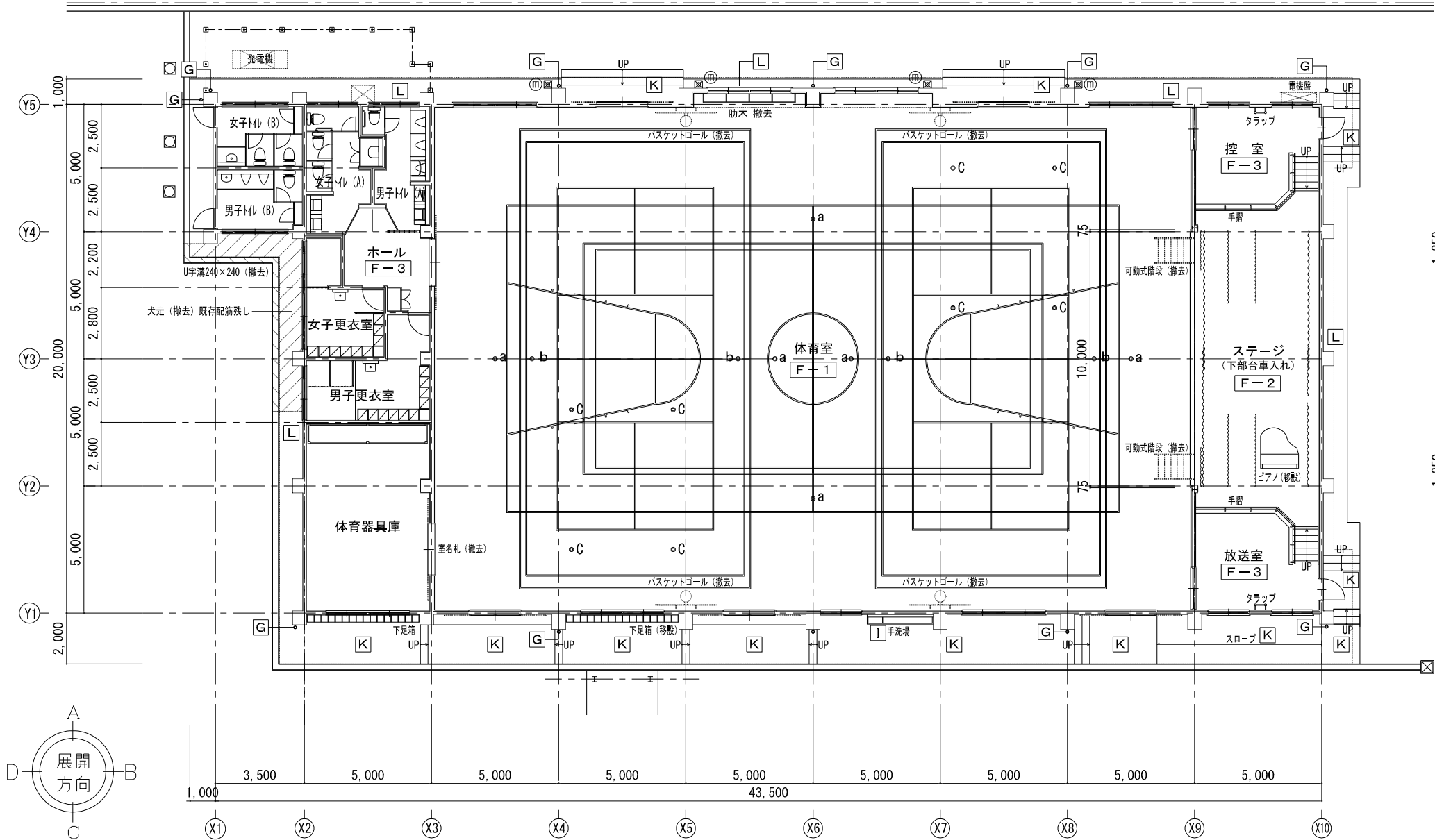
※本工事に関係する項目のみ適用するものとする。

[illegible]

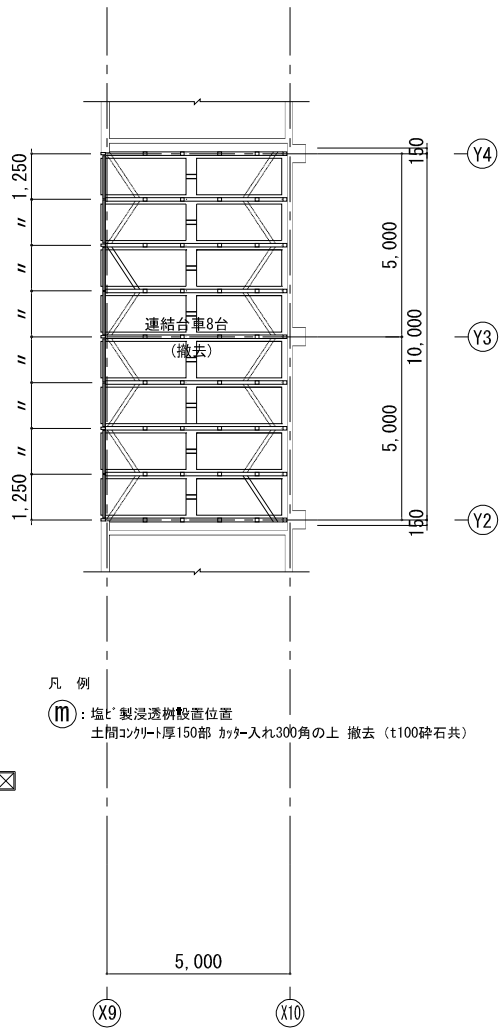
外 部 既 存 仕 上 表			内 部 既 存 仕 上 表		
部 位	記 号	仕 上	部 位	記 号	仕 上
手洗い場	I	人造石研出し	床	F-1	カエデ フローリング 厚18、ポリウレタン樹脂塗装、耐水ラワン合板 厚15下地 撤去、銅製床下地 一部撤去（全体10%程度）
踊場・階段スロープ	K	塗床塗装、コンクリート金ゴテ押え		F-2	カエデ フローリング 厚18、ポリウレタン樹脂塗装、耐水ラワン合板 厚15下地
犬走	L	コンクリート金ゴテ押え		F-3	長尺塩ビシート貼 撤去、モルタル金ゴテ押え

支柱基礎(ボルト上蓋・中筒金物共) リスト

凡 例	競技名	か所
a	バレーボール用 撤去	6
b	バトミントン用 撤去	4
C	移動用鉄棒用 撤去	8



既存 1 階平面図 1/100

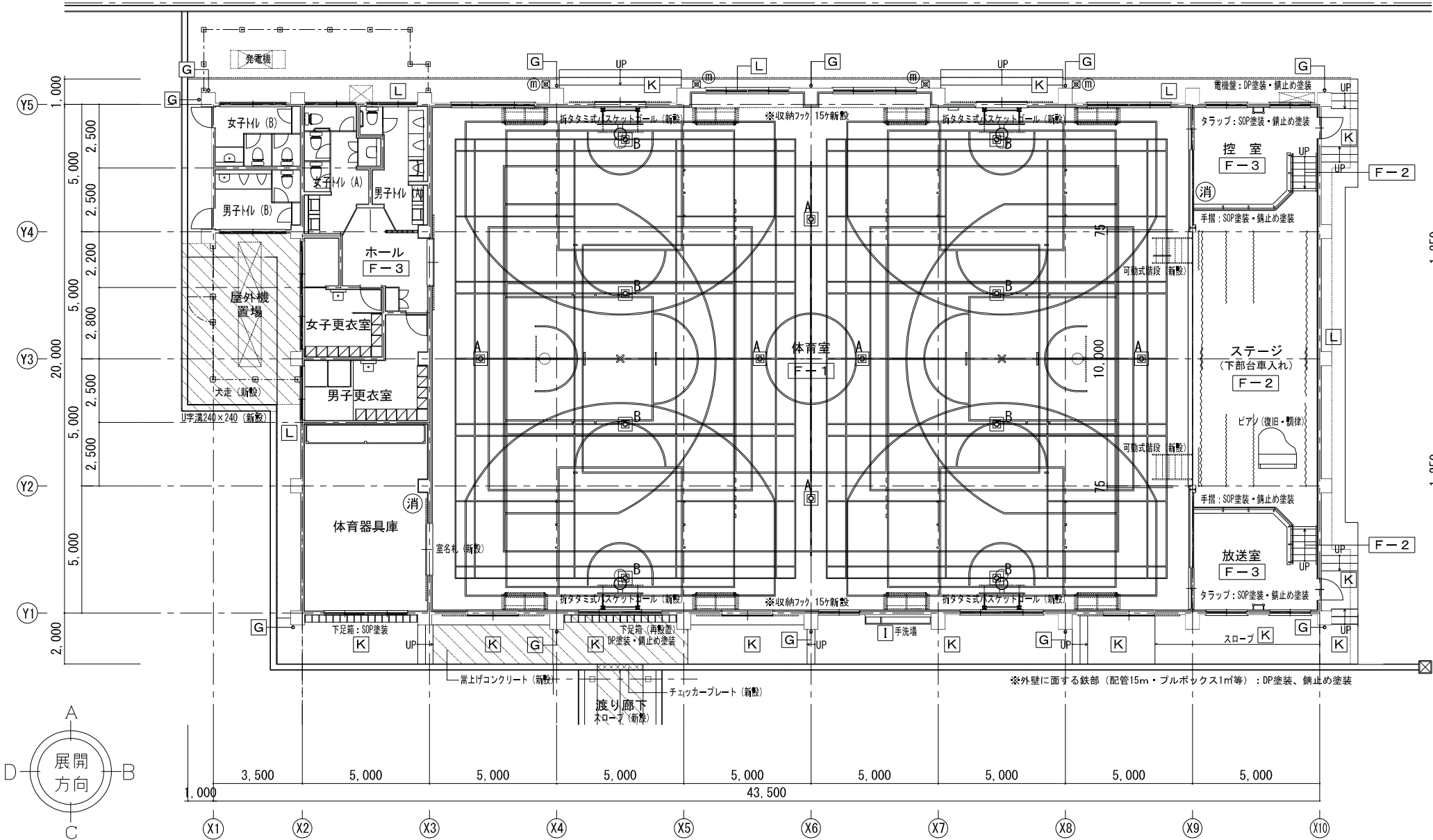


既存 1 階下部台車入れ部平面図 1/100

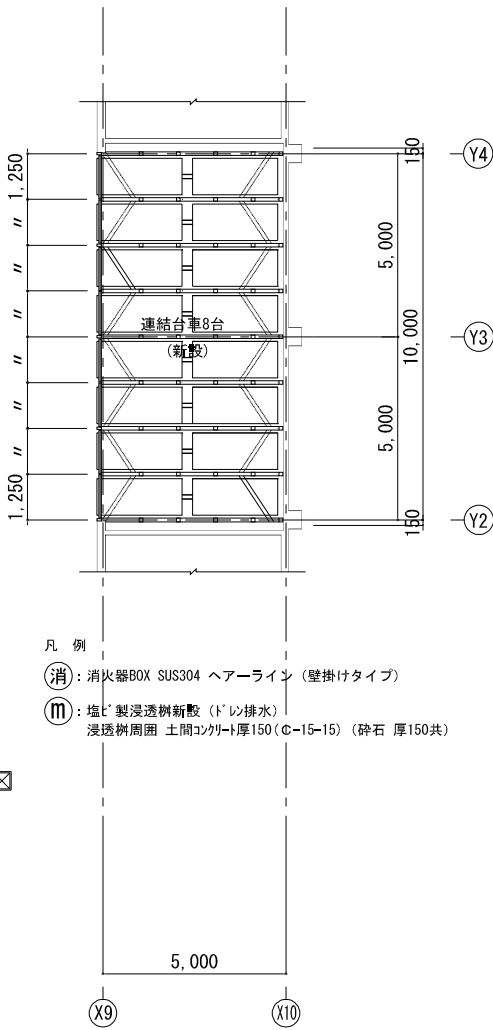


外 部 改 修 仕 上 表			内 部 改 修 仕 上 表		
部 位	記 号	仕 上	部 位	記 号	仕 上
手洗い場	I	クリーニング	床	F-1	2液形ポリウレタン樹脂ワニス3回塗、サンダー掛け2回、カバ 単層フローリング厚18、パーティクルボード厚15 銅製床下地 一部復旧（全体10%程度）
踊場・階段 スロープ	K	水性アクリル樹脂系塗床（防滑仕上）、欠損補修、クラック補修（スロープ新設、U字溝共）		F-2	2液形ポリウレタン樹脂ワニス3回塗（床見切材共）、サンダー掛け2回 既存部サンダー掛け
犬走	L	既存のまま（一部新設、U字溝共）		F-3	長尺塩ビシート貼 厚2 新設、下地補修

支柱基礎（ボ 上蓋・中筒金物共）リスト		
凡 例	競技名	か所
A	バレーボール用 新設	6
B	バトミントン用 新設	8



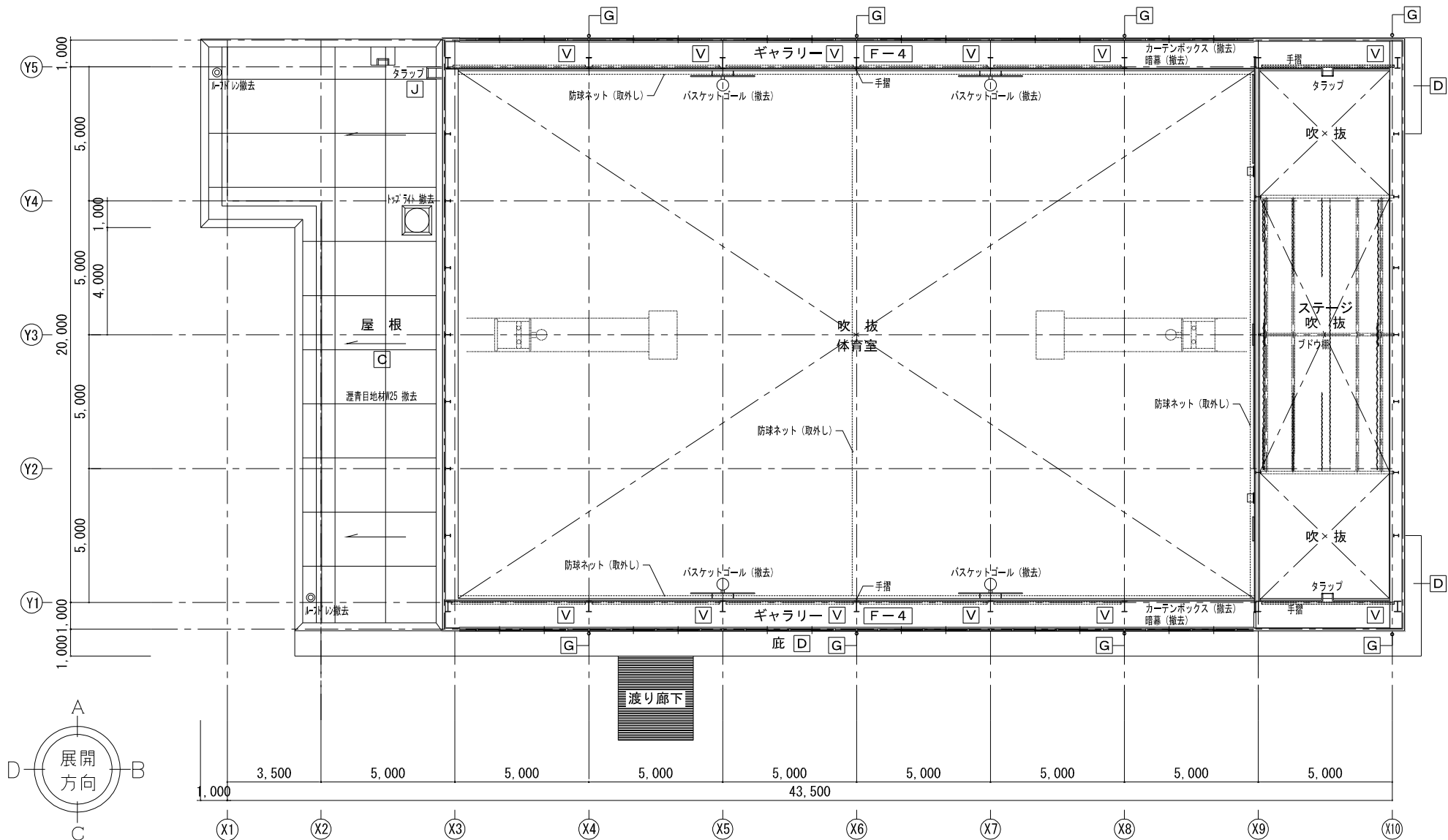
改修 1 階平面図 1/100



改修 1 階下部台車入れ部平面図 1/100



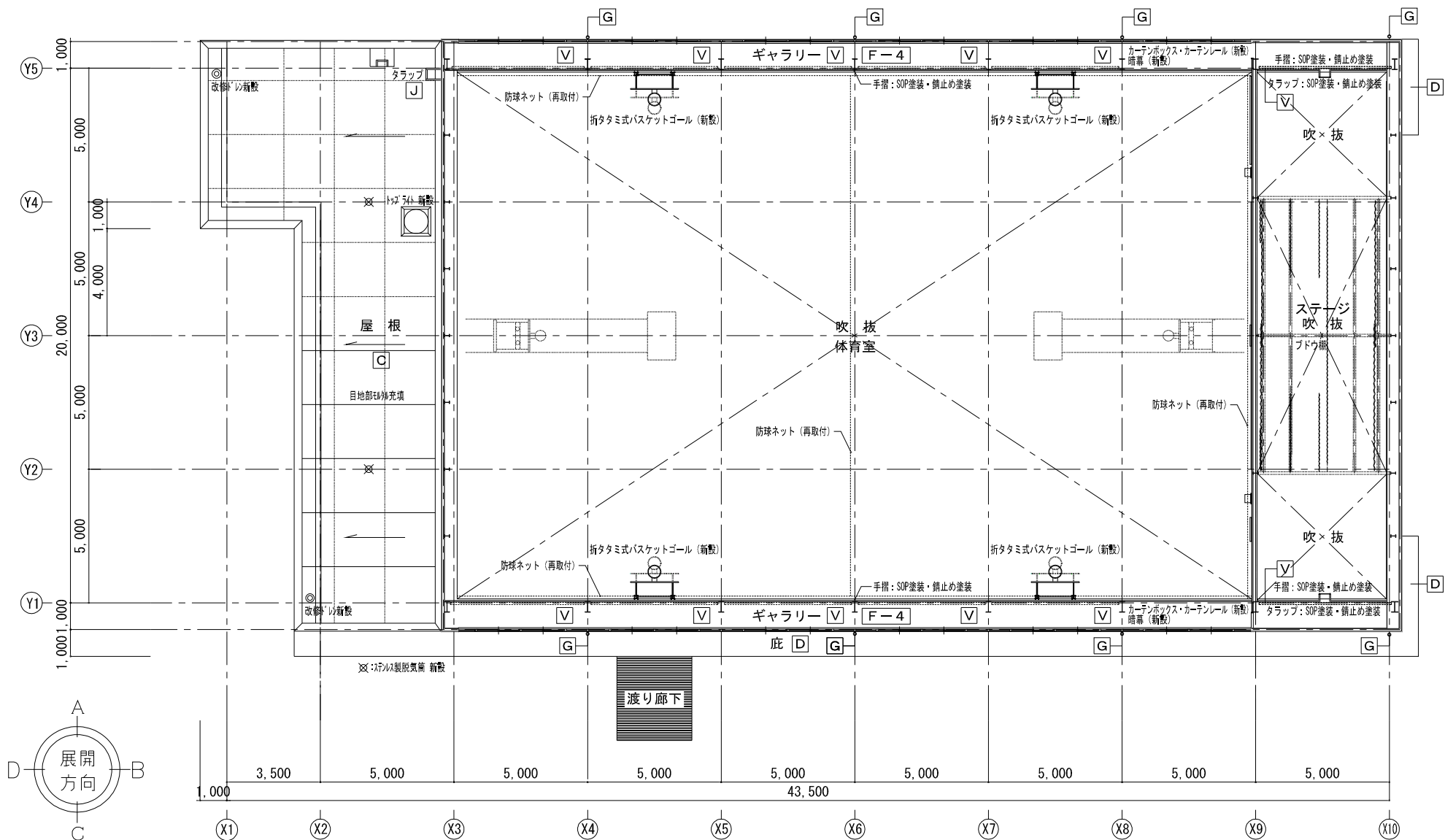
外 部 既 存 仕 上 表			内 部 既 存 仕 上 表		
部 位	記 号	仕 上	部 位	記 号	仕 上
1階屋根	C	保軽モルタル金ゴテ仕上 厚25（目地切り）、ウレタン防水 モルタル金ゴテ仕上 厚20、鉄筋コンクリート下地 瀝青目地材W25 撤去、M-7D 撤去	床（ギャラリー）	F-4	モルタル金ゴテ押え
庇	D	庇上面：防水モルタル金ゴテ 庇下面：白セメント吹付	壁ブレース	V	L-75×75×6
タラップ	J	ステンレス製			



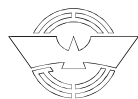
既存吹抜部分平面図 1/100



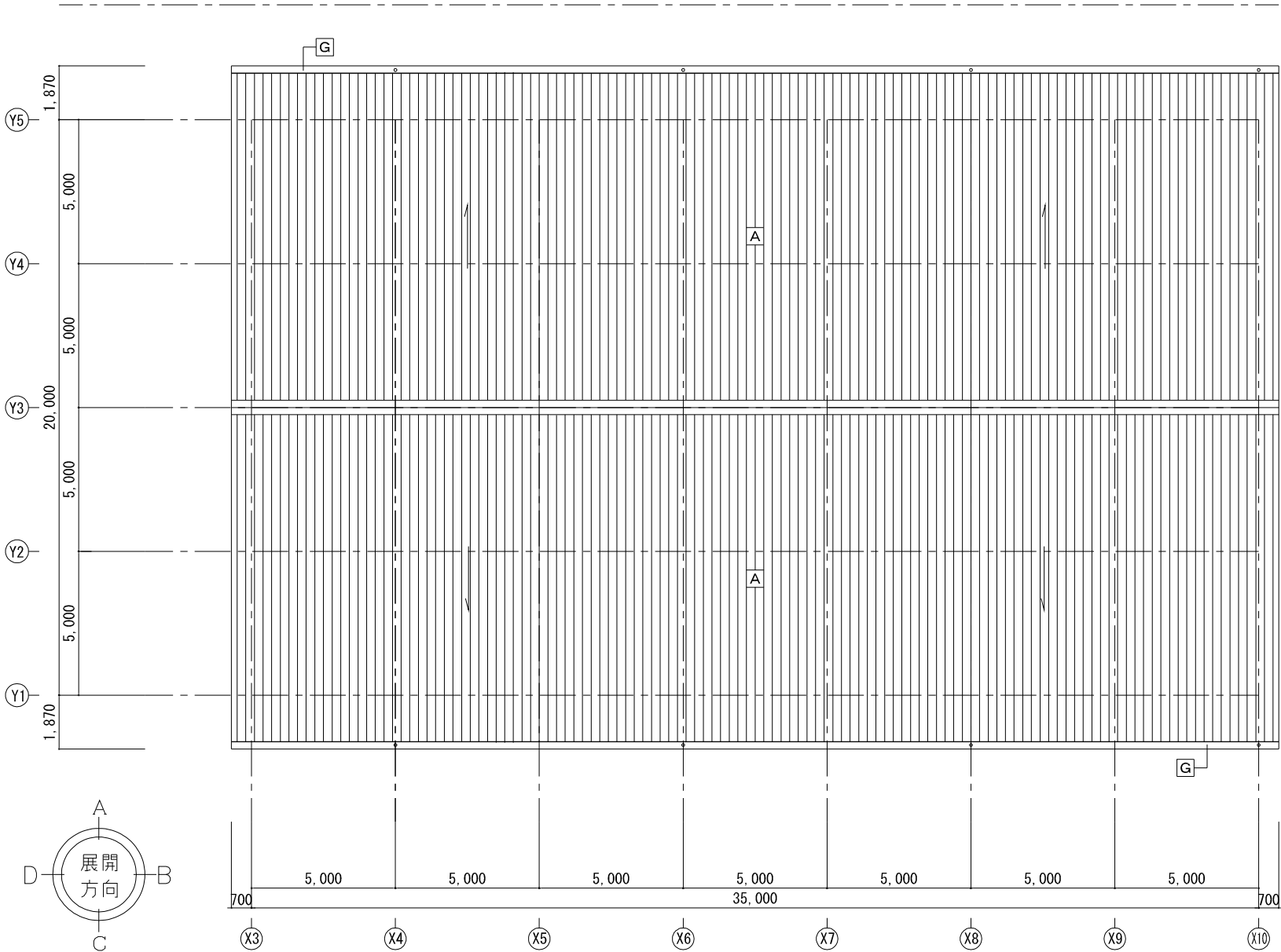
外 部 改 修 仕 上 表			内 部 改 修 仕 上 表		
部 位	記 号	仕 上	部 位	記 号	仕 上
1階屋根	C	ウレタン塗膜防水 X-1・X-2、下地調整 目地部充填、改修ドレン新設	床（ギャラリー）	F-4	既存のまま 既存バスケットゴール固定金物部 補修
庇	D	庇上面：ウレタン塗膜防水 X-2、下地調整 庇下面：外装薄塗材E、下地調整、高圧水洗10～15Mpa	壁ブレース	V	SOP塗装、錆止め塗装
タラップ	J	クリーニング			



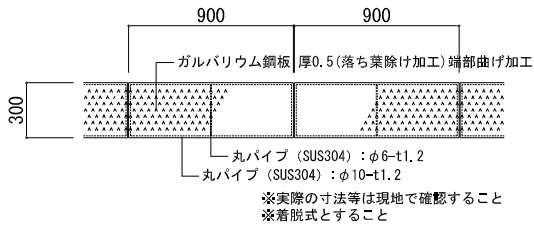
改修吹抜部分平面図 1/100



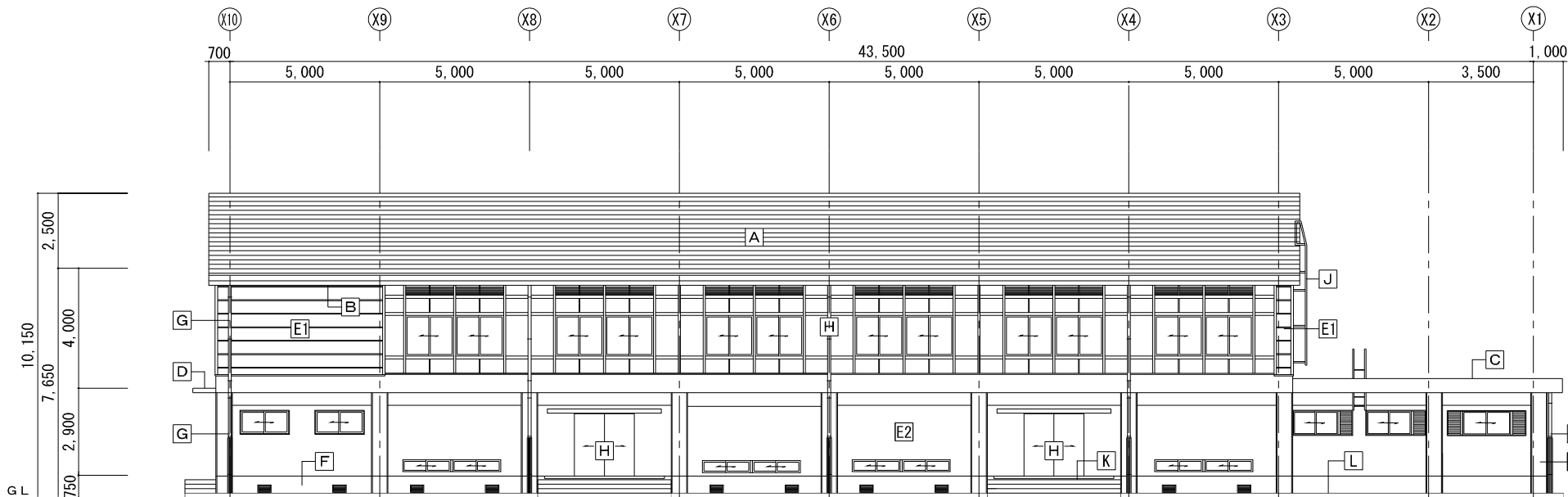
外 部 既 存 仕 上 表					
部 位	記 号	仕 上	部 位	記 号	仕 上
屋 根	A	カラーガルバリウム鋼板 カバー工法 嵌合式壁はげ葺き 厚0.4(厚4.0 断熱材裏貼り) (カバー工法) 下地 厚25 スタイロフォーム、不陸調整 スタイロフォーム斜面造成 破風板・鼻隠し：耐候性塗料塗 (DP フッ素系)、錆止め塗装、下地調整	樋	G	軒樋：耐候性塗料塗 (DP フッ素系)、錆止め、下地調整、防球ネット (新設)、清掃 壁樋：カラー塩ビ管φ100、SUS金物 新設、養生管：DP塗装・錆止め塗装



改修屋根伏せ図 1/100

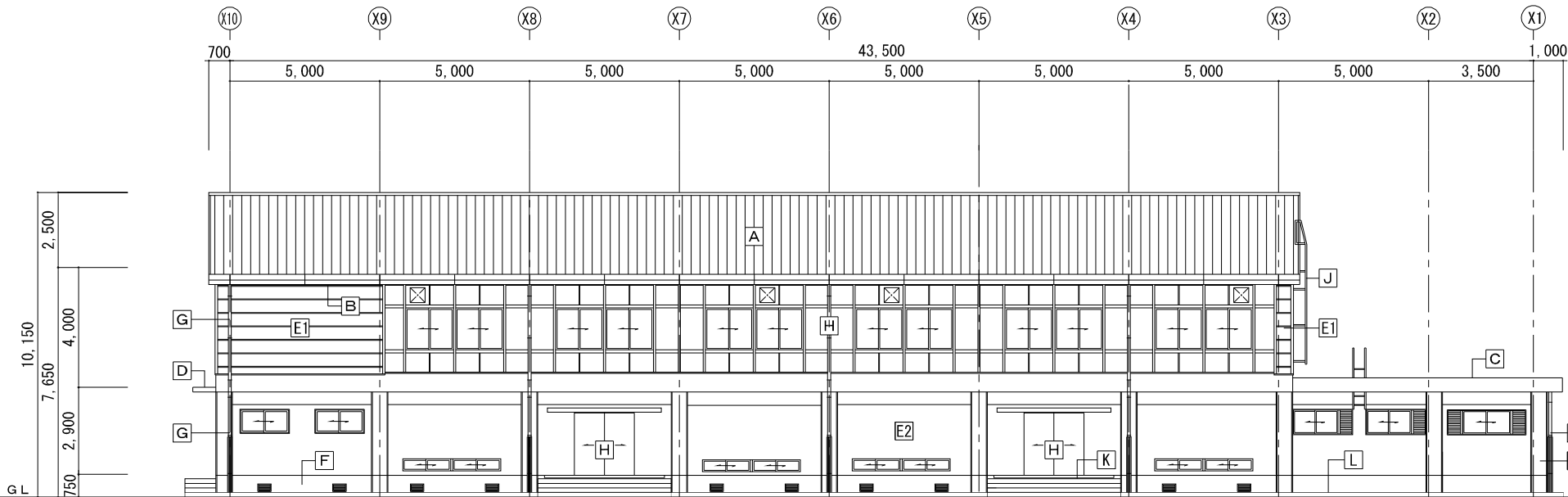


【防球ネット詳細図 1/20】



既存東側立面図 1/100

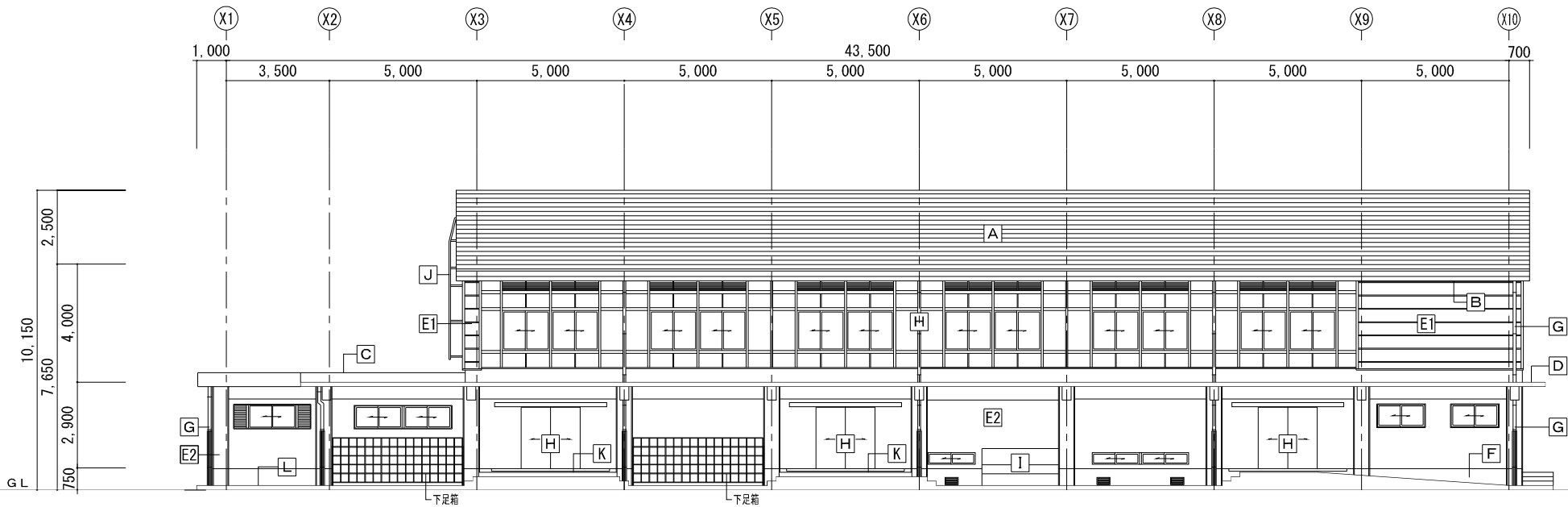
外 部 既 存 仕 上 表		
部 位	記 号	仕 上
屋 根	A	カラーアルミ板横葺 厚0.6、発泡ポリエチレン 厚4 裏貼 ガラス繊維断熱材 厚25、銅製タルキ@490 垂鉛メッキOP塗装
軒 裏	B	ハードボード 厚7 (※)、ケイカル板 厚8 撤去
1階屋根	C	保輕モルタル金ゴテ仕上 厚25 (目地切り)、ウレタン防水 モルタル金ゴテ仕上 厚20、鉄筋コンクリート下地 遮音目地材W25 撤去、ﾎｰﾌﾞﾝ撤去
庇	D	庇上面：防水モルタル金ゴテ 庇下面：白セメント吹付
外 壁	E1	カラー鉄板貼 厚0.5 (サイディング)、木毛セメント板 厚25、軽鉄下地
	E2	アクリルリシン吹付、コンクリート打放
巾 木	F	アクリルリシン吹付、コンクリート打放
樋	G	軒樋：オリエンタルメタル 厚0.5 曲加工 受金物：L-50×50×6@600 防球ネット付 (枠 ｵ13 OP塗装共) (撤去) 竖樋：硬質塩ビ管 100φ VP塗装 撤去、養生管 H2,000 OP塗装
建 具	H	アルミサッシ：引違い窓・Fix窓 撤去 (ガラス：納入ガラス厚6.8) スチールドア：SOP塗装 撤去 床下点検口：アルミパネルドア、床下換気口：アルミガラリ 400×200
手洗い場	I	人造石研出し
タラップ	J	アルミ製
踊場・階段 スロープ	K	塗床塗装、コンクリート金ゴテ押え
犬走	L	コンクリート金ゴテ押え



改修東側立面図 1/100

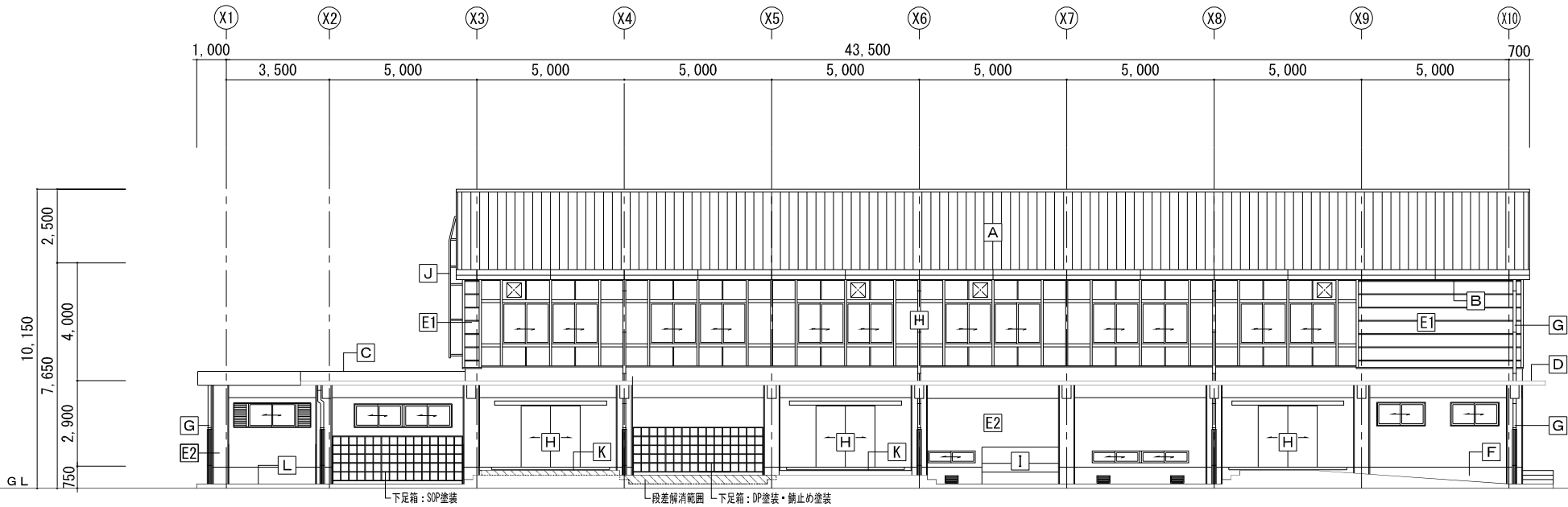
外 部 改 修 仕 上 表		
部 位	記 号	仕 上
屋 根	A	カラーガルバリウム鋼板 カバー工法 嵌合式壁はげ葺き 厚0.4 (厚4.0 断熱材裏貼り) (カバー工法) 下地 厚25 スタイロフォーム、不陸調整 スタイロフォーム斜面造成 破風板・鼻隠し：耐候性塗料塗 (DP フッ素系)、錆止め塗装、下地調整
軒 裏	B	EP-G塗装、ケイ酸カルシウム板 厚6
1階屋根	C	ウレタン塗膜防水 X-1・X-2、下地調整 目地部ﾎｰﾙ充填、改修ﾄﾞﾚﾝ新設
庇	D	庇上面：ウレタン塗膜防水 X-2、下地調整 庇下面：外装薄塗材E、下地調整、高圧水洗10～15Mpa
外 壁	E1	カラー鉄板貼面：耐候性塗料塗 (DP フッ素系)、錆止め塗装、下地調整
	E2	コンクリート打放面：防水形複層塗材E、下地調整、高圧水洗10～15Mpa クラック補修：Uカット樹脂モルタル補修、建具廻りシーリング打替え (PU-2)
巾 木	F	防水形複層塗材E、下地調整、高圧水洗10～15Mpa
樋	G	軒樋：耐候性塗料塗 (DP フッ素系)、錆止め、下地調整、防球ネット (新設)、清掃 竖樋：カラー塩ビ管 100、SUS金物 新設、養生管：DP塗装・錆止め塗装
建 具	H	アルミサッシ：引違い窓・Fix窓 新設 (建具表による) スチールドア：引き分けハンガードア 新設 (建具表による) 既存建具：ガラスシール止め、建具廻りシーリング打替・クレセント取替・DP塗装 (建具表による)
手洗い場	I	クリーニング
タラップ	J	クリーニング
踊場・階段 スロープ	K	水性アクリル樹脂系塗床 (防滑仕上)、欠損補修、クラック補修 (スロープ新設、U字溝共)
犬走	L	既存のまま (一部新設、U字溝共)





既存西側立面図 1/100

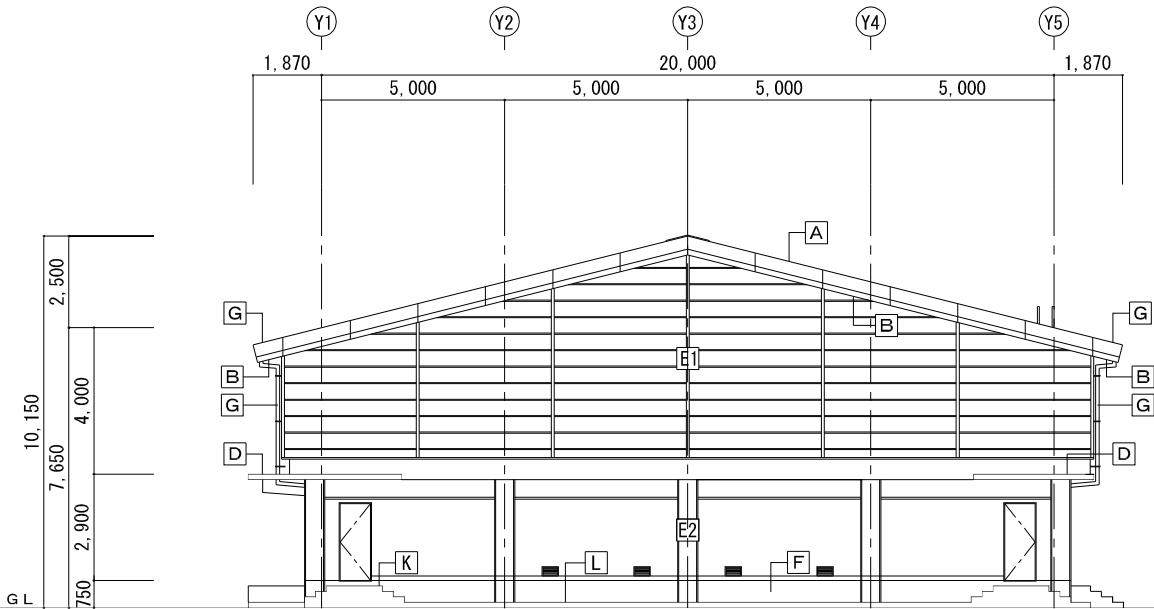
外 部 既 存 仕 上 表		
部 位	記 号	仕 上
屋 根	A	カラーアルミ板横葺 厚0.6、発泡ポリエチレン 厚4 裏貼 ガラス繊維断熱材 厚25、銅製タルキ@490 垂鉛メッキOP塗装
軒 裏	B	ハードボード 厚7 (※)、ケイカル板 厚8 撤去
1階屋根	C	保輕モルタル金ゴテ仕上 厚25 (目地切り)、ウレタン防水 モルタル金ゴテ仕上 厚20、鉄筋コンクリート下地 遮音目地材W25 撤去、ｽｰﾌﾟ'ﾝ撤去
庇	D	庇上面：防水モルタル金ゴテ 庇下面：白セメント吹付
外 壁	E1	カラー鉄板貼 厚0.5 (サイディング)、木毛セメント板 厚25、軽鉄下地
	E2	アクリルリシン吹付、コンクリート打放
巾 木	F	アクリルリシン吹付、コンクリート打放
樋	G	軒樋：オリエンタルメタル 厚0.5 曲加工 受金物：L-50×50×6@600 防球ネット付 (枠 ｵ13 OP塗装共) (撤去) 竖樋：硬質塩ビ管 100φ VP塗装 撤去、養生管 H2,000 OP塗装
建 具	H	アルミサッシ：引違い窓・Fix窓 撤去 (ガラス：網入ガラス厚6.8) スチールドア：SOP塗装 撤去 床下点検口：アルミバネルドア、床下換気口：アルミガラリ 400×200
手洗い場	I	人造石研出し
タラップ	J	アルミ製
踊場・階段 スロープ	K	塗床塗装、コンクリート金ゴテ押え
犬走	L	コンクリート金ゴテ押え



改修西側立面図 1/100

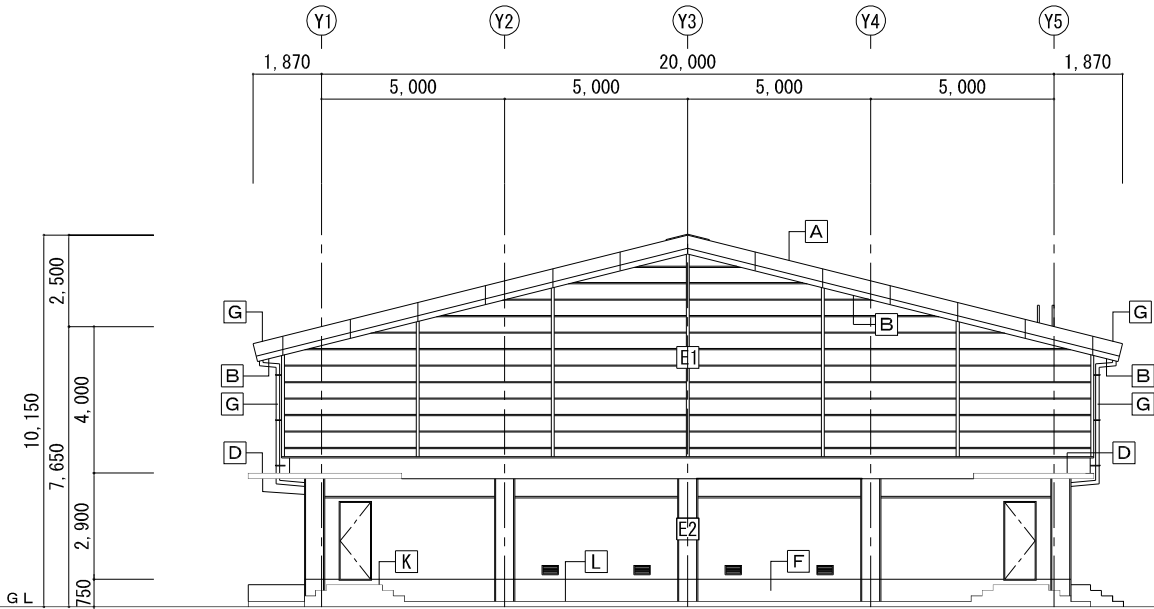
外 部 改 修 仕 上 表		
部 位	記 号	仕 上
屋 根	A	カラーガルバリウム鋼板 カバー工法 嵌合式笠はげ葺き 厚0.4 (厚4.0 断熱材裏貼り) (カバー工法) 下地 厚25 スタイロフォーム、不陸調整 スタイロフォーム斜面造成 破風板・鼻隠し：耐候性塗料塗 (DP フッ素系)、錆止め塗装、下地調整
軒 裏	B	EP-G塗装、ケイ酸カルシウム板 厚6
1階屋根	C	ウレタン塗膜防水 X-1・X-2、下地調整
庇	D	ウレタン塗膜防水 X-1・X-2、下地調整 目地部ﾓﾙﾙ充填、改修ﾄﾚﾝ新設
外 壁	E1	カラー鉄板貼面：耐候性塗料塗 (DP フッ素系)、錆止め塗装、下地調整
	E2	コンクリート打放面：防水形複層塗材E、下地調整、高圧水洗10～15Mpa クラック補修：Uカット樹脂モルタル補修、建具廻りシーリング打替え (PU-2)
巾 木	F	防水形複層塗材E、下地調整、高圧水洗10～15Mpa
樋	G	軒樋：耐候性塗料塗 (DP フッ素系)、錆止め、下地調整、防球ネット (新設)、清掃 竖樋：カラー塩ビ管 100、SUS金物 新設、養生管：DP塗装・錆止め塗装
建 具	H	アルミサッシ：引違い窓・Fix窓 新設 (建具表による) スチールドア：引き分けハンガードア 新設 (建具表による) 既存建具：ガラスシール止め、建具廻りシーリング打替・クレセント取替・DP塗装 (建具表による)
手洗い場	I	クリーニング
タラップ	J	クリーニング
踊場・階段 スロープ	K	水性アクリル樹脂系塗床 (防滑仕上)、欠損補修、クラック補修 (スロープ新設、U字溝共)
犬走	L	既存のまま (一部新設、U字溝共)





既存南側立面図 1/100

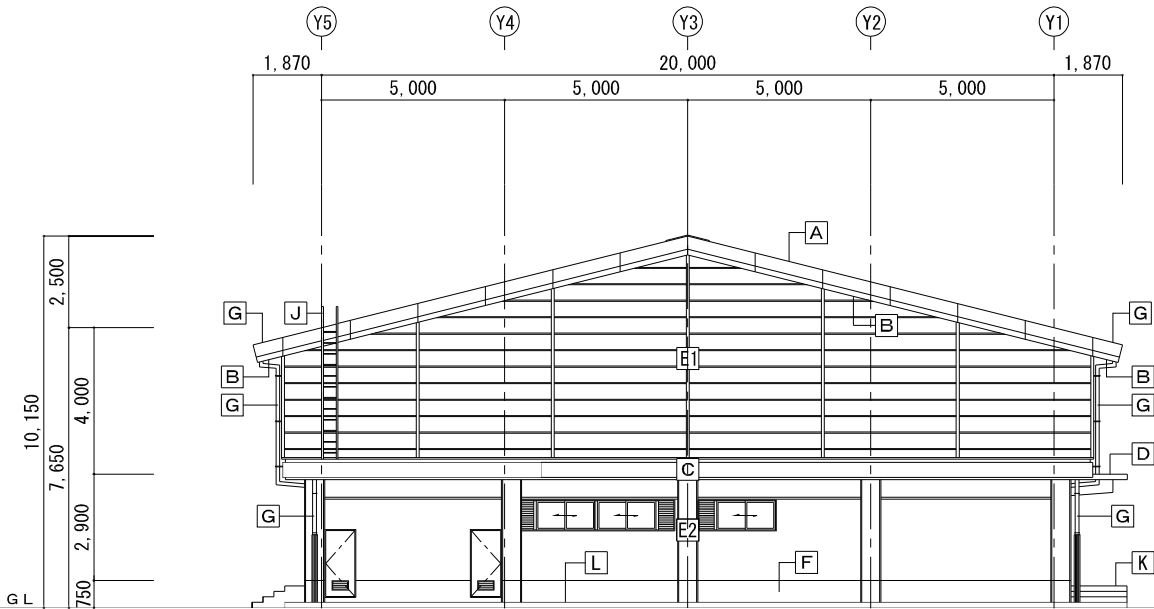
外 部 既 存 仕 上 表		
部 位	記 号	仕 上
屋 根	A	カラーアルミ板横葺 厚0.6、発泡ポリエチレン 厚4 裏貼 ガラス繊維断熱材 厚25、銅製タルキ@490 垂鉛メッキOP塗装
軒 裏	B	ハードボード 厚7（※）、ケイカル板 厚8 撤去
1階屋根	C	保輕モルタル金ゴテ仕上 厚25（目地切り）、ウレタン防水 モルタル金ゴテ仕上 厚20、鉄筋コンクリート下地 遮音目地材W25 撤去、ｽｰﾌﾟ'ﾝ撤去
庇	D	庇上面：防水モルタル金ゴテ 庇下面：白セメント吹付
外 壁	E1	カラー鉄板貼 厚0.5（サイディング）、木毛セメント板 厚25、軽鉄下地
	E2	アクリルリシン吹付、コンクリート打放
巾 木	F	アクリルリシン吹付、コンクリート打放
樋	G	軒樋：オリエンタルメタル 厚0.5 曲加工 受金物：L-50×50×6@600 防球ネット付（枠 ｵ13 OP塗装共）（撤去） 竖樋：硬質塩ビ管 100φ VP塗装 撤去、養生管 H2,000 OP塗装
建 具	H	アルミサッシ：引違い窓・Fix窓 撤去（ガラス：納入ガラス厚6.8） スチールドア：SOP塗装 撤去 床下点検口：アルミパネルドア、床下換気口：アルミガラリ 400×200
手洗い場	I	人造石研出し
タラップ	J	アルミ製
踊場・階段 スロープ	K	塗床塗装、コンクリート金ゴテ押え
犬走	L	コンクリート金ゴテ押え



改修南側立面図 1/100

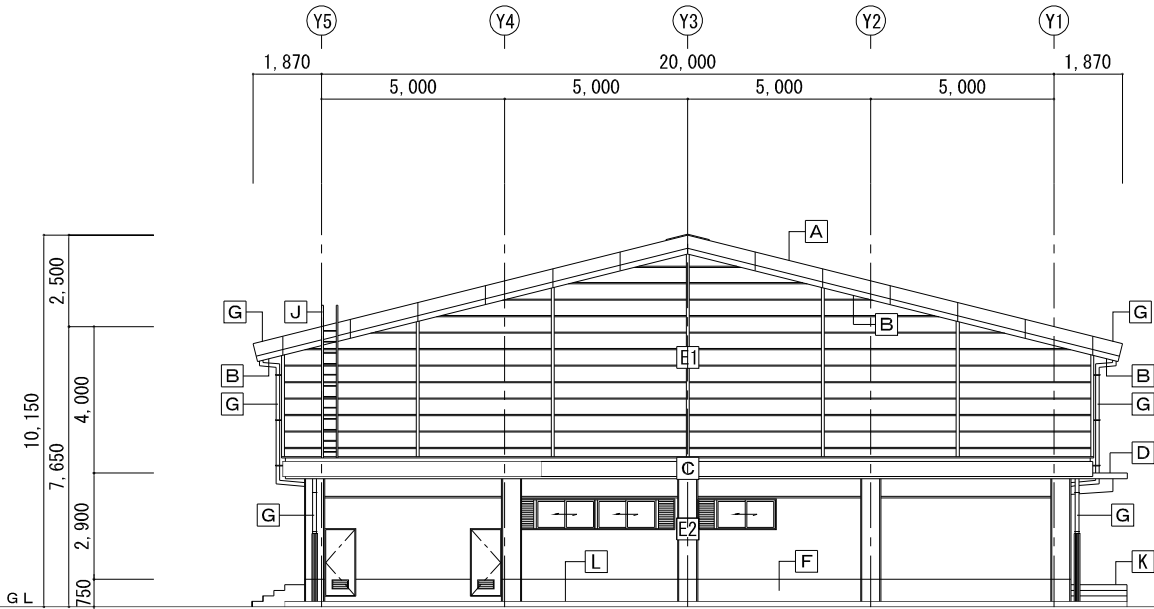
外 部 改 修 仕 上 表		
部 位	記 号	仕 上
屋 根	A	カラーガルバリウム鋼板 カバー工法 嵌合式隠はげ葺き 厚0.4(厚4.0 断熱材裏貼り)（カバー工法） 下地 厚25 スタイロフォーム、不陸調整 スタイロフォーム斜面造成 破風板・鼻隠し：耐候性塗料塗（DP フッ素系）、錆止め塗装、下地調整
軒 裏	B	EP-G塗装、ケイ酸カルシウム板 厚6
1階屋根	C	ウレタン塗膜防水 X-1・X-2、下地調整 目地部ﾎﾙﾄﾙ充填、改修ﾄﾞﾚﾝ新設
庇	D	庇上面：ウレタン塗膜防水 X-2、下地調整 庇下面：外装薄塗材E、下地調整、高圧水洗10～15Mpa
外 壁	E1	カラー鉄板貼面：耐候性塗料塗（DP フッ素系）、錆止め塗装、下地調整
	E2	コンクリート打放面：防水形複層塗材E、下地調整、高圧水洗10～15Mpa クラック補修：Uカット樹脂モルタル補修、建具廻りシーリング打替え（PU-2）
巾 木	F	防水形複層塗材E、下地調整、高圧水洗10～15Mpa
樋	G	軒樋：耐候性塗料塗（DP フッ素系）、錆止め、下地調整、防球ネット（新設）、清掃 竖樋：カラー塩ビ管 100、SUS金物 新設、養生管：DP塗装・錆止め塗装
建 具	H	アルミサッシ：引違い窓・Fix窓 新設（建具表による） スチールドア：引き分けハンガードア 新設（建具表による） 既存建具：ガラスシール止め、建具廻りシーリング打替・クレセント取替・DP塗装（建具表による）
手洗い場	I	クリーニング
タラップ	J	クリーニング
踊場・階段 スロープ	K	水性アクリル樹脂系塗床（防滑仕上）、欠損補修、クラック補修（スロープ新設、U字溝共）
犬走	L	既存のまま（一部新設、U字溝共）





既存北側立面図 1/100

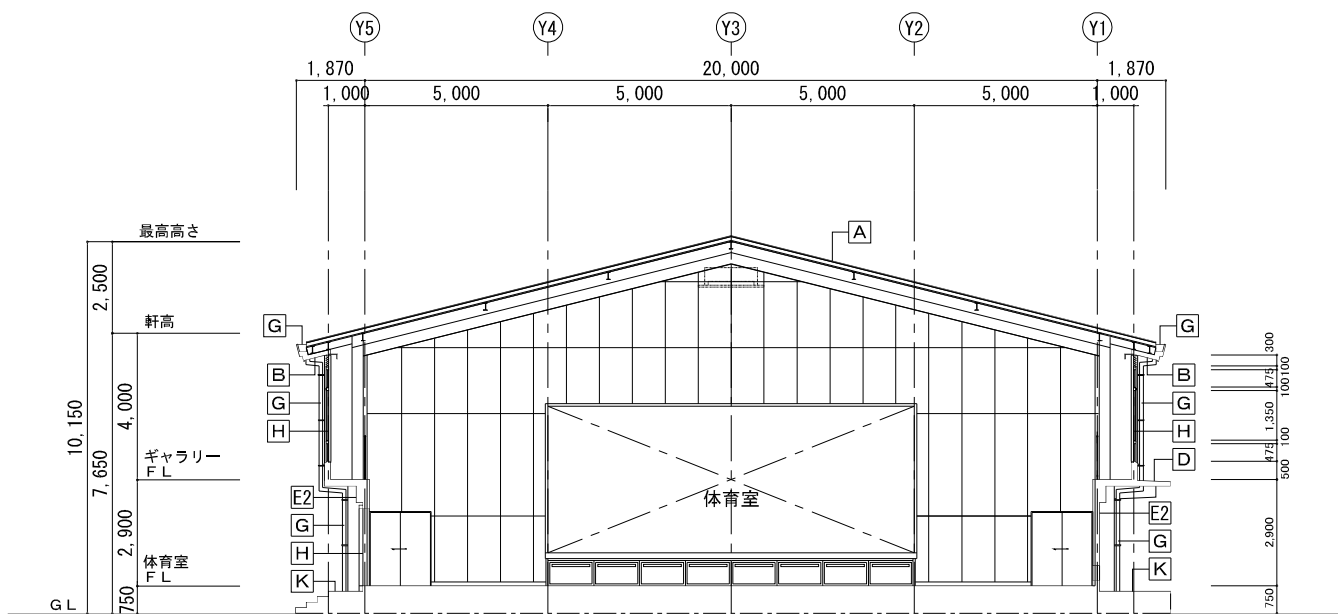
外 部 既 存 仕 上 表		
部 位	記 号	仕 上
屋 根	A	カラーアルミ板横葺 厚0.6、発泡ポリエチレン 厚4 裏貼 ガラス繊維断熱材 厚25、銅製タルキ@490 垂鉛メッキOP塗装
軒 裏	B	ハードボード 厚7（※）、ケイカル板 厚8 撤去
1階屋根	C	保輕モルタル金ゴテ仕上 厚25（目地切り）、ウレタン防水 モルタル金ゴテ仕上 厚20、鉄筋コンクリート下地 遮音目地材W25 撤去、ｽｰﾌﾟ'撤去
庇	D	庇上面：防水モルタル金ゴテ 庇下面：白セメント吹付
外 壁	E1	カラー鉄板貼 厚0.5（サイディング）、木毛セメント板 厚25、軽鉄下地
	E2	アクリルリシン吹付、コンクリート打放
巾 木	F	アクリルリシン吹付、コンクリート打放
樋	G	軒樋：オリエンタルメタル 厚0.5 曲加工 受金物：L-50×50×6@600 防球ネット付（枠 φ13 OP塗装共）（撤去） 竖樋：硬質塩ビ管 100φ VP塗装 撤去、養生管 H2,000 OP塗装
建 具	H	アルミサッシ：引違い窓・Fix窓 撤去（ガラス：納入ガラス厚6.8） スチールドア：SOP塗装 撤去 床下点検口：アルミパネルドア、床下換気口：アルミガラリ 400×200
手洗い場	I	人造石研出し
タラップ	J	アルミ製
踊場・階段 スロープ	K	塗床塗装、コンクリート金ゴテ押え
犬走	L	コンクリート金ゴテ押え



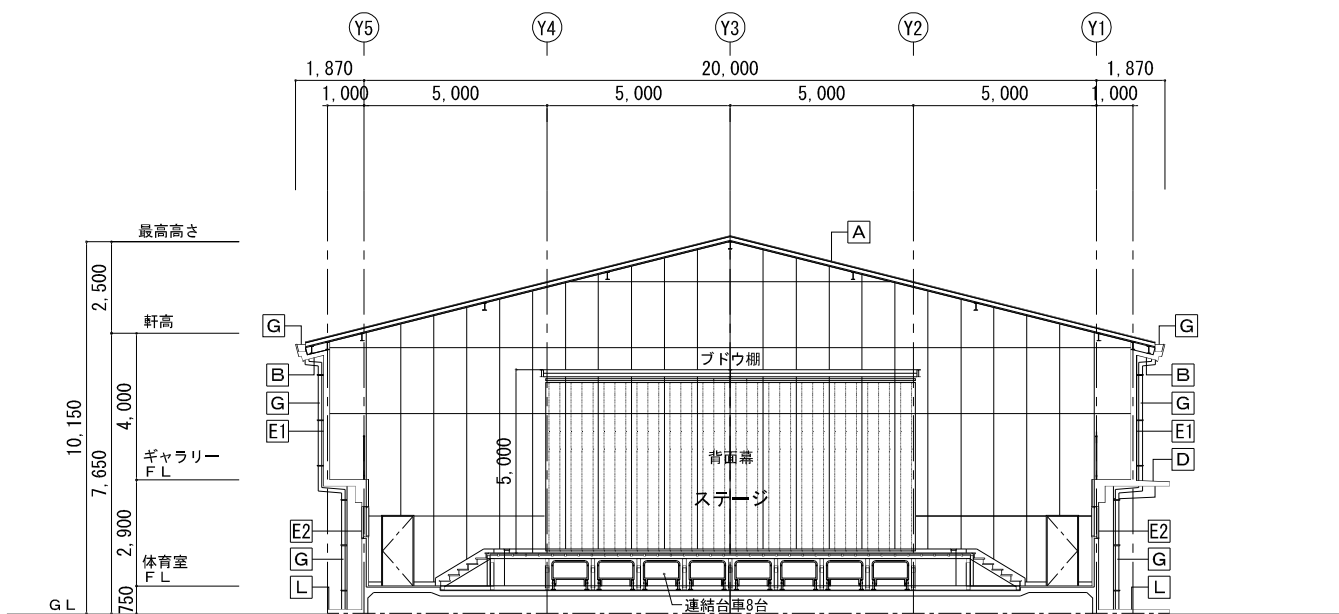
改修北側立面図 1/100

外 部 改 修 仕 上 表		
部 位	記 号	仕 上
屋 根	A	カラーガルバリウム鋼板 カバー工法 嵌合式笠はぜ葺き 厚0.4(厚4.0 断熱材裏貼り)（カバー工法） 下地 厚25 スタイロフォーム、不陸調整 スタイロフォーム斜面造成 破風板・鼻隠し：耐候性塗料塗（DP フッ素系）、錆止め塗装、下地調整
軒 裏	B	EP-G塗装、ケイ酸カルシウム板 厚6
1階屋根	C	ウレタン塗膜防水 X-1・X-2、下地調整 目地部モルタル充填、改修ドレン新設
庇	D	庇上面：ウレタン塗膜防水 X-2、下地調整 庇下面：外装薄塗材E、下地調整、高圧水洗10～15Mpa
外 壁	E1	カラー鉄板貼面：耐候性塗料塗（DP フッ素系）、錆止め塗装、下地調整
	E2	コンクリート打放面：防水形複層塗材E、下地調整、高圧水洗10～15Mpa クラック補修：Uカット樹脂モルタル補修、建具廻りシーリング打替え（PU-2）
巾 木	F	防水形複層塗材E、下地調整、高圧水洗10～15Mpa
樋	G	軒樋：耐候性塗料塗（DP フッ素系）、錆止め、下地調整、防球ネット（新設）、清掃 竖樋：カラー塩ビ管φ100、SUS金物 新設、養生管：DP塗装・錆止め塗装
建 具	H	アルミサッシ：引違い窓・Fix窓 新設（建具表による） スチールドア：引き分けハンガードア 新設（建具表による） 既存建具：ガラスシール止め、建具廻りシーリング打替・クレセント取替・DP塗装（建具表による）
手洗い場	I	クリーニング
タラップ	J	クリーニング
踊場・階段 スロープ	K	水性アクリル樹脂系塗床（防滑仕上）、欠損補修、クラック補修（スロープ新設、U字溝共）
犬走	L	既存のまま（一部新設、U字溝共）

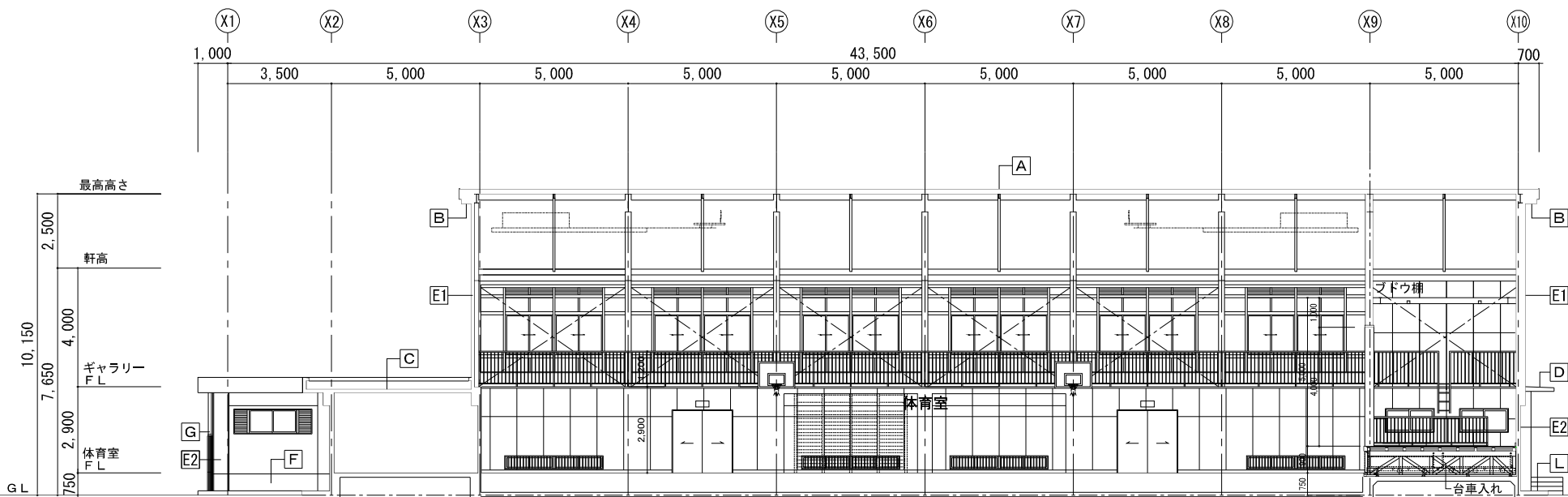




既存断面図 (1) 1/100

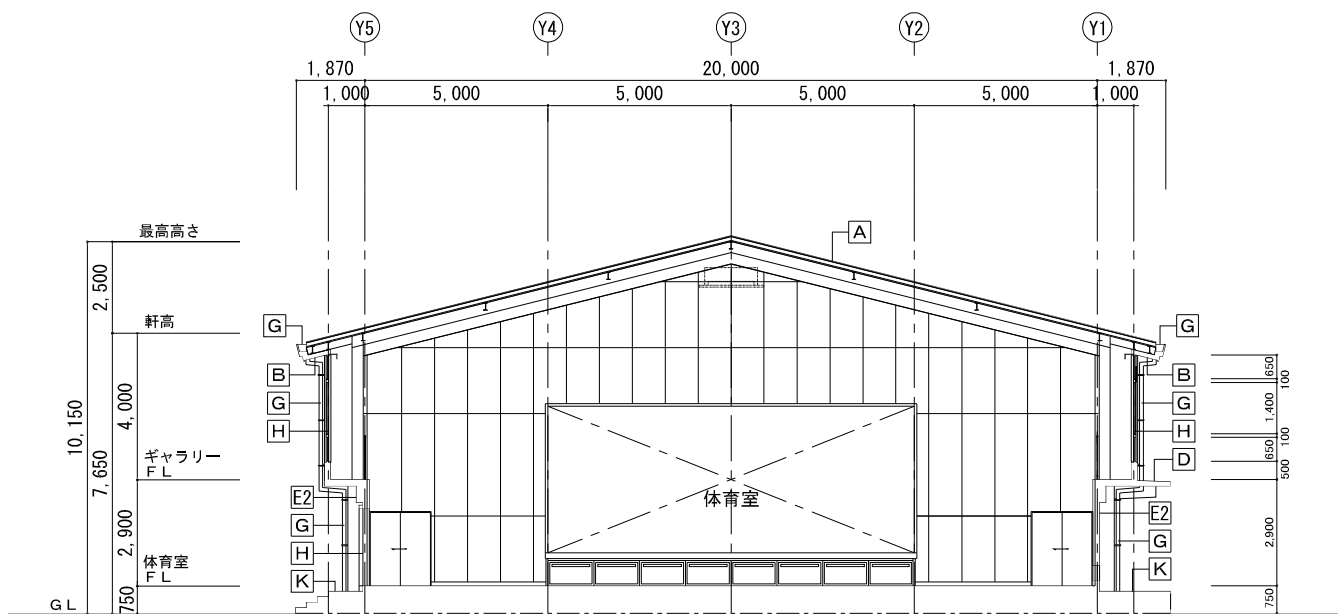


既存断面図 (2) 1/100

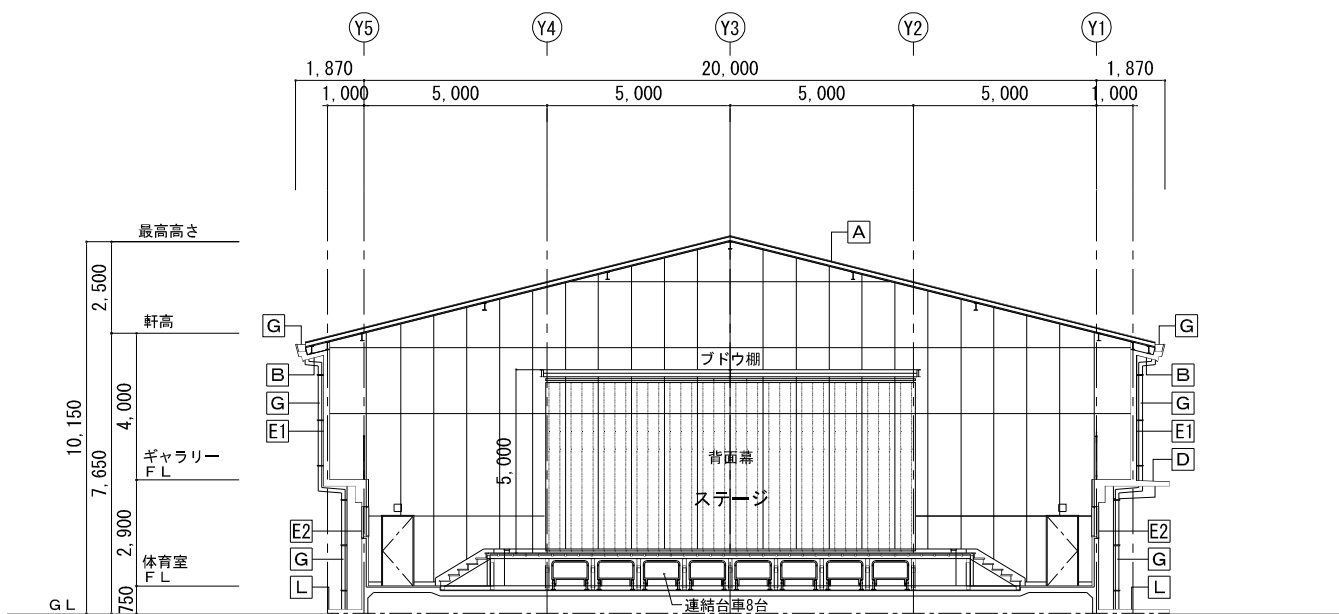


既存断面図 (3) 1/100

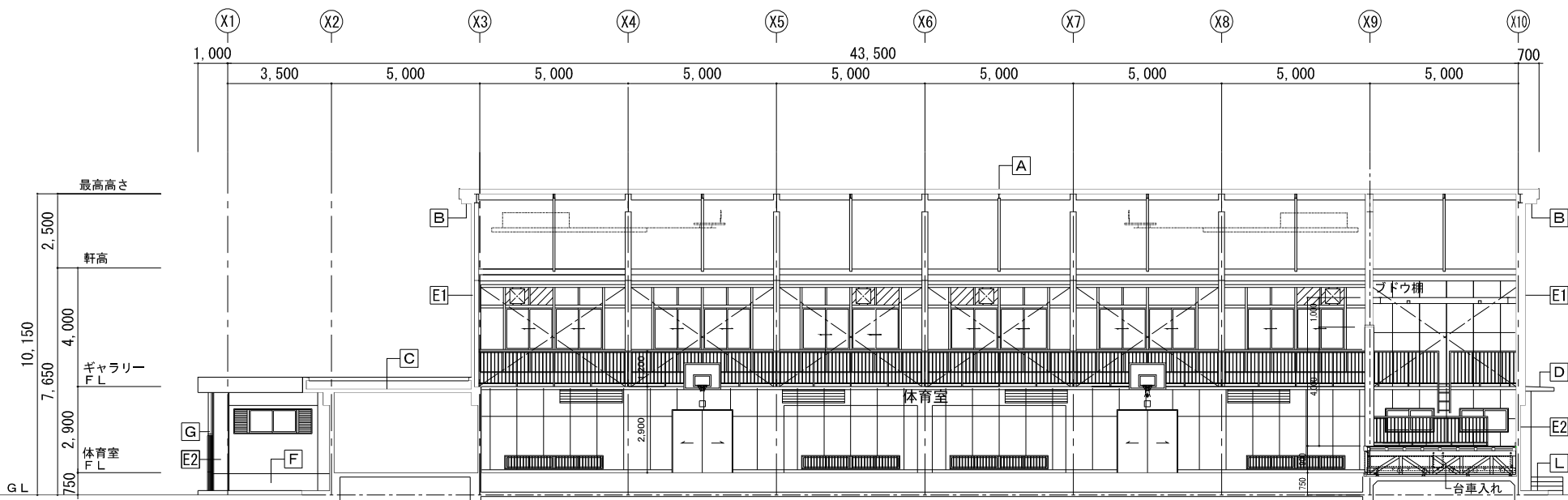
外 部 既 存 仕 上 表		
部 位	記 号	仕 上
屋 根	A	カラーアルミ板横葺 厚0.6、発泡ポリエチレン 厚4 裏貼 ガラス繊維断熱材 厚25、鋼製タルキ④490 垂鉛メッキOP塗装
軒 裏	B	ハードボード 厚7 (※)、ケイカル板 厚8 撤去
1階屋根	C	保輕モルタル金ゴテ仕上 厚25 (目地切り)、ウレタン防水 モルタル金ゴテ仕上 厚20、鉄筋コンクリート下地 瀝青目地材W25 撤去、ﾒｰﾌﾞﾙ撤去
庇	D	底上面：防水モルタル金ゴテ 底下面：白セメント吹付
外 壁	E1	カラー鉄板貼 厚0.5 (サイディング)、木毛セメント板 厚25、輕鉄下地
	E2	アクリルリシン吹付、コンクリート打放
巾 木	F	アクリルリシン吹付、コンクリート打放
樋	G	軒樋：オリエンタルメタル 厚0.5 曲加工 受金物：L-50×50×6@600 防球ネット付 (枠 ｵ13 OP塗装共) (撤去) 竪樋：硬質塩ビ管 100φ VP塗装 撤去、養生管 H2,000 OP塗装
建 具	H	アルミサッシ：引違い窓・FI窓 撤去 (ガラス：納入ガラス厚6.8) スチールドア：SOP塗装 撤去 床下点検口：アルミパネルドア、床下換気口：アルミガラリ 400×200
手洗い場	I	人造石研出し
タラップ	J	アルミ製
踊場・階段 スロープ	K	塗床塗装、コンクリート金ゴテ押え
犬走	L	コンクリート金ゴテ押え



改修面図 (1) 1/100



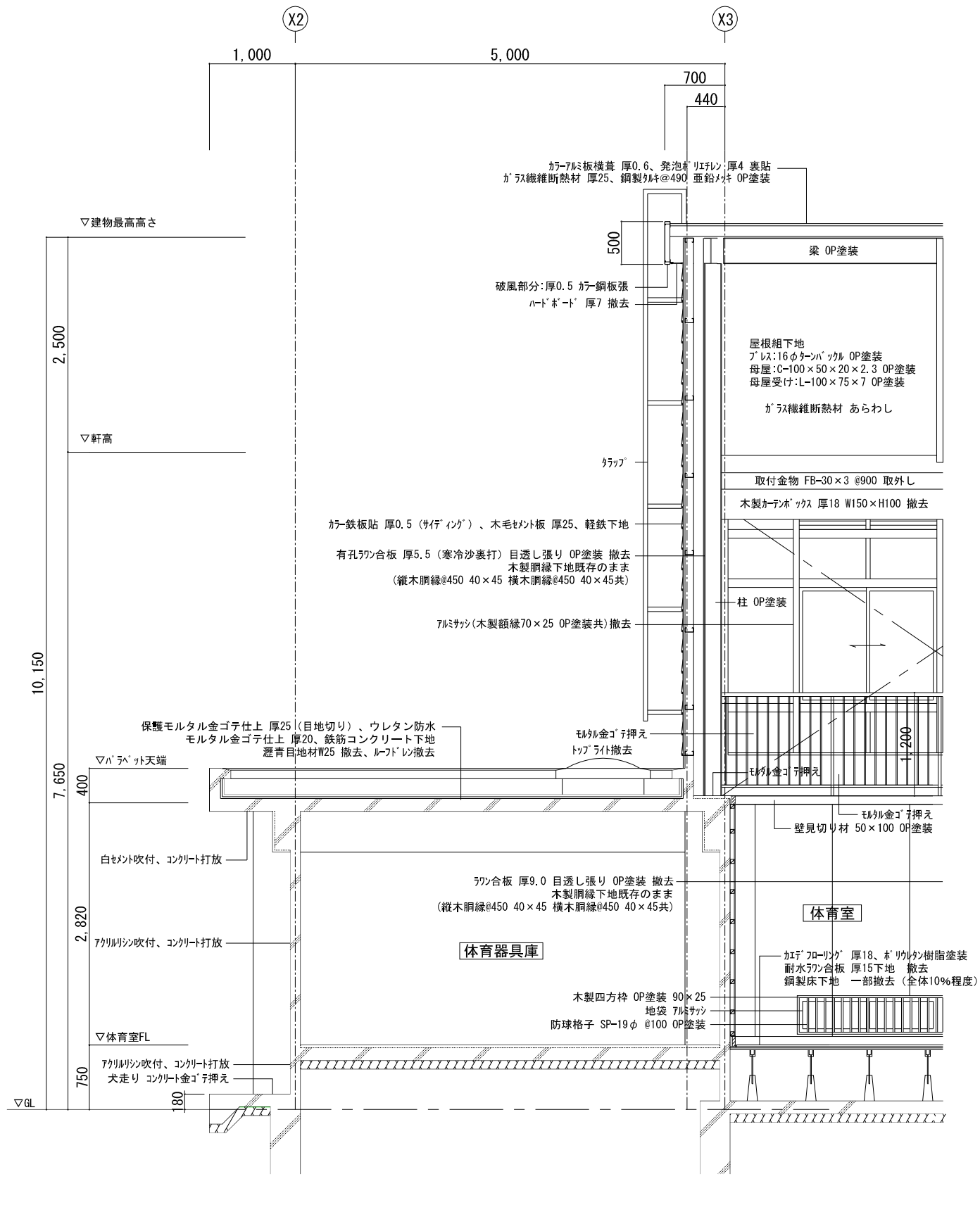
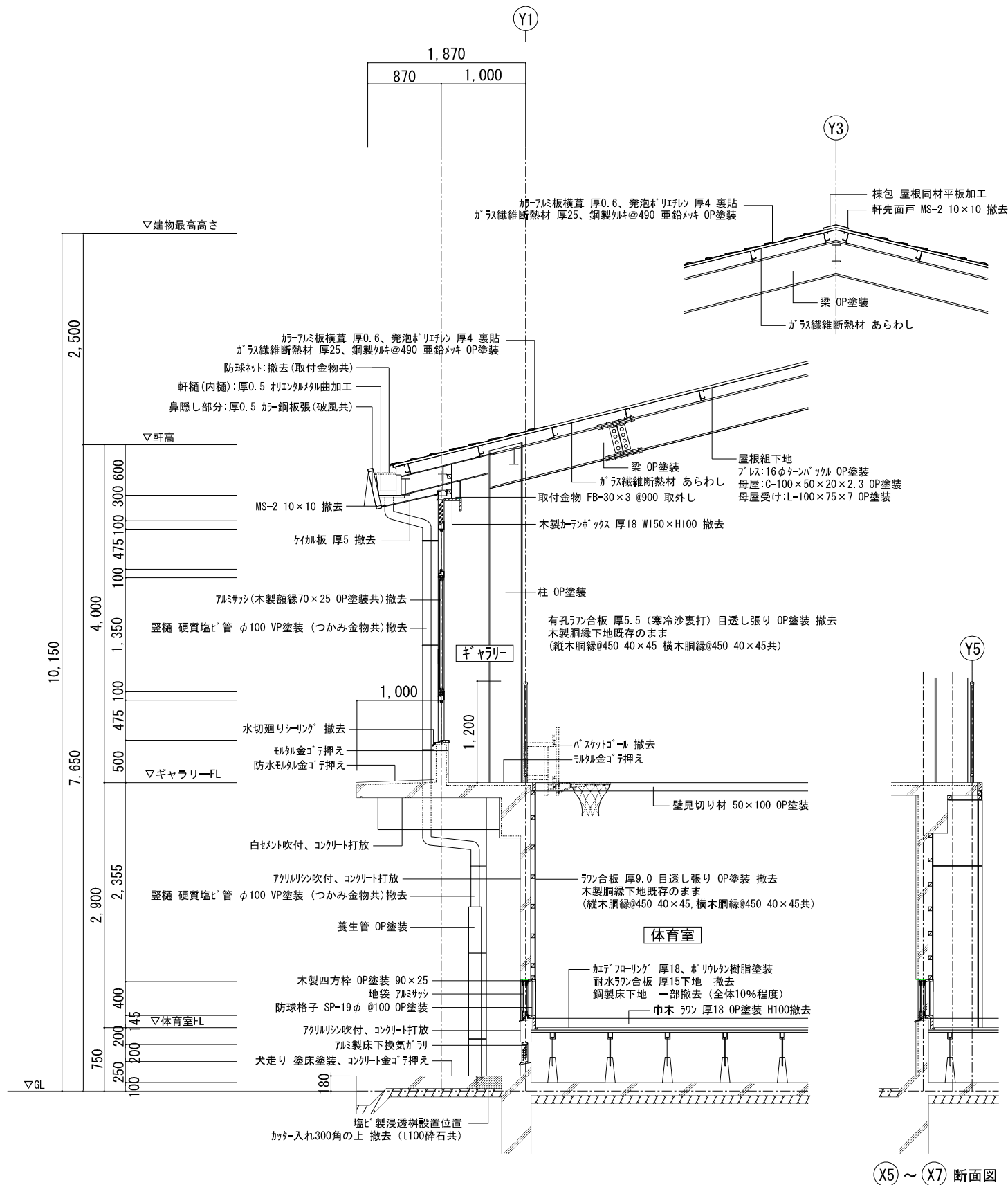
改修断面図 (2) 1/100



改修断面図 (3) 1/100

外部改修仕上表		
部位	記号	仕上
屋根	A	カラーガルバリウム鋼板 カバー工法 嵌合式壁はげ葺き 厚0.4(厚4.0 断熱材裏貼り) (カバー工法) 下地 厚25 スタイロフォーム、不陸調整 スタイロフォーム斜面造成 破風板・鼻隠し: 耐候性塗料塗 (DP フッ素系)、錆止め塗装、下地調整
軒裏	B	EP-G塗装、ケイ酸カルシウム板 厚6
1階屋根	C	ウレタン塗膜防水 X-1・X-2、下地調整 目地部モルタル充填、改修ドレン新設
庇	D	庇上面: ウレタン塗膜防水 X-2、下地調整 庇下面: 外装薄塗材E、下地調整、高圧水洗10~15Mpa
外壁	E1	カラー鉄板貼面: 耐候性塗料塗 (DP フッ素系)、錆止め塗装、下地調整
	E2	コンクリート打放面: 防水形複層塗材E、下地調整、高圧水洗10~15Mpa クラック補修: Uカット樹脂モルタル補修、建具廻りシーリング打替え (PU-2)
巾木	F	防水形複層塗材E、下地調整、高圧水洗10~15Mpa
樋	G	軒樋: 耐候性塗料塗 (DP フッ素系)、錆止め、下地調整、防球ネット (新設)、清掃 縦樋: カラー塩ビ管φ100、SUS金物 新設、養生管: DP塗装・錆止め塗装
建具	H	アルミサッシ: 引違い窓・FIX窓 新設 (建具表による) スチールドア: 引き分けハンガードア 新設 (建具表による) 既存建具: ガラスシール止め、建具廻りシーリング打替・クレセント取替・DP塗装 (建具表による)
手洗い場	I	クリーニング
タラップ	J	クリーニング
踊場・階段 スロープ	K	水性アクリル樹脂系塗床 (防滑仕上)、欠損補修、クラック補修 (スロープ新設、U字溝共)
犬走	L	既存のまま (一部新設、U字溝共)





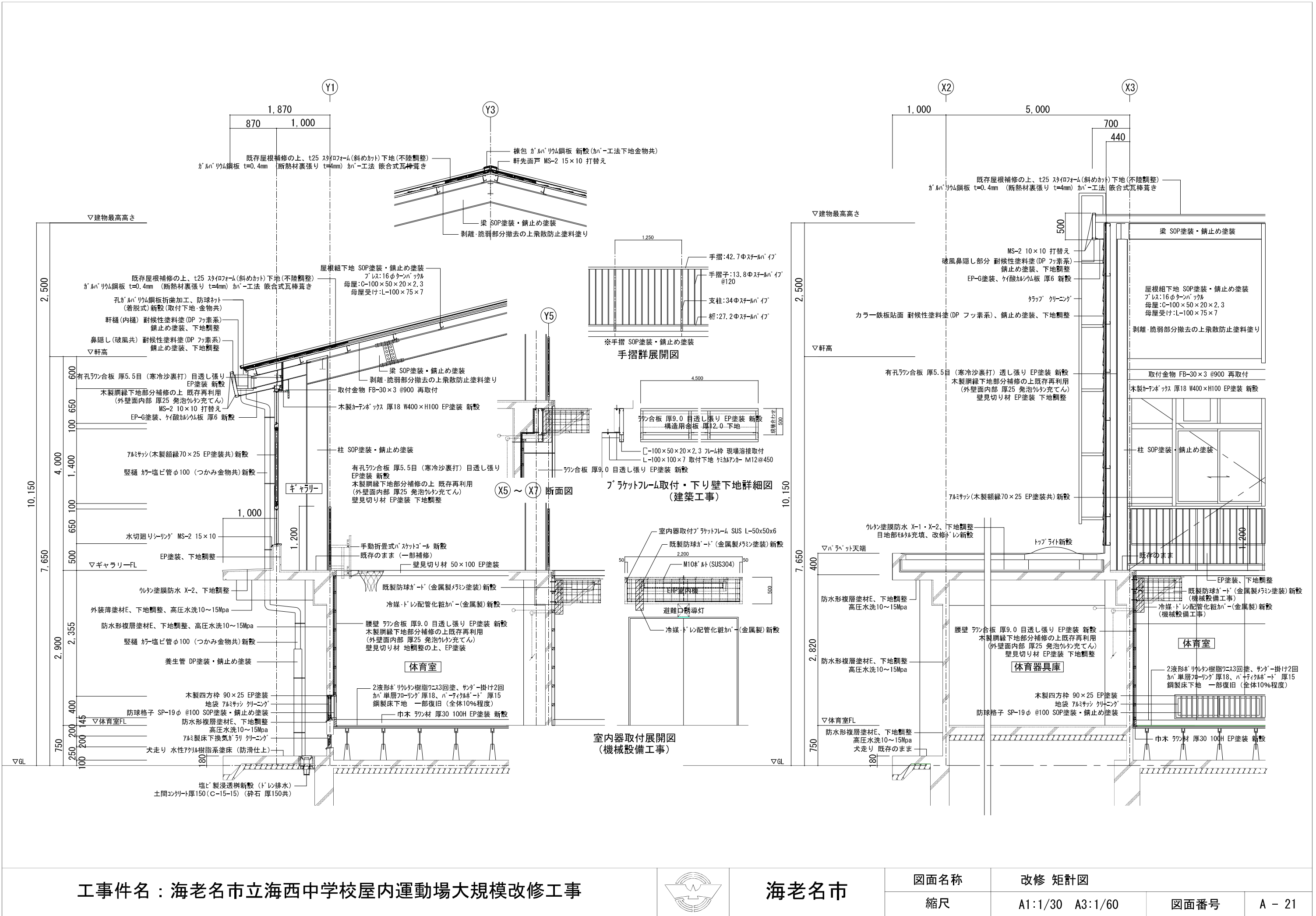
Y1 Y3 Y5 X2 X3 X5 X7 断面図

工事件名：海老名市立海西中学校屋内運動場大規模改修工事

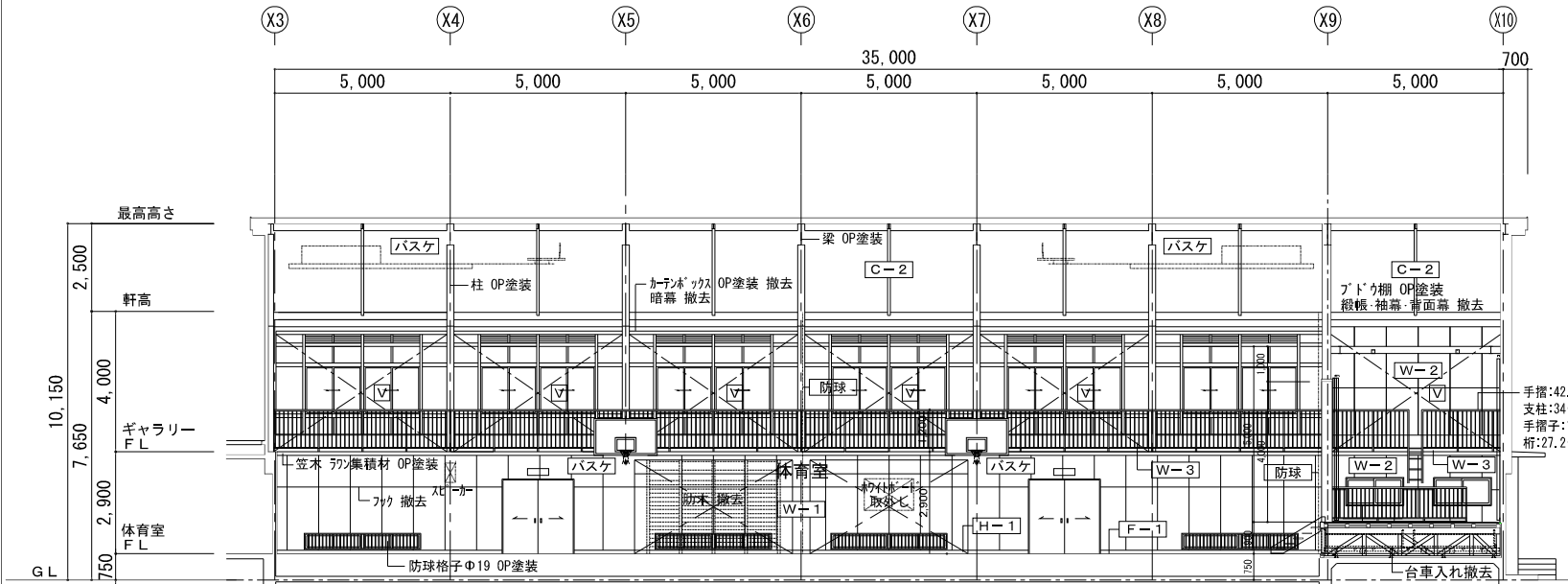


海老名市

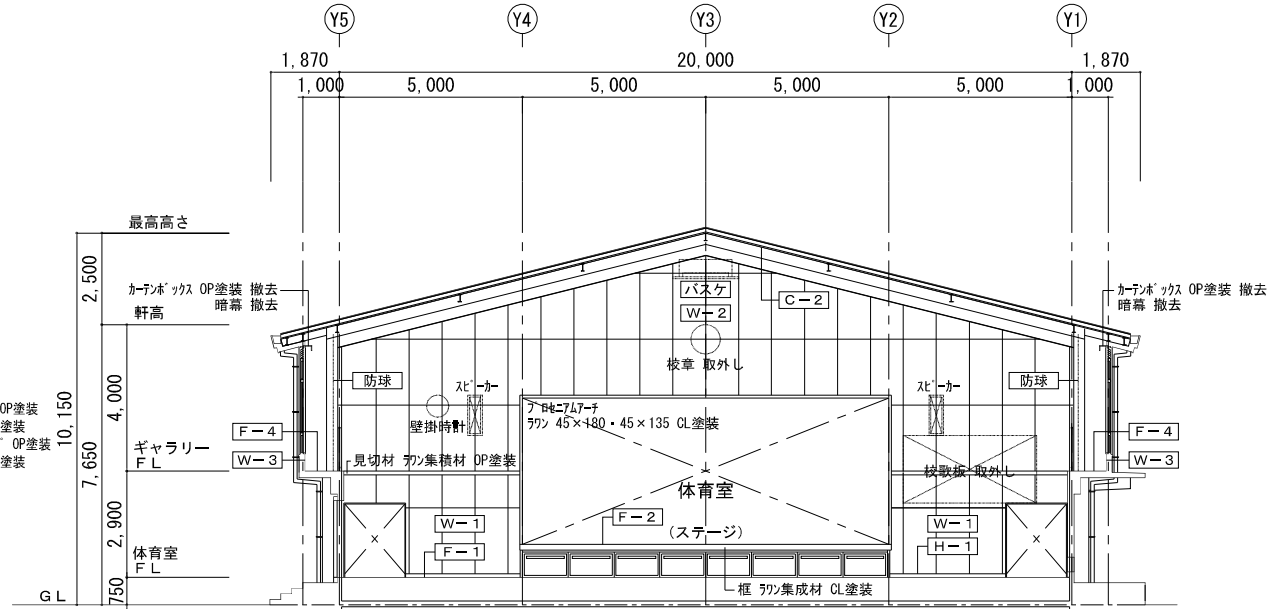
図面名称		既存 矩計図	
縮尺		A1:1/30 A3:1/60	図面番号
			A - 20



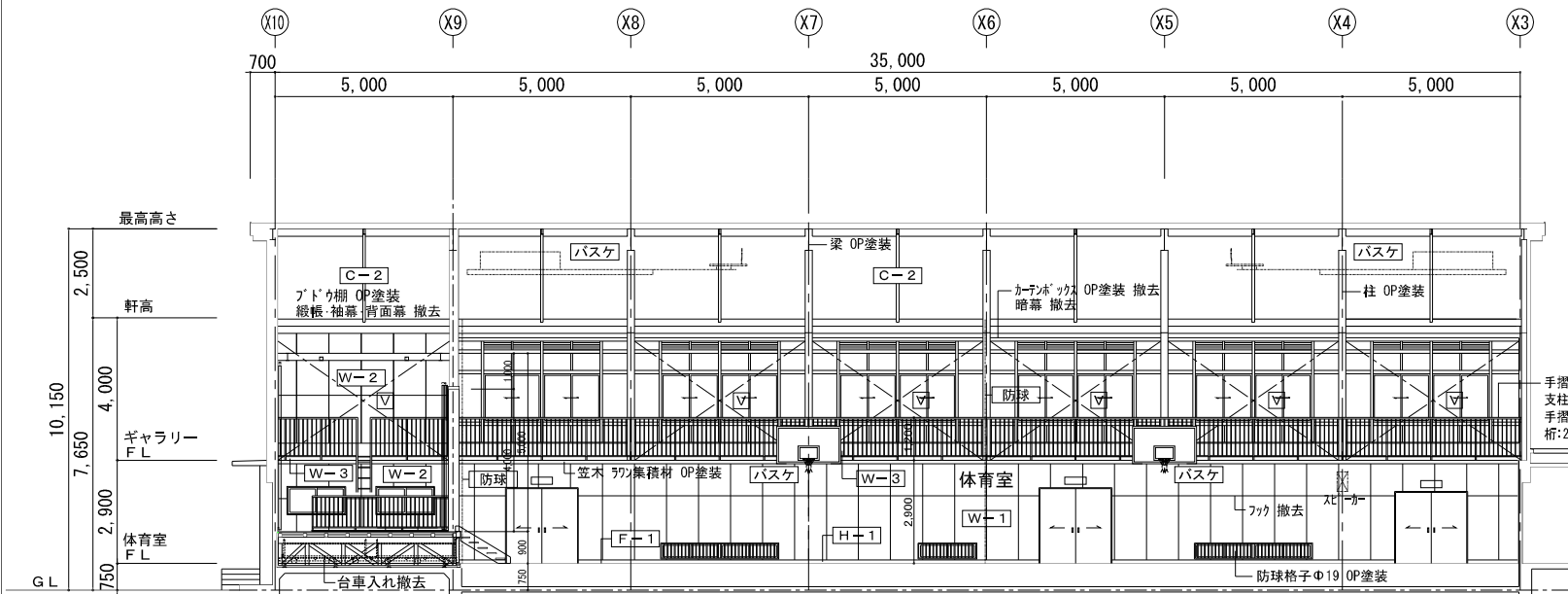
内 部 既 存 仕 上 表								
部 位	記 号	仕 上	部 位	記 号	仕 上	部 位	記 号	仕 上
床	F－1	カエデ フローリング 厚18、ポリウレタン樹脂塗装、耐水ラワン合板 厚15下地 撤去 鋼製床下地 一部撤去（全体10%程度）	巾木	H－1	ラワン材 厚30 H100 OP塗装 撤去	天井	C－2	ガラス繊維断熱材 あらわし、鉄骨部・垂木：OP塗装
	F－2	カエデ フローリング 厚18、ポリウレタン樹脂塗装、耐水ラワン合板 厚15下地	壁	W－1	ラワン合板 厚9 目透し張り OP塗装 撤去	バスケットゴール	バスケ	吊上式バスケットゴール・バスケットゴール 撤去
	F－3	長尺塩ビシート張り 撤去、モルタル金ゴテ押え		W－2	有孔ラワン合板 厚5.5（寒冷紗裏打）目透し張り OP塗装 撤去	防球ネット	防球	取外し
	F－4	モルタル金ゴテ押え		W－3	モルタル金ゴテ押え	壁ブレース	V	L-75×75×6



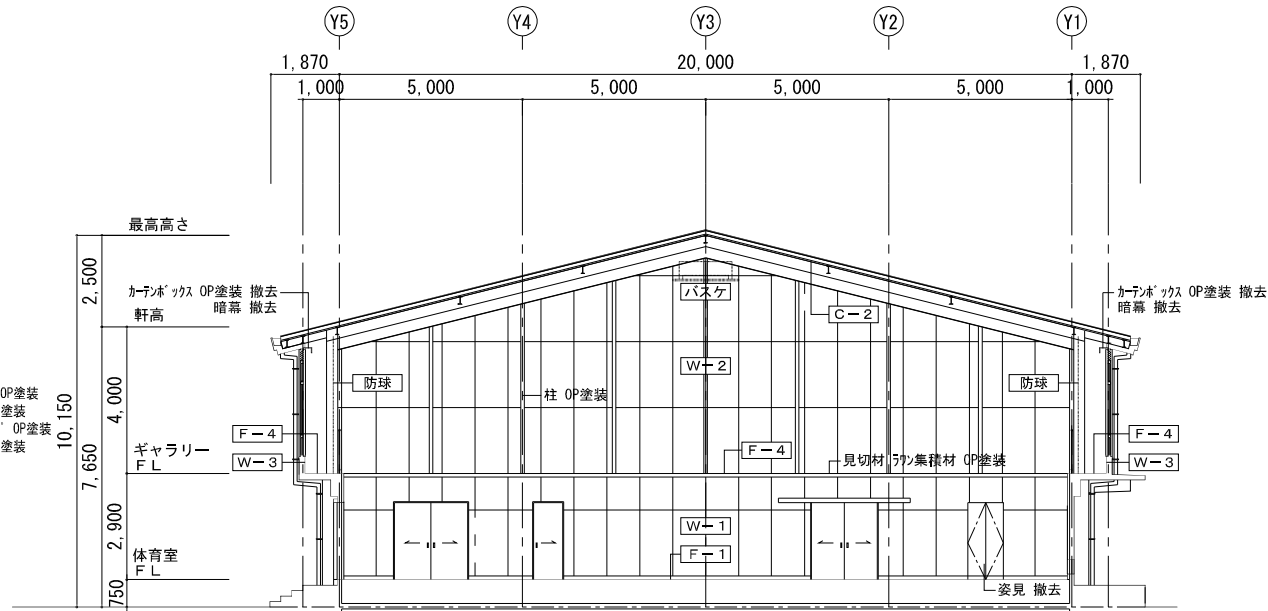
既存体育室 展開図 A面 1/100



既存体育室 展開図 B面 1/100

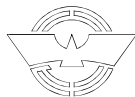


既存体育室 展開図 C面 1/100



既存体育室 展開図 D面 1/100

工事件名：海老名市立海西中学校屋内運動場大規模改修工事



海老名市

図面名称

既存 体育室展開図 (1)

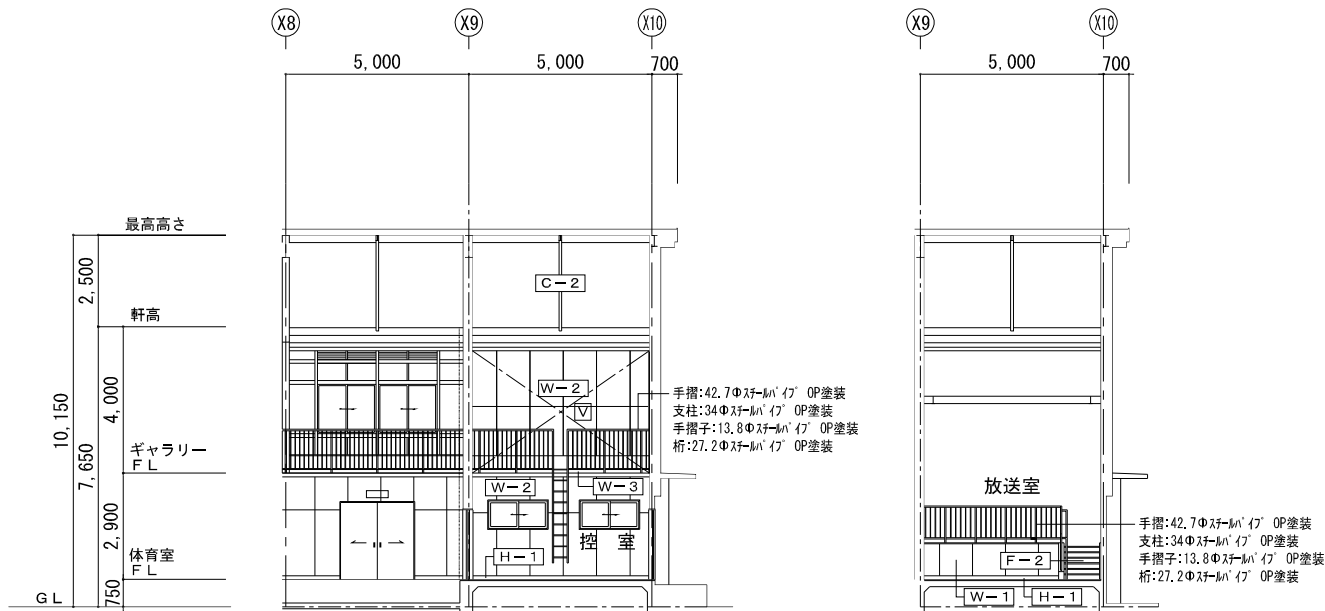
縮尺

A1:1/100 A3:1/200

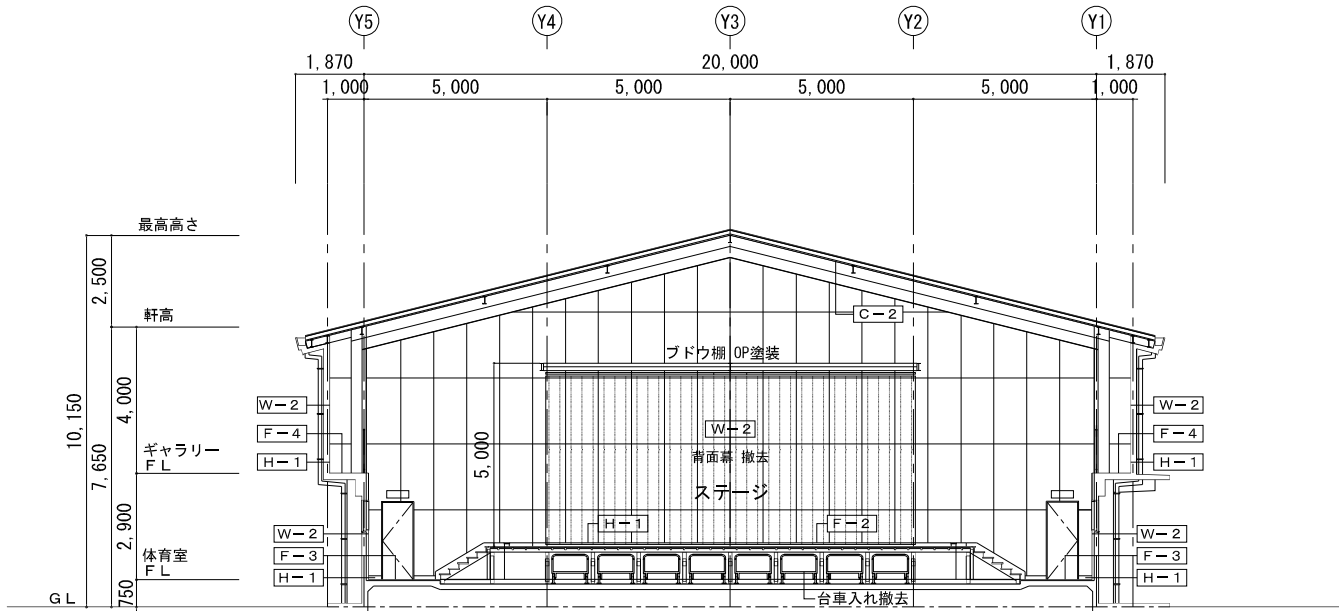
図面番号

A - 22

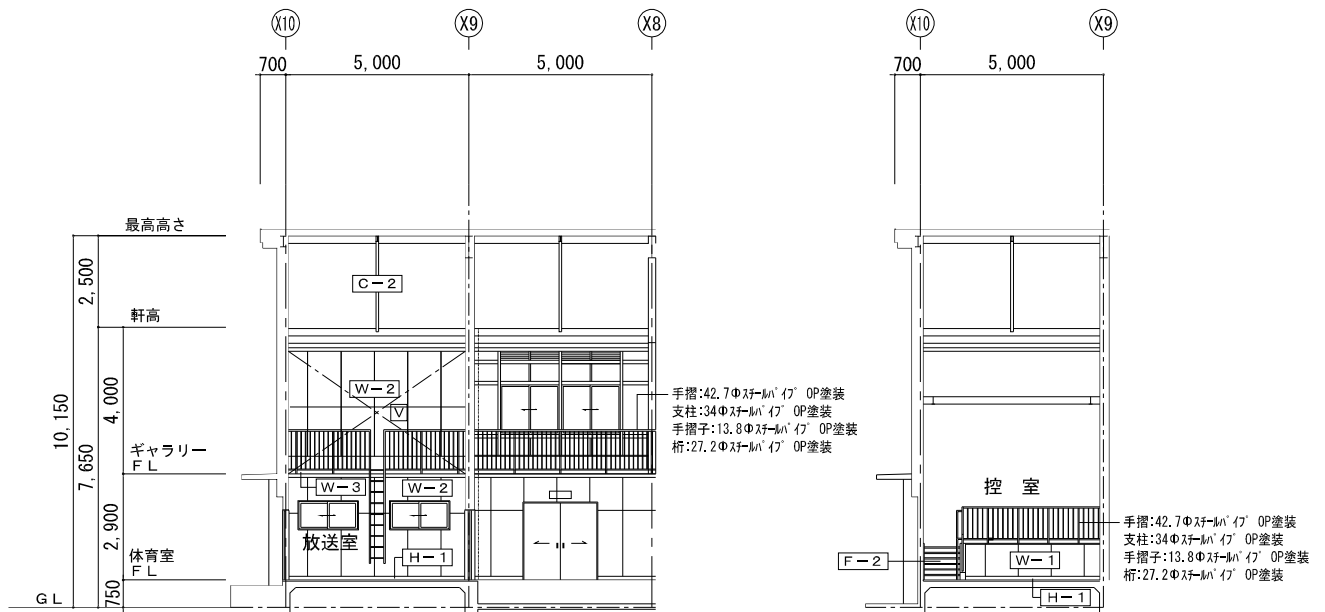
内 部 既 存 仕 上 表								
部 位	記 号	仕 上	部 位	記 号	仕 上	部 位	記 号	仕 上
床	F－1	カエデ フローリング 厚18、ポリウレタン樹脂塗装、耐水ラワン合板 厚15下地 撤去 鋼製床下地 一部撤去（全体10%程度）	巾木	H－1	ラワン材 厚30 H100 OP塗装 撤去	天井	C－2	ガラス繊維断熱材 あらわし、鉄骨部・垂木：OP塗装
	F－2	カエデ フローリング 厚18、ポリウレタン樹脂塗装、耐水ラワン合板 厚15下地	壁	W－1	ラワン合板 厚9 目透し張り OP塗装 撤去	バスケットゴール	バスケ	吊上式バスケットゴール・バスケットゴール 撤去
	F－3	長尺塩ビシート張り 撤去、モルタル金ゴテ押え		W－2	有孔ラワン合板 厚5.5（寒冷紗裏打）目透し張り OP塗装 撤去	防球ネット	防球	取外し
	F－4	モルタル金ゴテ押え		W－3	モルタル金ゴテ押え	壁ブレース	V	L-75×75×6



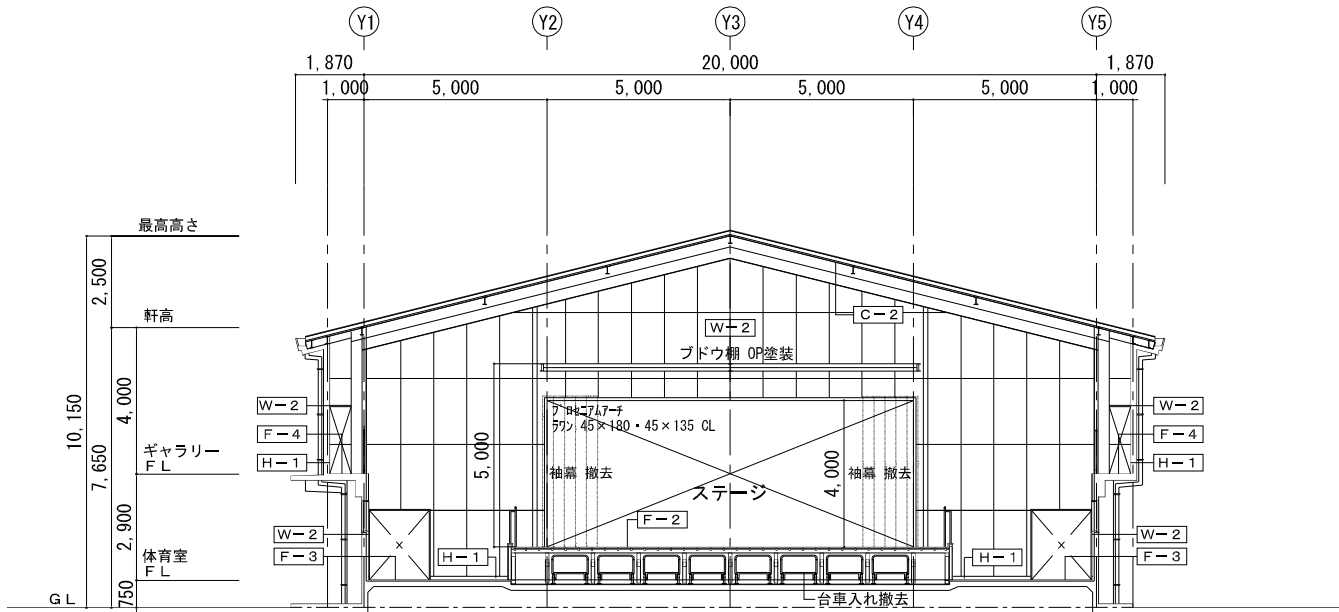
既存放送室・控室 展開図 A面 1/100



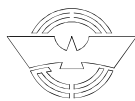
既存体育室 展開図 B面 1/100



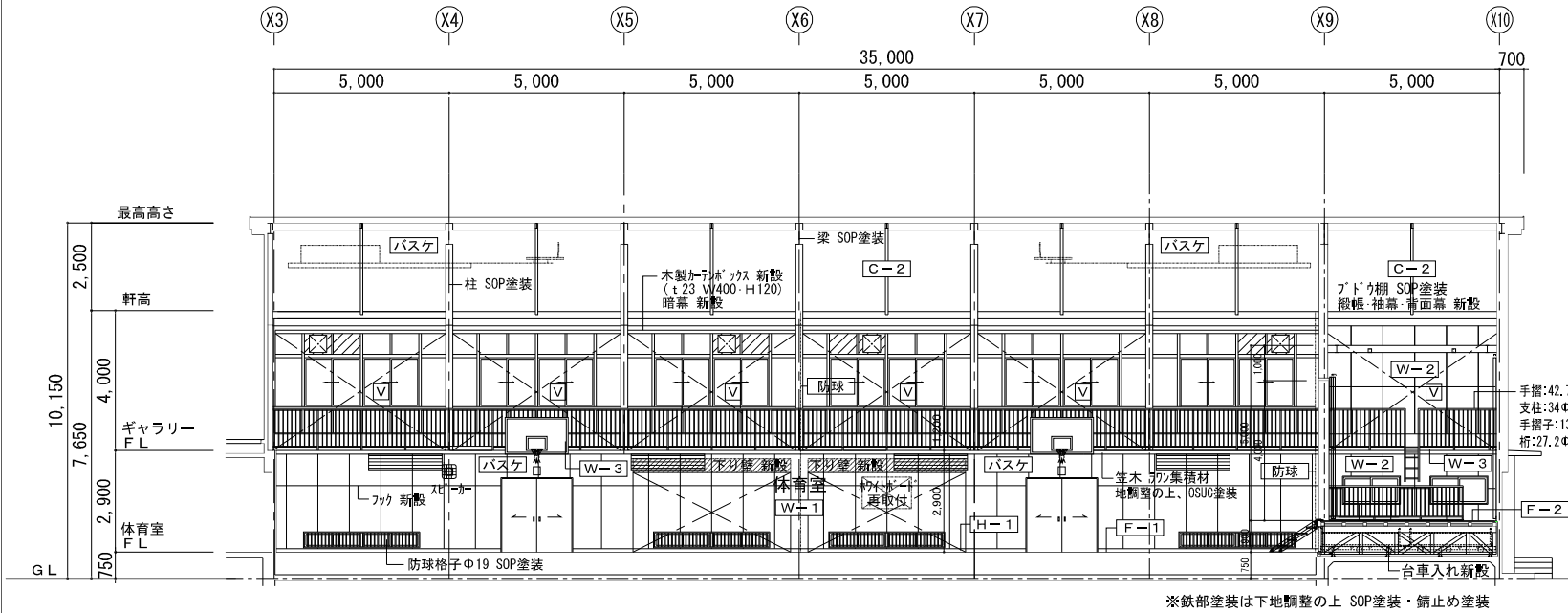
既存放送室・控室 展開図 C面 1/100



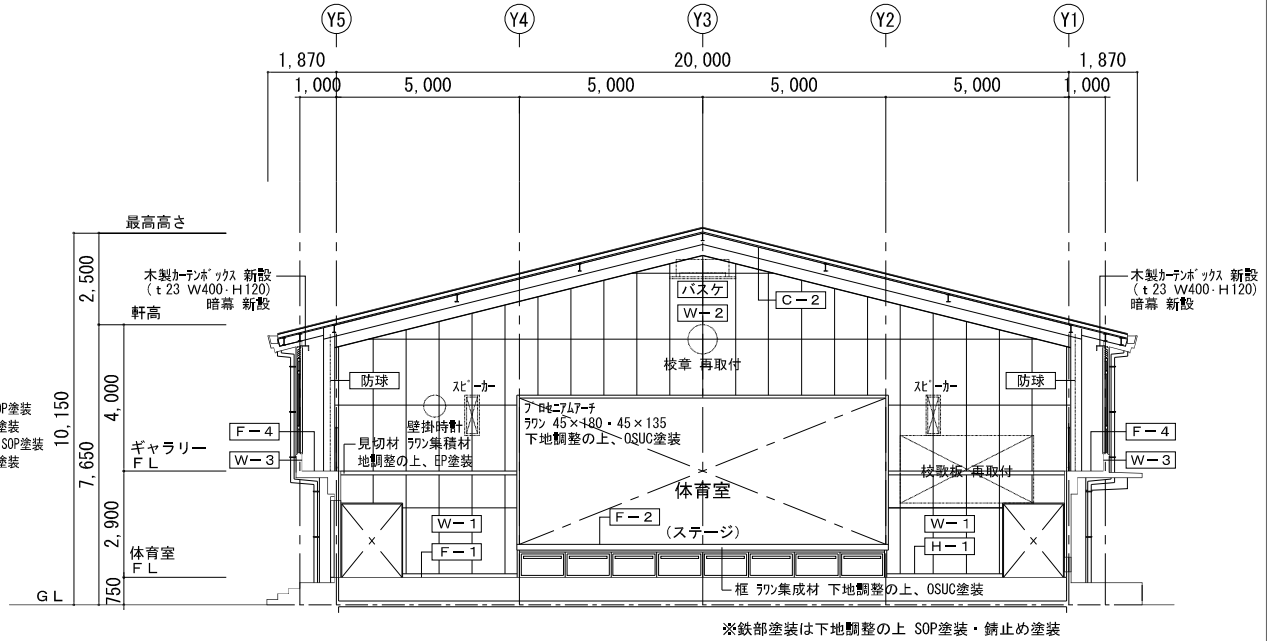
既存体育室 展開図 D面 1/100



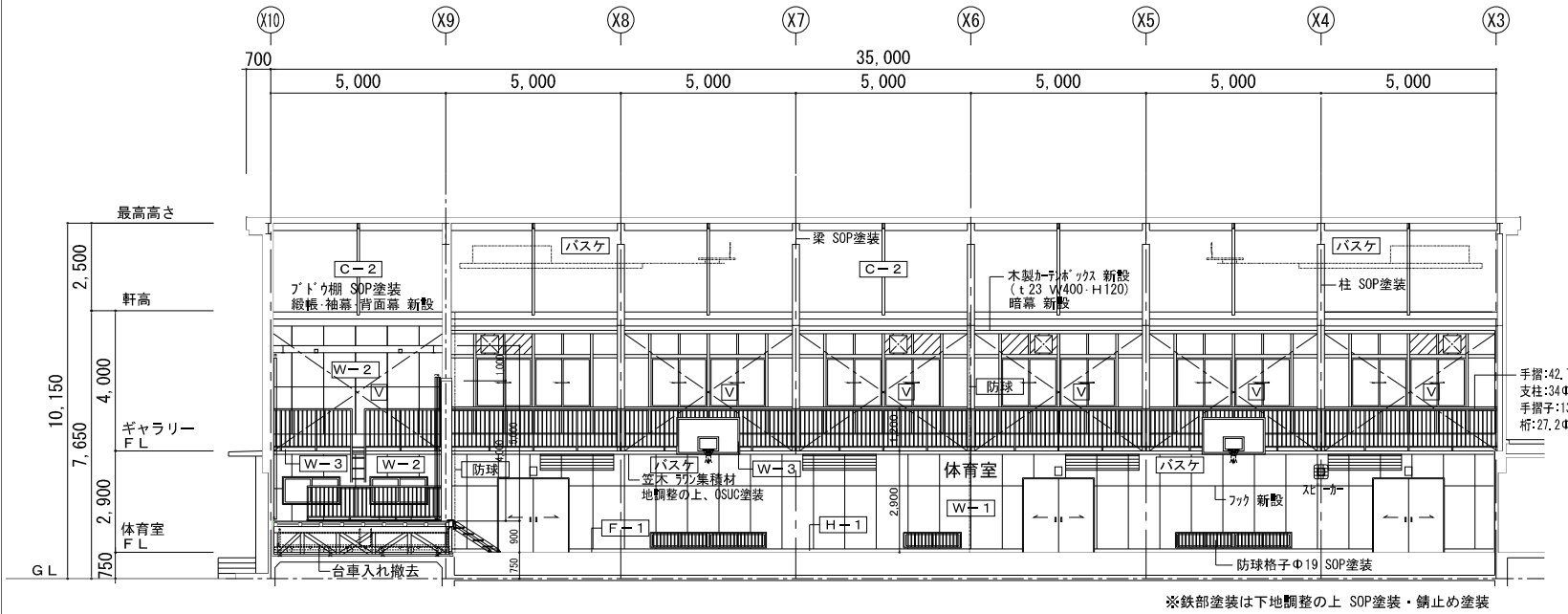
内 部 改 修 仕 上 表								
部 位	記 号	仕 上	部 位	記 号	仕 上	部 位	記 号	仕 上
床	Fー1	2液形ポリウレタン樹脂ワニス3回塗、サンダー掛け2回、カバ 単層フローリング厚18、パーティクルボード厚15 銅製床下地 一部復旧（全体10%程度）	巾木	Hー1	ラウン材 厚30 H100 EP塗装 新設	天井	Cー2	ガラス繊維断熱材 あらわし部：飛散防止塗料塗り、鉄骨部・垂木：下地調整の上 SOP塗装・錆止め塗装
	Fー2	2液形ポリウレタン樹脂ワニス3回塗（床見切材共）、サンダー掛け2回 既存部サンダー掛け	壁	Wー1	ラウン合板 厚9（寒冷紗裏打）目透し張り EP塗装 新設、 外壁面：発泡ウレタン 厚25充填	バスケット ゴール	バスケ	電動吊上式バスケットゴール・手動折畳式バスケットゴール 新設
	Fー3	長尺塩ビシート貼 厚2 新設、下地補修		Wー2	有孔ラウン合板 厚5.5（寒冷紗裏打）目透し張り EP塗装 新設、 外壁面：発泡ウレタン 厚25充填	防球ネット	防球	再取付
	Fー4	既存のまま 既存バスケットゴール固定金物部 補修		Wー3	EP塗装、下地補修	壁ブレース	V	L-75×75×6 下地調整の上 SOP塗装・錆止め塗装



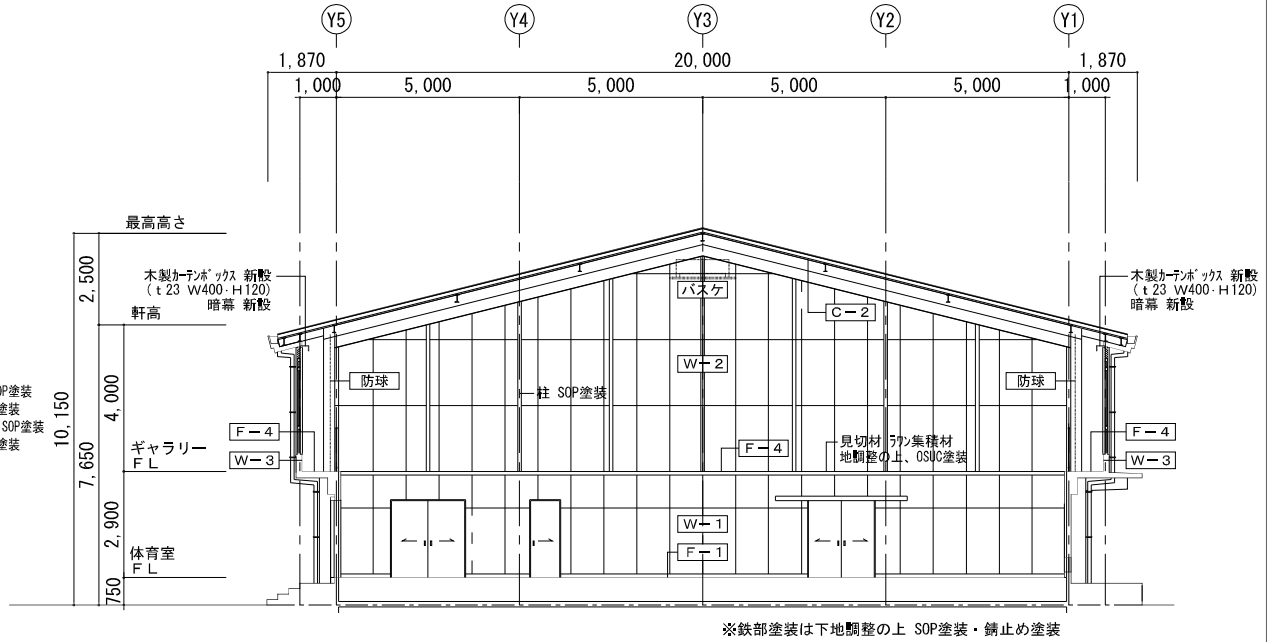
改修体育室 展開図 A面 1/100



改修体育室 展開図 B面 1/100

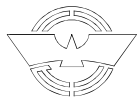


改修体育室 展開図 C面 1/100



改修体育室 展開図 D面 1/100

工事件名：海老名市立海西中学校屋内運動場大規模改修工事



海老名市

図面名称

改修 体育室展開図 (1)

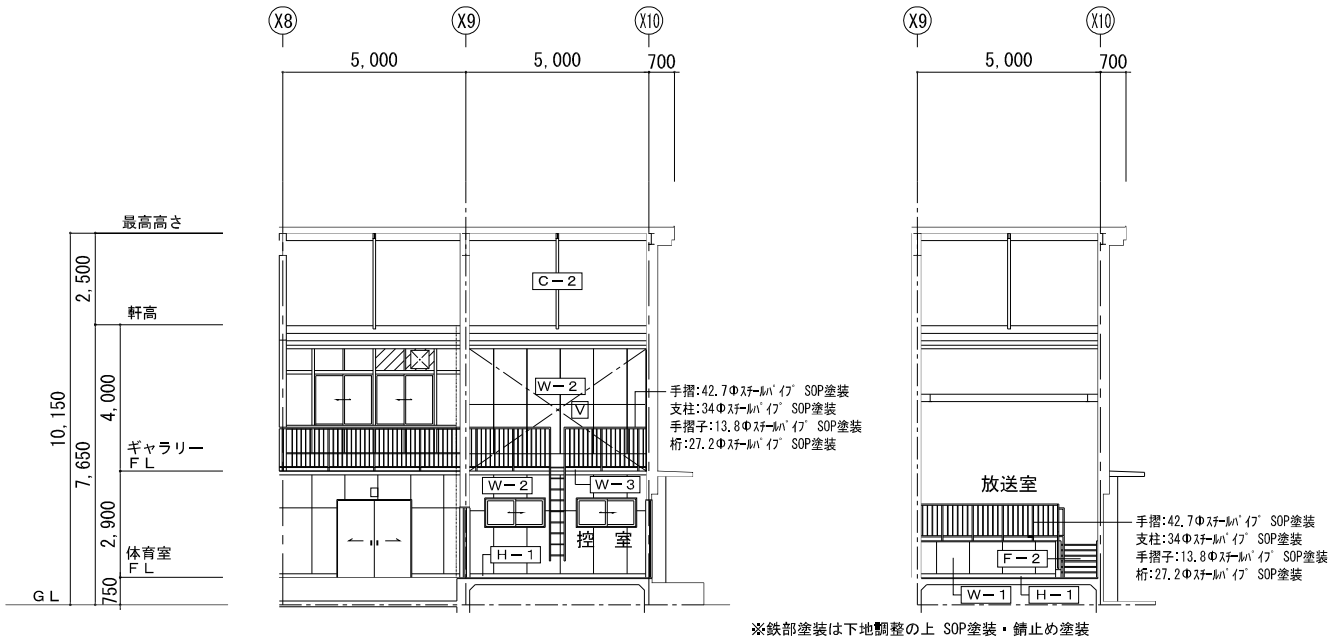
縮尺

A1:1/100 A3:1/200

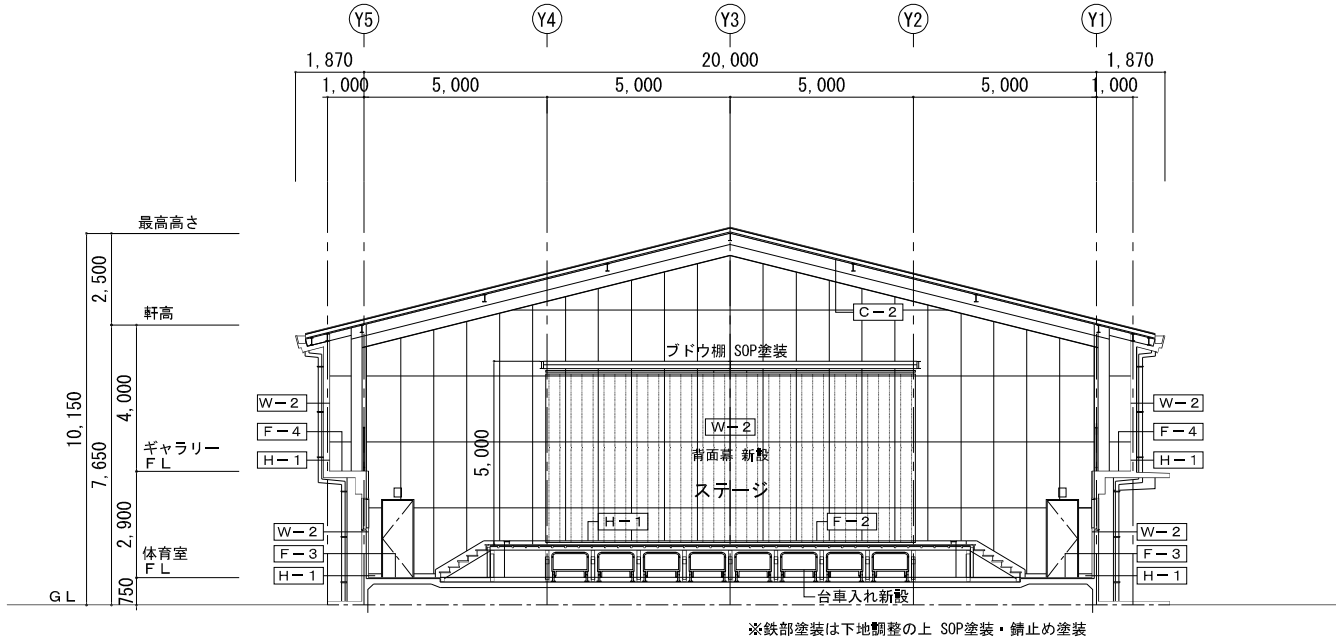
図面番号

A - 24

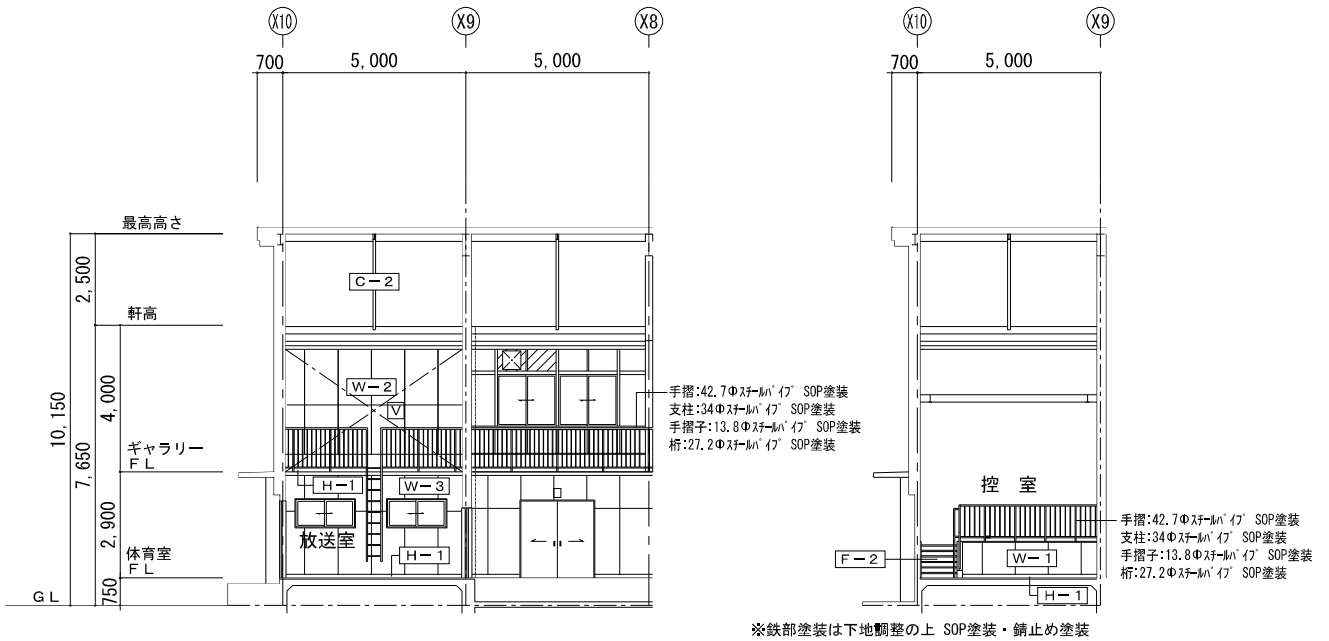
内 部 改 修 仕 上 表								
部 位	記 号	仕 上	部 位	記 号	仕 上	部 位	記 号	仕 上
床	Fー1	2液形ポリウレタン樹脂ワニス3回塗、サンダー掛け2回、カバ 単層フローリング厚18、パーティクルボード厚15 銅製床下地 一部復旧（全体10%程度）	巾木	Hー1	ラワン材 厚30 H100 EP塗装 新設	天井	Cー2	ガラス繊維断熱材 あらわし部：飛散防止塗料塗り、鉄骨部・垂木：下地調整の上 SOP塗装・錆止め塗装
	Fー2	2液形ポリウレタン樹脂ワニス3回塗（床見切材共）、サンダー掛け2回 既存部サンダー掛け	壁	Wー1	ラワン合板 厚9（寒冷紗裏打）目透し張り EP塗装 新設、 外壁面：発泡ウレタン 厚25充填	バスケット ゴール	バスケ	電動吊上式バスケットゴール・手動折畳式バスケットゴール 新設
	Fー3	長尺塩ビシート貼 厚2 新設、下地補修		Wー2	有孔ラワン合板 厚5.5（寒冷紗裏打）目透し張り EP塗装 新設、 外壁面：発泡ウレタン 厚25充填	防球ネット	防球	再取付
	Fー4	既存のまま 既存バスケットゴール固定金物部 補修		Wー3	EP塗装、下地補修	壁フ レース	V	L-75×75×6 下地調整の上 SOP塗装・錆止め塗装



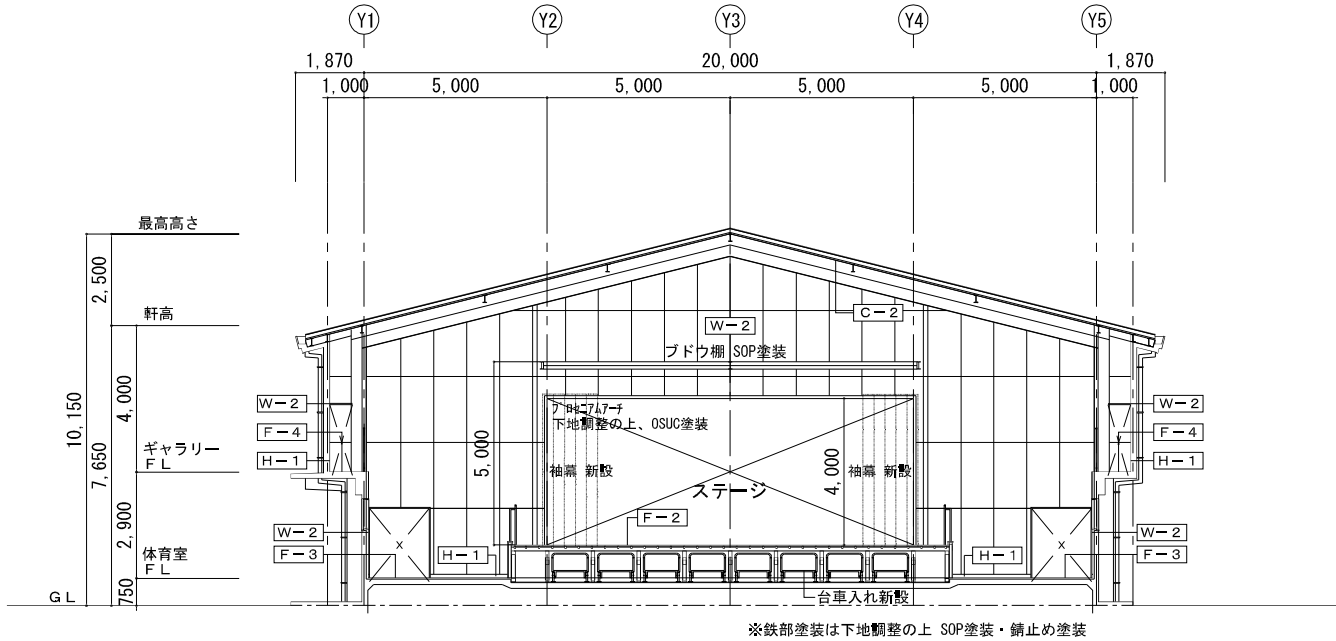
改修放送室・控室 展開図 A面 1/100



改修体育室 展開図 B面 1/100

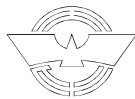


改修放送室・控室 展開図 C面 1/100



改修体育室 展開図 D面 1/100

工事件名：海老名市立海西中学校屋内運動場大規模改修工事



海老名市

図面名称

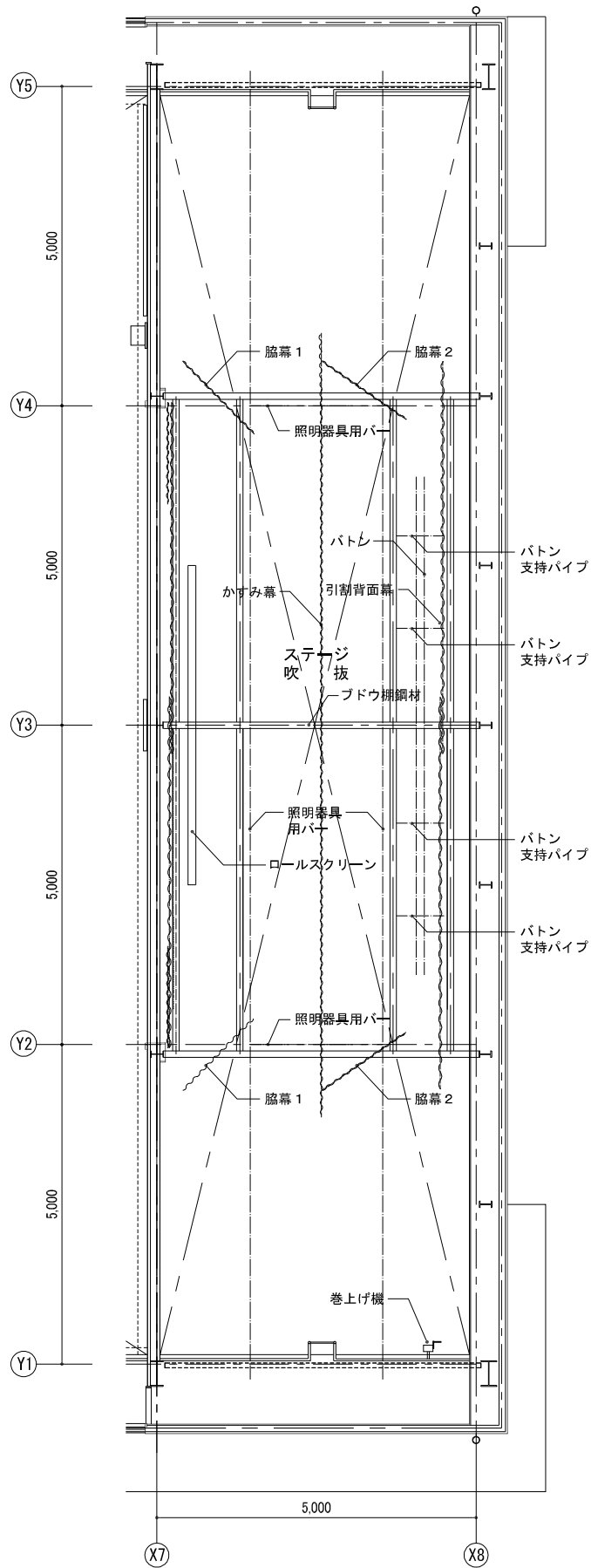
改修 体育室展開図（2）

縮尺

A1:1/100 A3:1/200

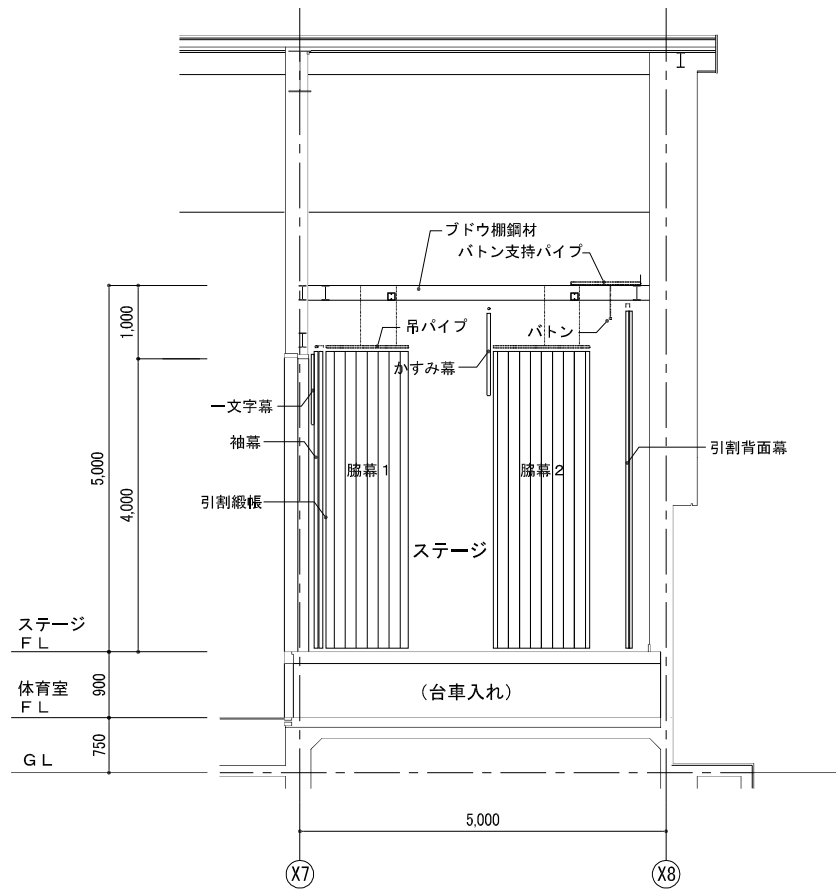
図面番号

A - 25

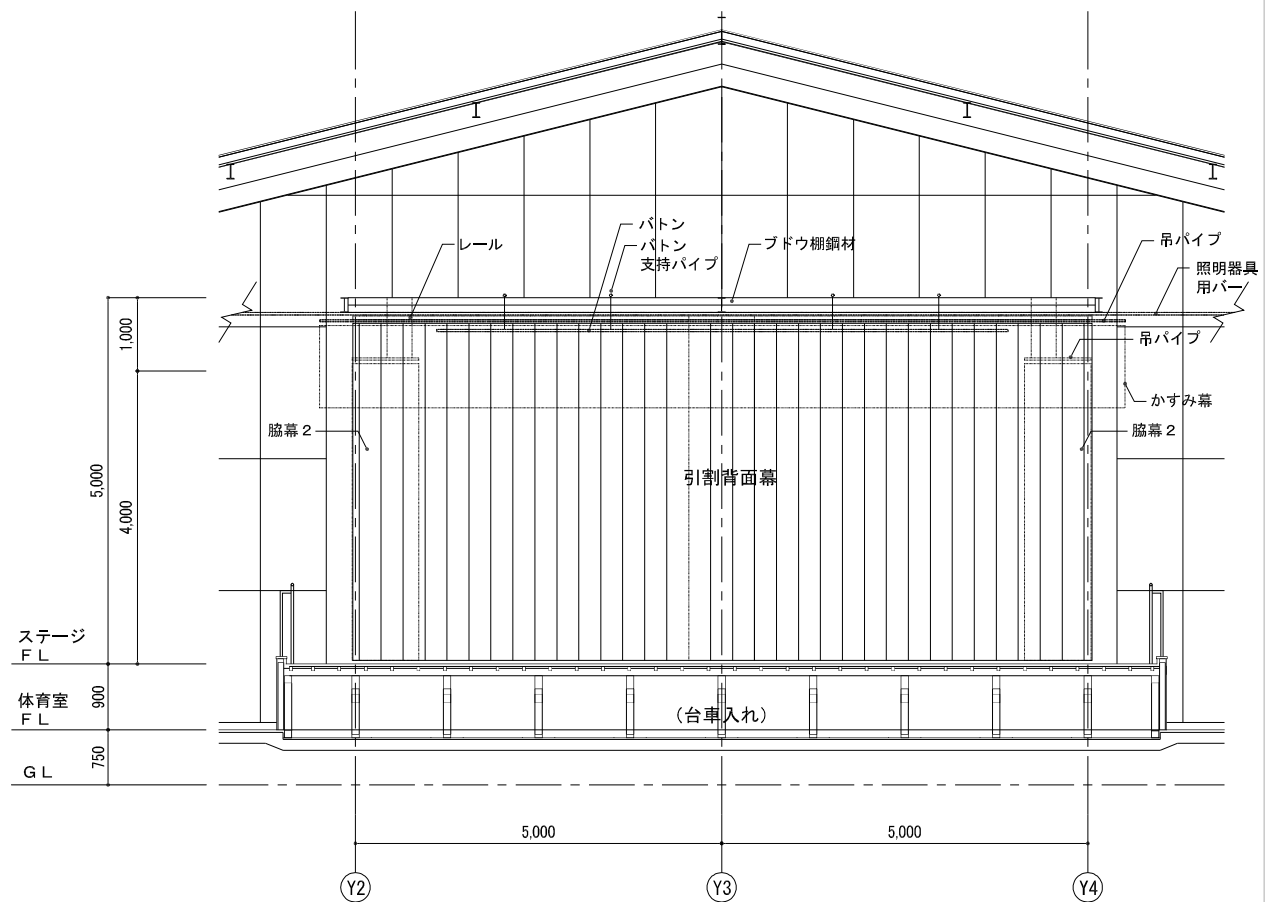


ステージ ブドウ棚 舞台装置 平面図 1/50

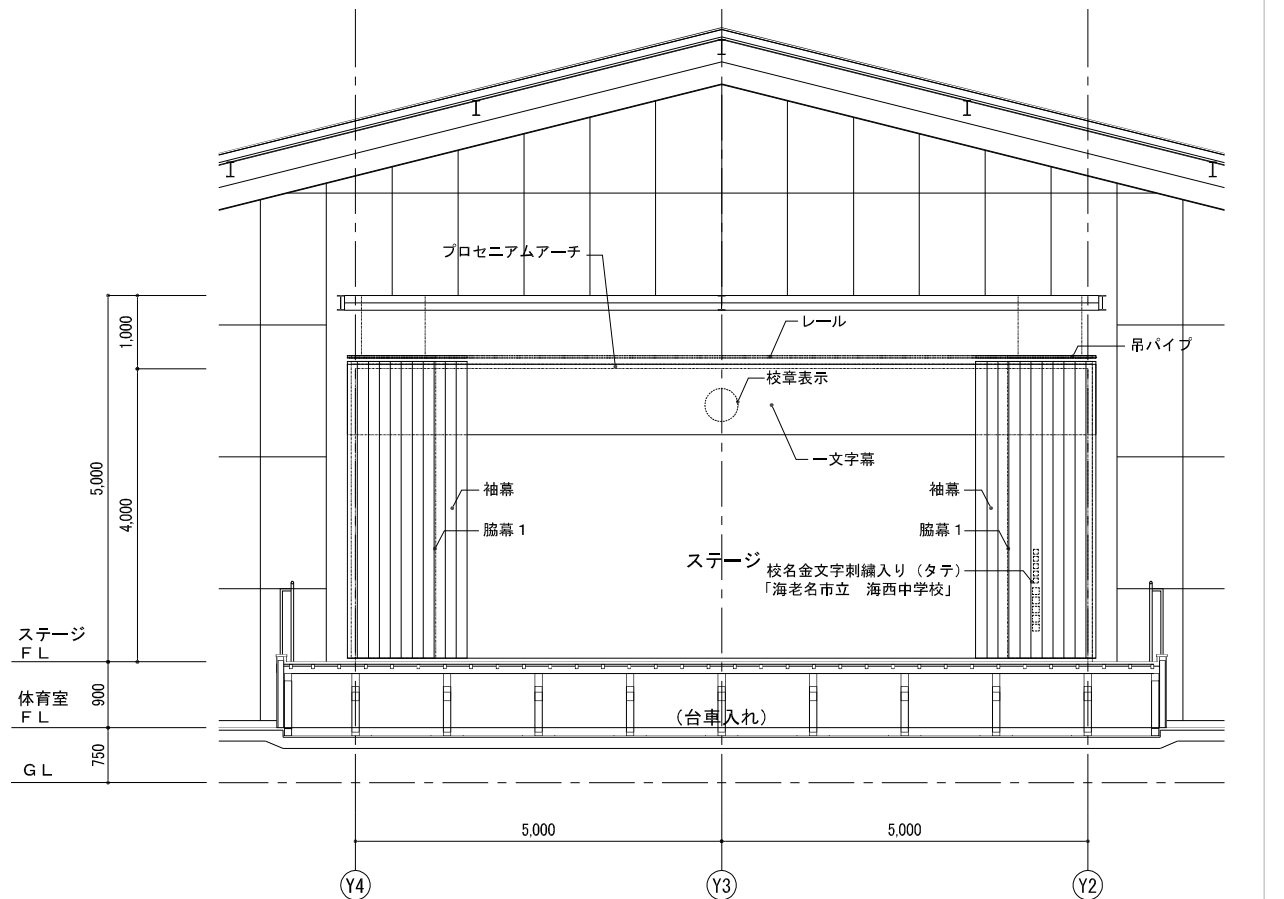
名 称	サイズ（W × H）	数量	駆動方式他
袖幕：撤去新設	W850 × H4,100	2	右側 学校名 「海老名市海西中学校」刺繍
引割縦横：撤去新設	W5,700 × H4,100	2	
一文字幕：撤去新設	W11,700 × H850	1	校章 φ450 本刺繍
脇幕1：撤去新設	W1,800 × H4,000	2	
脇幕2：撤去新設	W1,800 × H4,000	2	
かすみ幕：新設	W12,500 × H1,100	1	
引割背面膜：撤去新設	W5,700 × H4,500	2	
バトン：撤去新設 支持パイプ・ワイヤー共	6m	2	昇降ウインチ×2
ロールスクリーン：取外し再取付		1	
暗幕（ギャラリー）：撤去新設	W29,780 × H2,900（撤去） W720 × H2,900（新設） W1,670 × H2,250（新設） W8,330 × H2,900（新設） W5,000 × H2,900（新設）	2 4 8 4 2	
暗幕（控室・放送室）：撤去新設	W1,600 × H750	2	



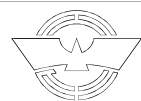
A面（C面） 展開図 1/50

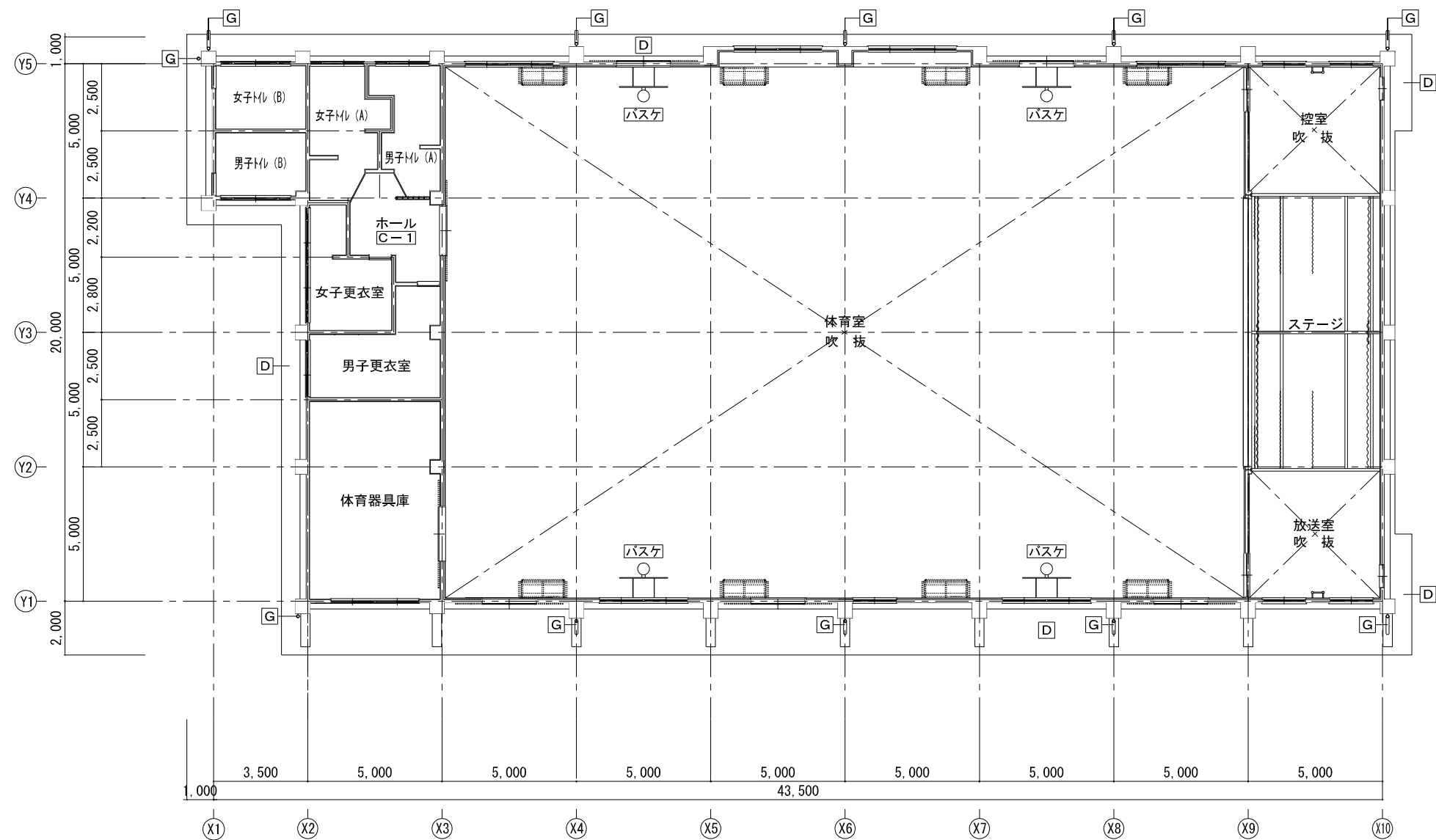


B面 展開図 1/50



D面 展開図 1/50



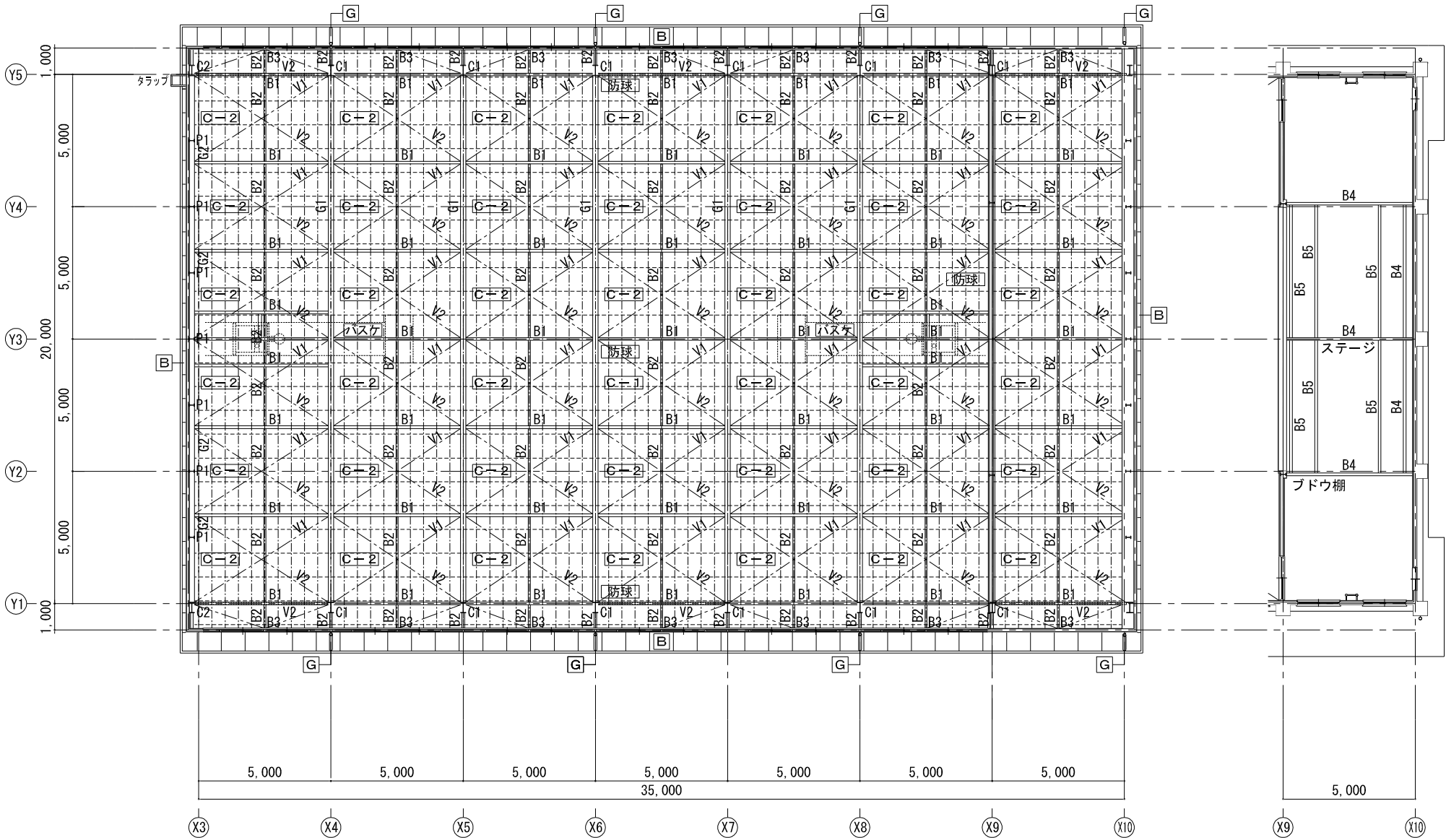


1階天井伏せ図 1/100

外 部 仕 上 表			内 部 仕 上 表		
部 位	記 号	仕 上	部 位	記 号	仕 上
軒裏・庇	D	既存（庇下面）：白セメント吹付 改修（庇下面）：外装薄塗材E、下地調整、高圧水洗10～15Mpa	天 井	C-1	既存：リシン吹付 改修：EP塗装、下地調整
樋	G	既存（縦樋）：硬質塩ビ管 100φ VP塗装 撤去 改修（縦樋）：カラー塩ビ管φ100、SUS金物 新設、養生管：SOP塗装・錆止め塗装	バスケット ゴール	バスケ	バスケットゴール板 撤去・手動折畳式バスケットゴール 新設



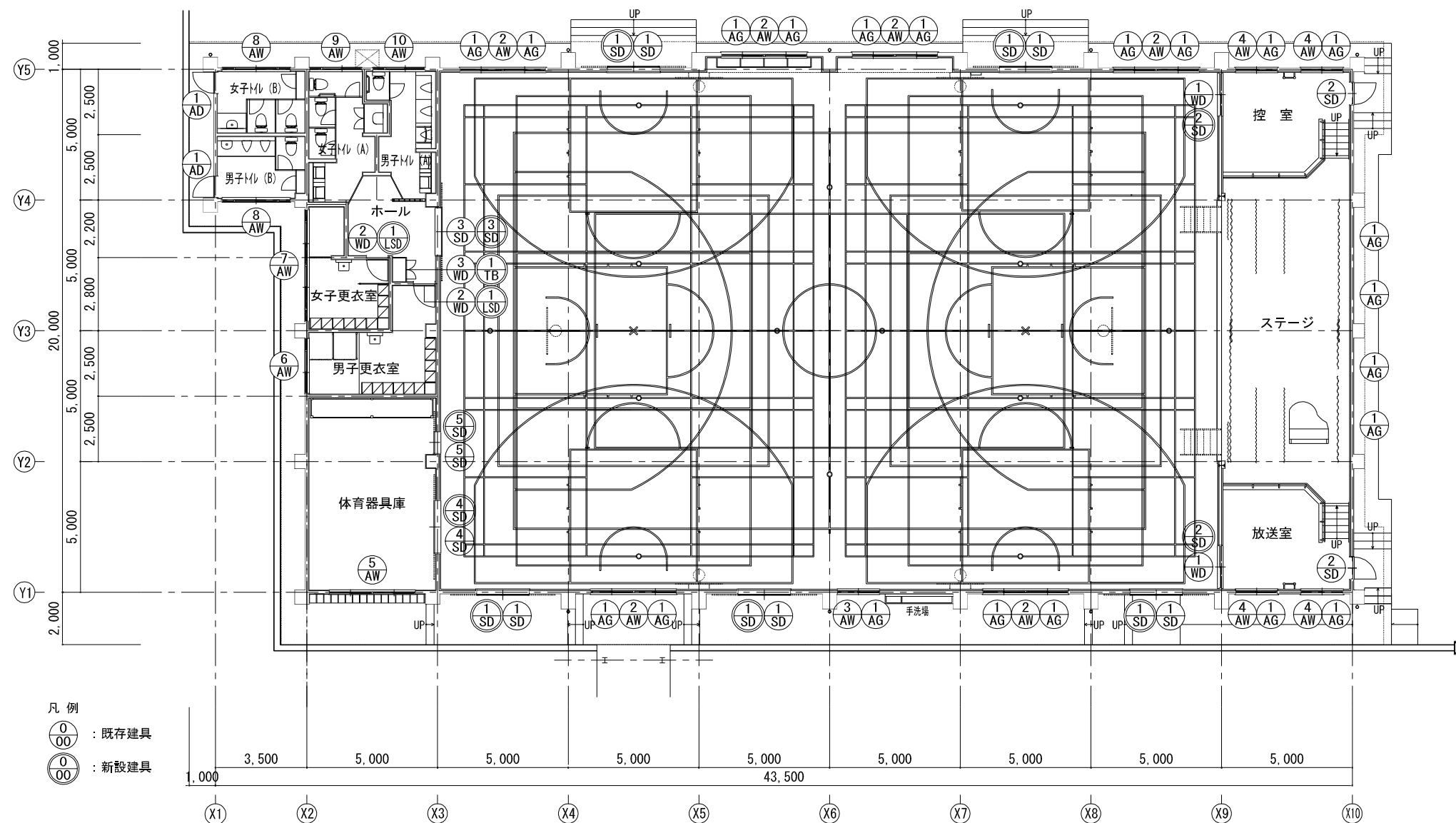
既存部材リスト								
符 号	部 材 断 面	改 修 内 容	符 号	部 材 断 面	改 修 内 容	符 号	部 材 断 面	改 修 内 容
C 1	H-400×200×8×13	SOP塗装、錆止め塗装	B 1	H-200×100×5.5×8	SOP塗装、錆止め塗装	V 1	1-16φ	SOP塗装、錆止め塗装
C 2	H-300×150×6.5×9	SOP塗装、錆止め塗装	B 2	H-150×75×5×7	SOP塗装、錆止め塗装	V 2	2L-65×65×6	SOP塗装、錆止め塗装
P 1	H-200×100×5.5×8	SOP塗装、錆止め塗装	B 3	H-200×100×5.5×8	SOP塗装、錆止め塗装	B 4	H-200×100×5.5×8	SOP塗装、錆止め塗装
G 1	H-400×200×8×13	SOP塗装、錆止め塗装	母屋	□-100×50×20×2.3 @900	SOP塗装、錆止め塗装	B 5	□2-100×50×20×2.3	SOP塗装、錆止め塗装
G 2	H-300×150×6.5×9	SOP塗装、錆止め塗装	押え金物	W-100 @500	SOP塗装、錆止め塗装			



吹抜部分天井伏せ図 1/100

外 部 仕 上 表			内 部 仕 上 表		
部 位	記 号	仕 上	部 位	記 号	仕 上
軒 裏	B	既存：ハードボード 厚7 (※) X3・X10 通り面 ケイカル板 厚5 Y1・Y5 通り面 撤去 改修：EP塗装、ケイ酸カルシウム板 厚6 新設	天 井	C-2	既存：ガラス繊維断熱材あらわし 改修：剥離・脆弱部分撤去の上、飛散防止塗料塗
樋	G	既存（縦樋）：硬質塩ビ管 100φ VP塗装 撤去 改修（縦樋）：カラー塩ビ管φ100、SUS金物 新設	バスケット ゴール	バスケ	吊上式バスケットゴール 撤去・電動吊上式バスケットゴール 新設
			防球ネット	防球	取外し・再取付



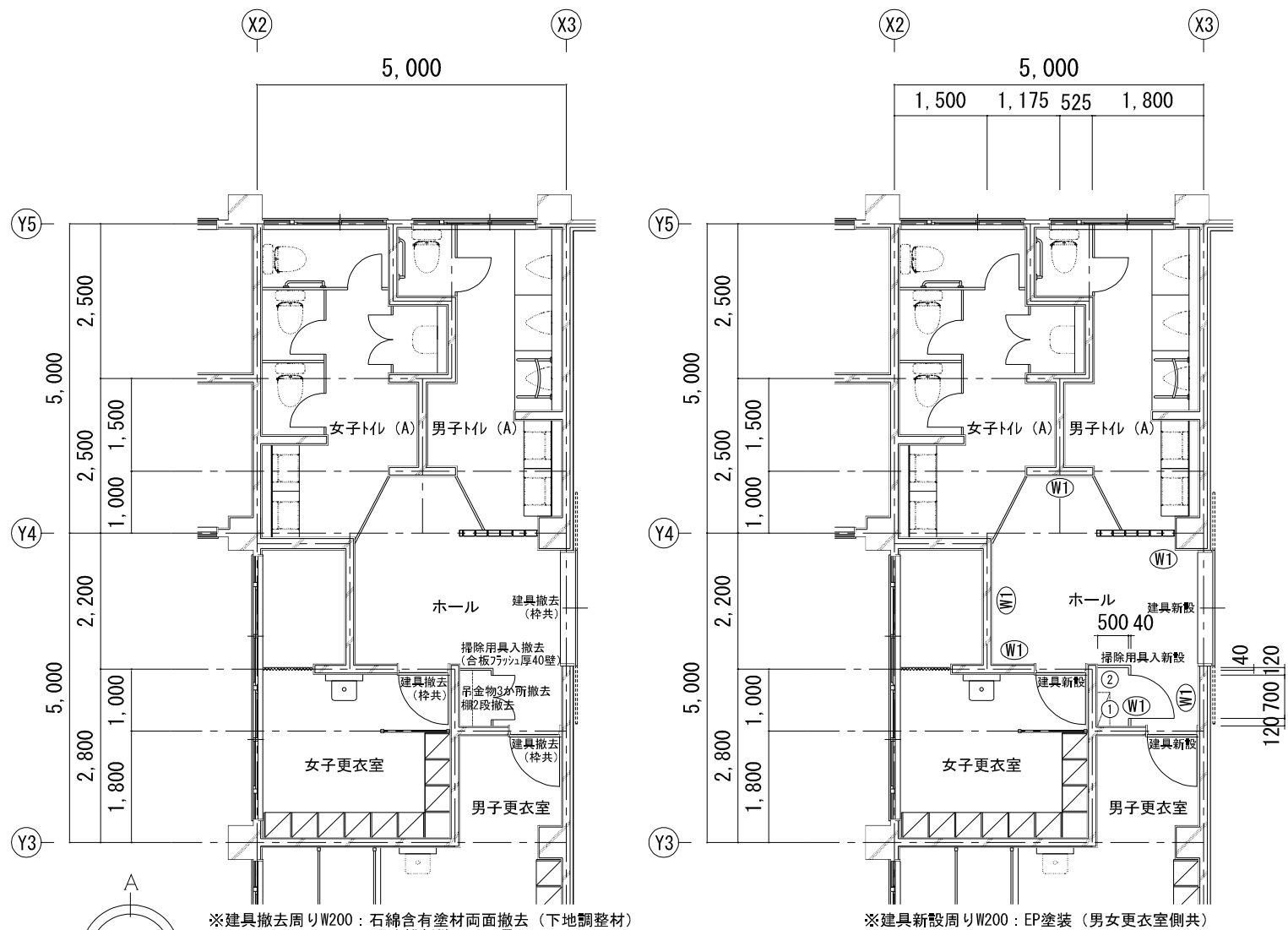


1階キープラン表 1/100



[illegible]

名 称		① 連窓、アルミサッシ 引違窓(嵌殺し窓) (新設)										2																													
姿 図												※実際の平面及び高さ寸法等は現地で確認すること																													
場 所		体育室																																							
仕 上		アルミ、アルマイト処理																																							
見 込		70 mm																																							
ガラス		Low-E複層ガラス 厚 4.0+ A6 + T4.0 飛散防止フィルム張り、一部7mm透明厚5.0																																							
金 物		クレセント、引手、縦線、ストッパー、転落防止付 水切、付属金物一式																																							
備 考																																									
符 号 名 称		① ⑤0 スチール 引き分けハンガードア・3方枠 (新設)		5		② ⑤0 スチール 3方枠 (新設)		2		③ ⑤0 スチール 引き分けハンガードア・3方枠 (新設)		1		④ ⑤0 スチール 片引きハンガードア・3方枠 (新設)		1		⑤ ⑤0 スチール 片引きハンガードア・3方枠 (新設)		1																					
姿 図						※実際の平面及び高さ寸法等は現地で確認すること								※実際の平面及び高さ寸法等は現地で確認すること								※実際の平面及び高さ寸法等は現地で確認すること								※実際の平面及び高さ寸法等は現地で確認すること								※実際の平面及び高さ寸法等は現地で確認すること			
場 所		体育室				控室・放送室				体育室				体育器具庫				体育器具庫																							
仕 上		高耐候性粉体焼付塗装、亜鉛メッキ鋼板				SOP塗装、亜鉛メッキ鋼板				SOP塗装、亜鉛メッキ鋼板				SOP塗装、亜鉛メッキ鋼板				SOP塗装、亜鉛メッキ鋼板																							
見 込		235、扉厚38 mm				235、				235、扉厚38 mm				235、扉厚38 mm				235、扉厚38 mm																							
ガラス																																									
金 物		SUS引手L450、錠前、シリンダー錠(内側サムターン) ハンガーレール、ガイドレール、SUS下枠、SUS沓摺、附属金物一式								SUS引手L100、錠前、シリンダー錠(内側サムターン)、SUSVレール ストッパー、附属金物一式				SUS引手L100、錠前、シリンダー錠(内側サムターン)、SUSVレール ストッパー、附属金物一式				SUS引手L100、錠前、シリンダー錠(内側サムターン)、SUSVレール ストッパー、附属金物一式																							
備 考		断熱仕様 (発泡ウレタン充填)																																							
符 号 名 称		① ⑤0 ライトスチール 片開きフラッシュ戸 (新設)		2		① ⑤0 掃除用具入 (新設)		1																																	
姿 図																																									
場 所		男子更衣室・女子更衣室				ホール (掃除用具入)																																			
仕 上		SOP塗装、亜鉛メッキ鋼板				高圧メラミン化粧合板、ペーパーコア (芯材)																																			
見 込		190、戸厚40																																							
ガラス		レバーハンドル、ドアクローザー、Pヒンジ (ビス止め仕様)				中心吊、ステンレス市木、笠木・壁面レール：アルミ押出材																																			
金 物		握込箱錠 (シリンダーサムターン)、戸当り				ケースハンドル、シリンダー錠、ドアヒンジ常開、アームストッパー 中心吊(グレビティーヒンジ)																																			
備 考		セミエアタイト仕様、アンダーカット、ステンレス沓摺																																							
符 号 名 称																																									
姿 図																																									
場 所																																									
仕 上																																									
見 込																																									
ガラス																																									
金 物																																									
備 考																																									
工 事 件 名		海老名市立海西中学校屋内運動場大規模改修工事												海老名市		図面名称		建具表 (2)																							
																縮尺		A1:1/50 A3:1/100		図面番号		A - 32																			

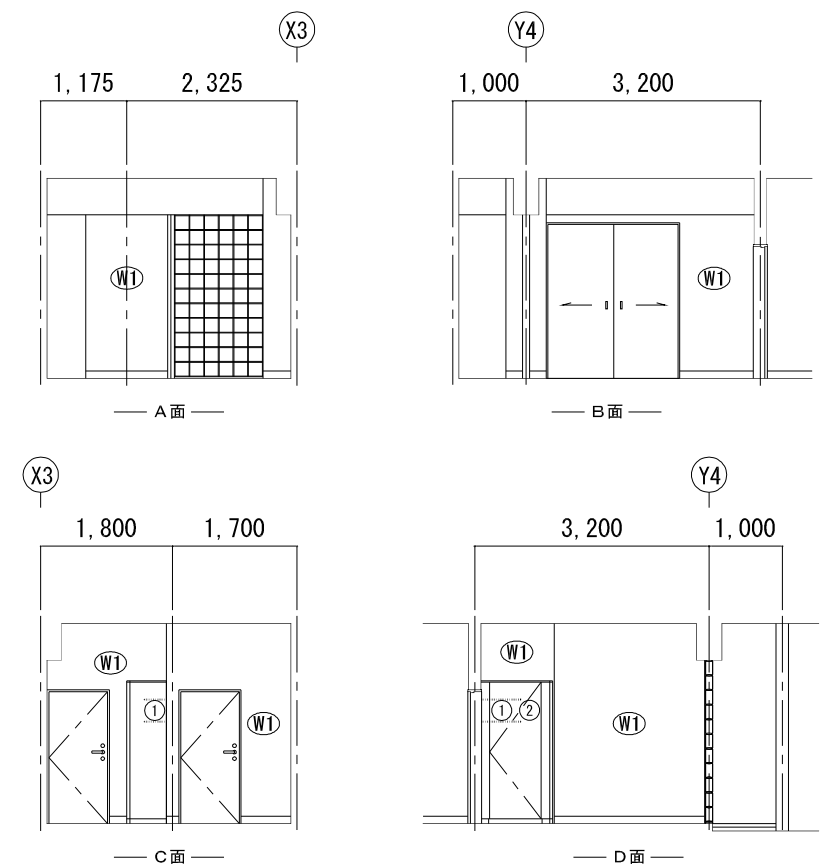


※建具撤去周りW200：石綿含有塗材片面撤去（下地調整材）
（はく離剤併用手工具ケレン）

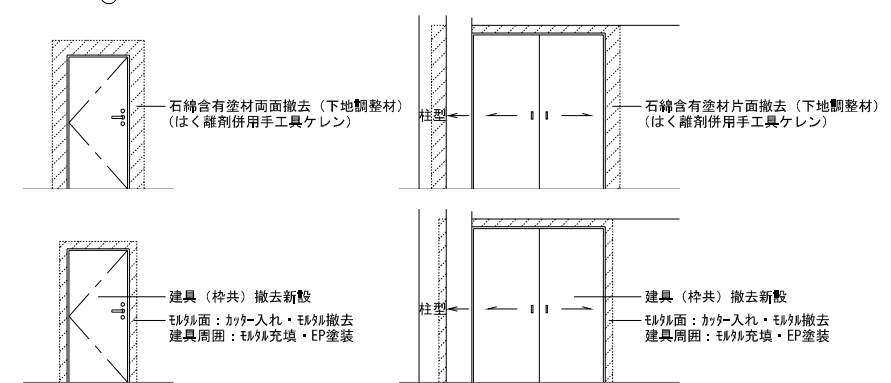
※建具新設周りW200：EP塗装（男女更衣室側共）

既存 平面図 1/50

改修 平面図 1/50

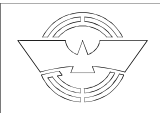
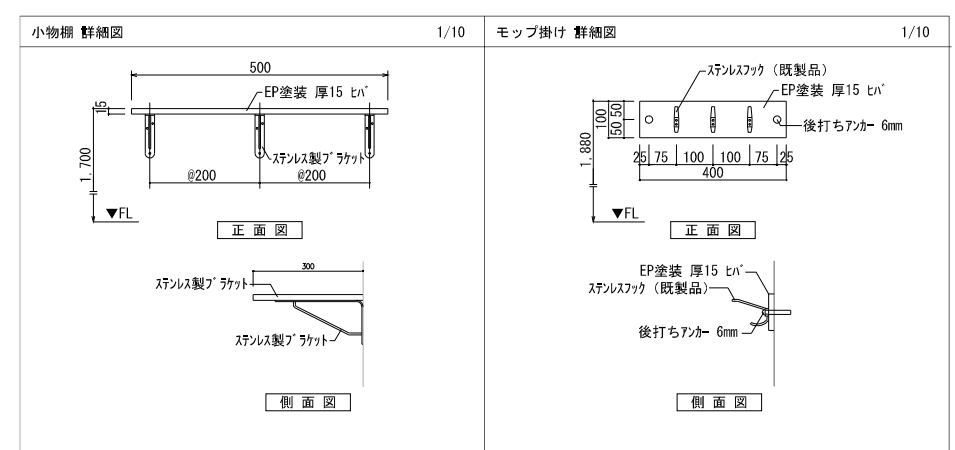
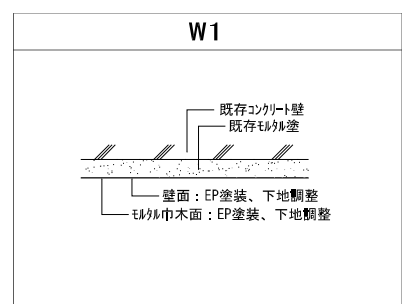


改修 展開図 1/50

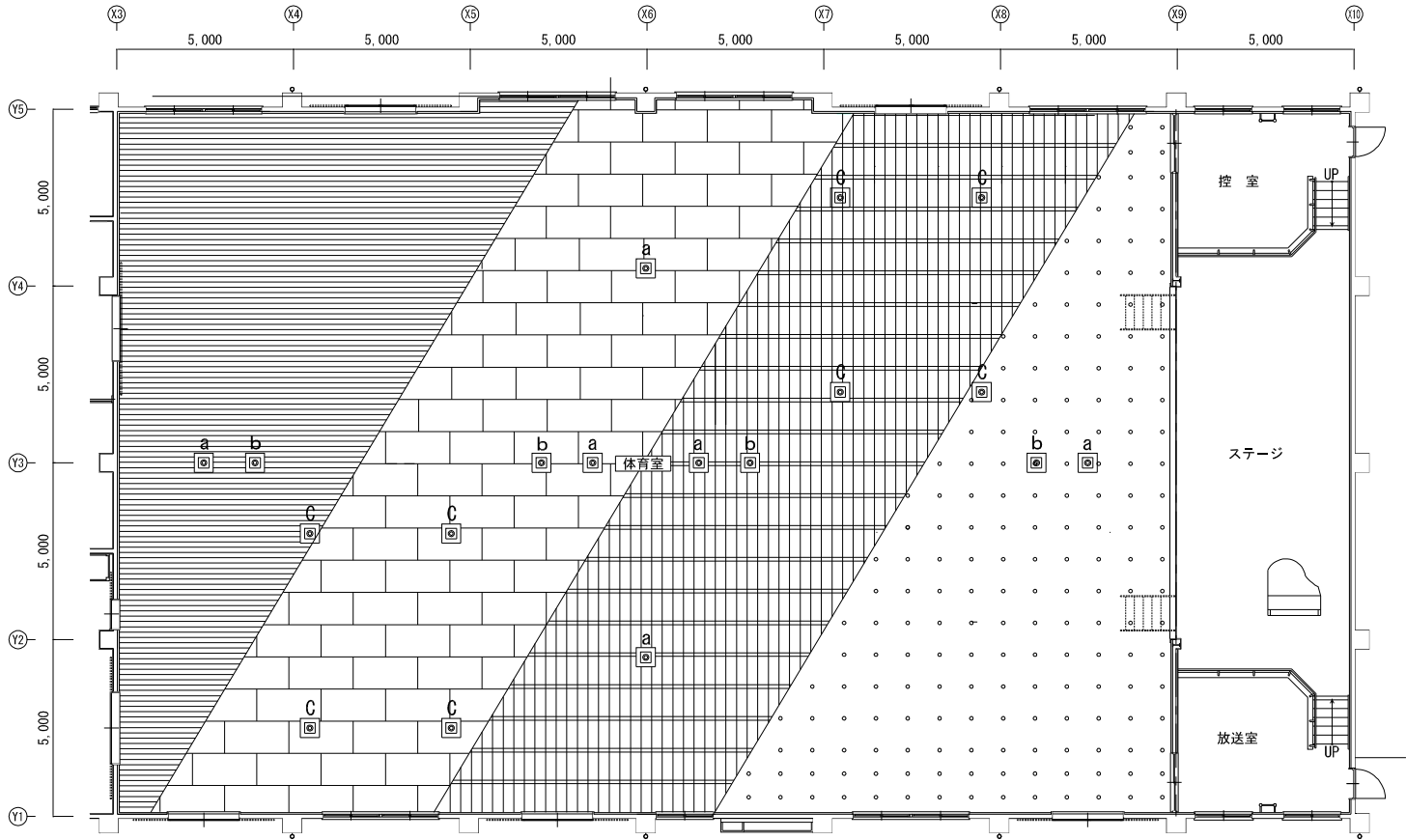


建具廻り改修図 1/50

備品等リスト			
配号	備品名	数量	寸法
①	小物棚	2	500×300
②	モップ掛け	1	400×100



床仕上表	体育室	ステージ
仕 上	2液形ポリウレタン樹脂ワニス3回塗 サタ-掛け2回 か- 単層フローリング 厚18 端部周囲緩衝材：EXPフォーム18×25	2液形ポリウレタン樹脂ワニス3回塗 サタ-掛け2回 既存仕上 サタ-掛け
下 地 材	バ-チャカ-ド- 厚15	――
床 組	置床式鋼製床下地 一部撤去新設（全体10%） 根太：溶融亜鉛メッキ鋼板（SPCC）@300 ┐┐-29×34×64× t 1.2 大引：溶融亜鉛メッキ鋼板（SPCC）@900 ┐┐-50×50× t 2.3 支持脚@900（簡井製作所GT707-同等品以上） ※亜鉛メッキ処理 撤去部分の床材は補修	――



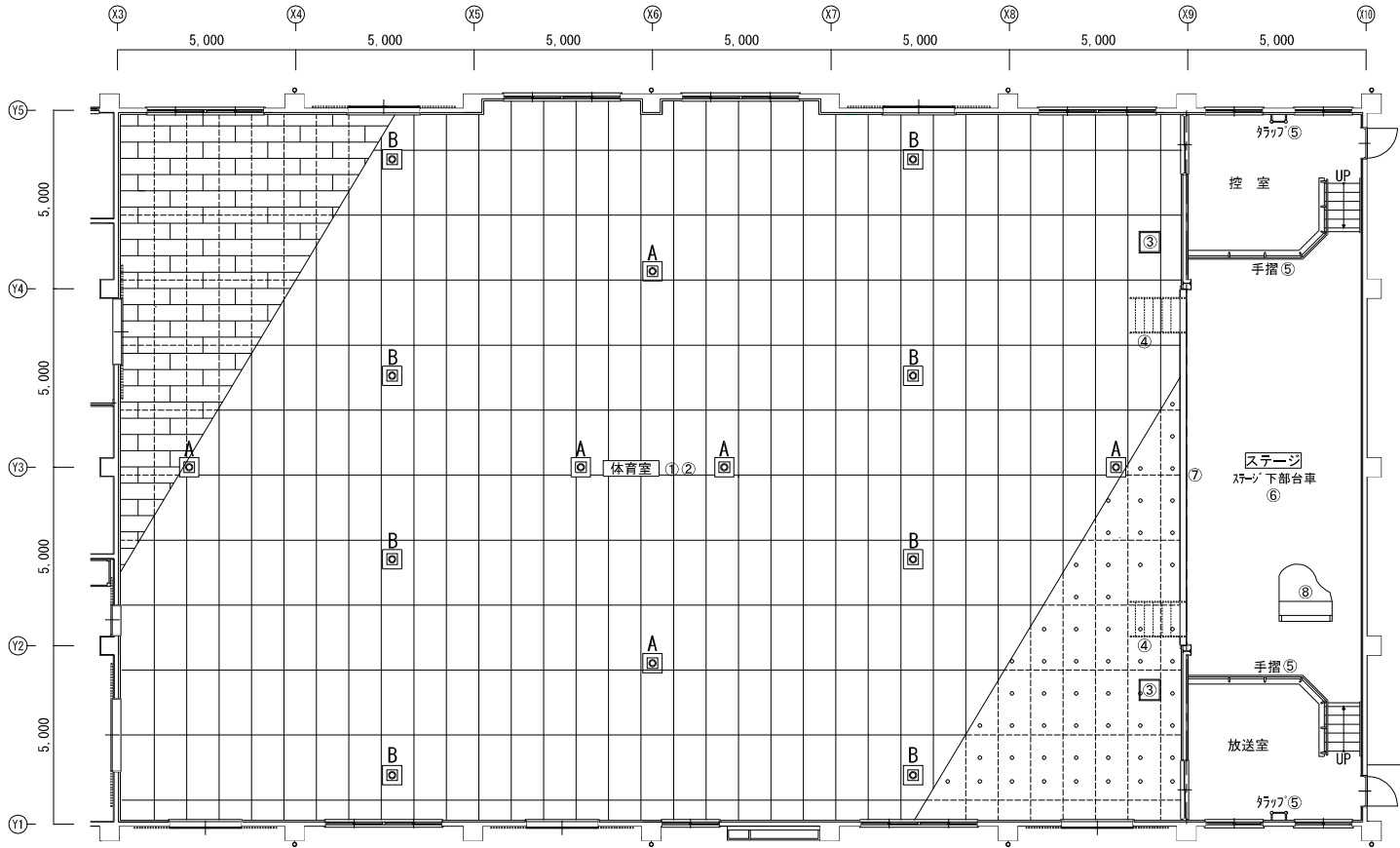
床平面図（改修前）1/100

撤去リスト

体育室床	加デ-フローリング 厚18張り ：撤去	捨張り板 厚15合板 ：撤去	大引、根太、束共ス-ル製 ：一部撤去	緩衝材全周 クロ-レング-ム ：撤去	幅木：撤去	バ-レ-ボール用支持基礎 バドミントン用支持基礎 低鉄棒用支持基礎	6カ所：撤去 4カ所：撤去 8カ所：撤去		
ステージ床	加デ-フローリング 厚18張り ：既存残置 框：既存残置	捨張り板 厚15合板 ：既存残置	大引、根太：既存残置	緩衝材 クロ-レング-ム ：既存残置	幅木：撤去	椅子収納：撤去			

支柱基礎撤去（バ-スト上蓋・中筒金物共）リスト

凡 例	競技名	カ所
a	バ-レ-ボール	6
b	バドミントン	4
c	低鉄棒	8



床平面図（改修前）1/100

改修リスト

No.	項 目	摘 要	No.	項 目	摘 要
①	鋼製床組一部撤去新設	仕上表による	⑥	椅子収納台車：撤去新設	詳細図参照
②	床フローリング（下地合板共）撤去新設	仕上表による	⑦	既存ス-ジ 框：塗替え	下地調整R8種 OSUC塗装
③	床点検口：新設	600角 4周囲-リング 共（PU-2 20×20）	⑧	ビ-7：移動再設置	韻律共
④	ス-ジ 階段：撤去新設	詳細図参照			
⑤	既存ス-ジ 手摺・クラ-ブ・キャットウォーク手摺：塗替	SOP塗装 錆止め塗装下地調整			

支柱基礎新設（バ-スト上蓋・中筒金物共）リスト

凡 例	競技名	カ所
A	バ-レ-ボール	6
B	バドミントン	8

※詳細は、各部詳細図 参照
※支柱共新設

工事件名：海老名市立海西中学校屋内運動場大規模改修工事



海老名市

図面名称

既存改修 体育室床改修平面図

縮尺

A1:1/100 A3:1/200

図面番号

A - 34

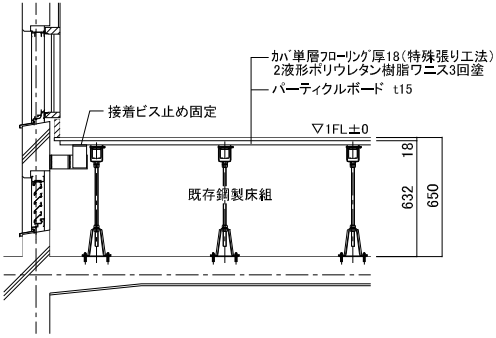
【特記仕様】

フローリングは単層フローリング特殊張り工法
許容荷重は上記を基準とする

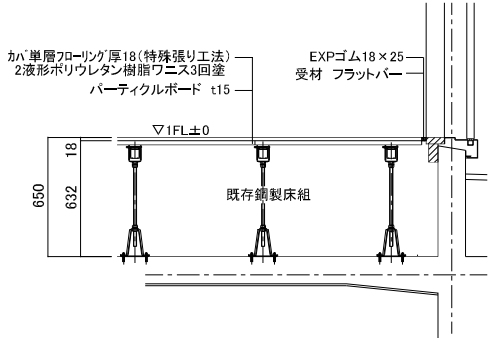
○2液形ポリウレタン樹脂ワニス3回塗
F☆☆☆☆
※荒掛け・中掛け・仕上研磨をした上

【体育館床使用フローリング】

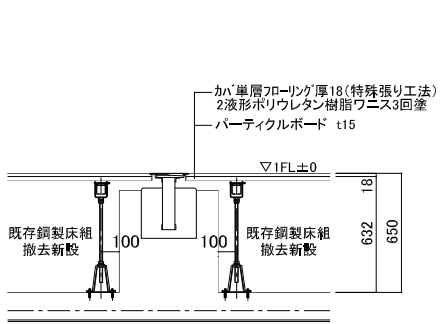
カバ単層フローリング
75×500以上×t18(2液形ポリウレタン樹脂ワニス3回塗)
F☆☆☆☆



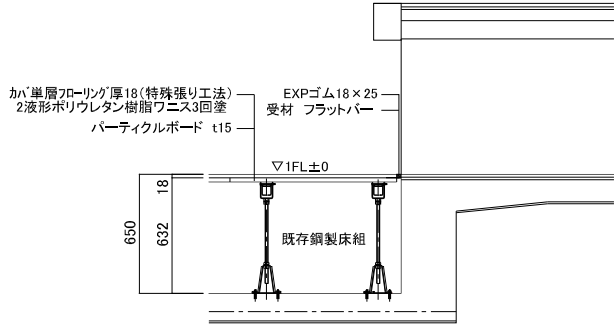
【壁廻り納まり図 S=1/20】



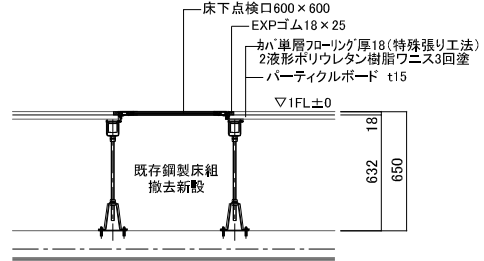
【出入口廻り納まり図 S=1/20】



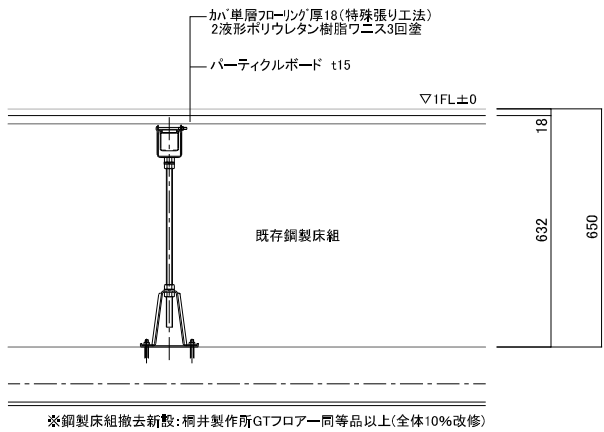
【体育館体育器具基礎廻り納まり S=1/20】



【体育館～ステージ廻り納まり S=1/20】

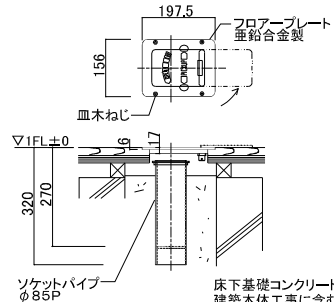


【体育館床下点検口廻り納まり S=1/20】



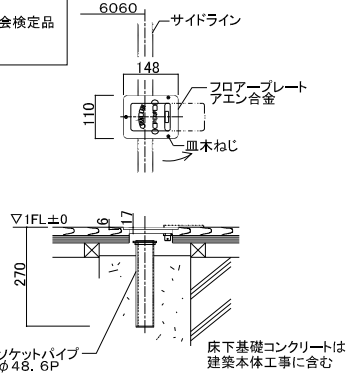
【体育館床基本断面 S=1/10】

バレーボール用支柱 3セット
ベベルギア式
日本バレーボール協会推薦品
鋼管 φ76.3 アルミ製
底部ゴム・ネット巻器付
床下250

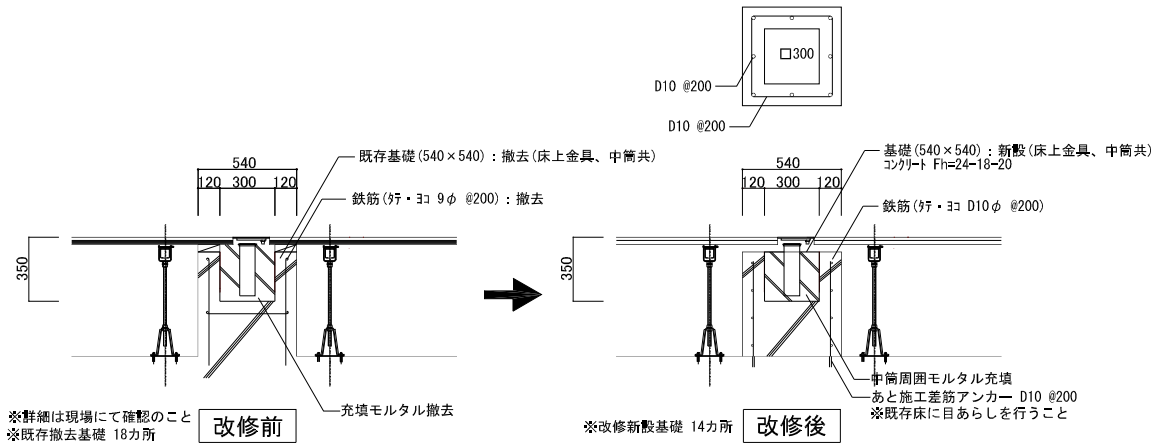


【バレー用床金具 S=1/10】

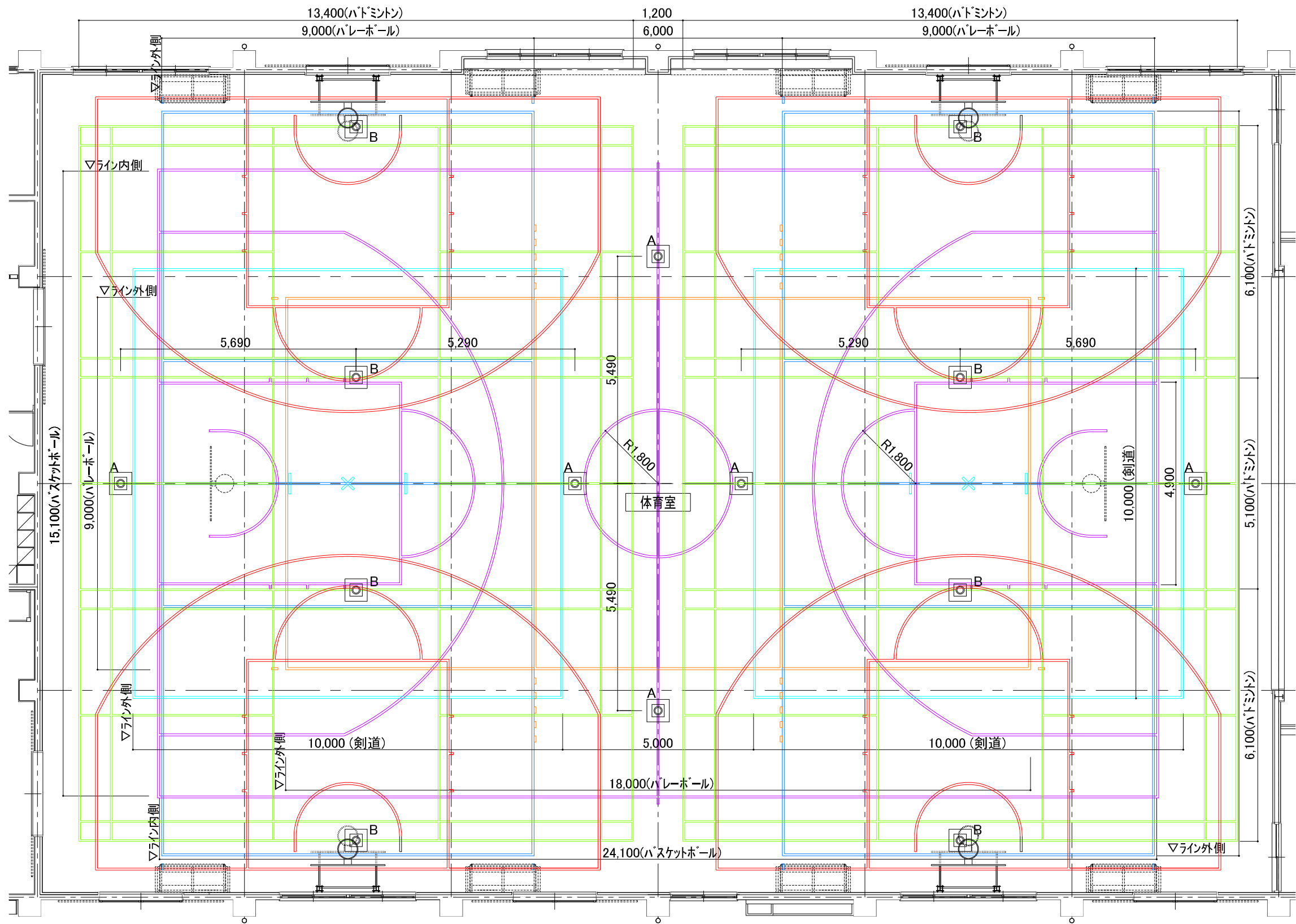
バドミントン用支柱 4セット
差込式
日本バドミントン協会検定品
鋼管 φ40 t3.5
床下150



【バドミントン用床金具 S=1/10】



【体育館体育器具基礎納まり S=1/20】



支柱基礎(ホスト上蓋・中筒金物共) リスト

凡例	競技名	か所
A	バレーボール	6
B	バドミントン	8

※ 詳細は、各部詳細図 参照

※ 支柱共新設

コートライン一覧表

優先順位	表示	コートライン名	線幅・色	コート寸法	コート数
①	メインバスケットコートライン	バスケットコートライン (ニュートラルのみ)	50mm 白線	24,100×15,100	1面
②	バスケットコートライン (ニュートラルのみ)	バスケットコートライン (ニュートラルのみ)	50mm 青線		2面
③	バレーボールコートライン	バレーボールコートライン	50mm 赤線	9,000×18,000	1面
④	バレーボールコートライン	バレーボールコートライン	50mm 赤線	9,000×18,000	2面
⑤	バドミントンコートライン	バドミントンコートライン	50mm 黄線	13,400×6,100	6面
⑥	剣道	剣道	50mm 黒線	10,000×10,000	2面

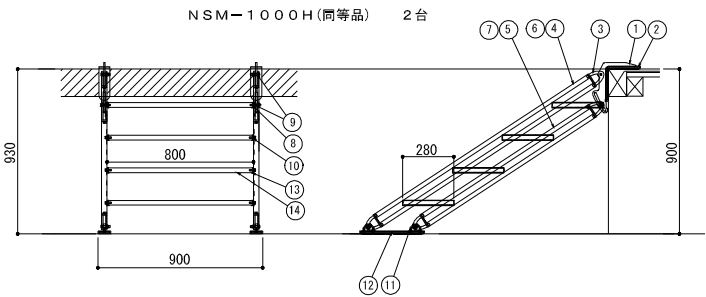
※ 各コートラインは既存位置優先とする

※ 各コートラインの交差部は重ね塗りとする

※ コートライン寸法は、競技用ホスト及び既存バスケットボールと整合するよう十分調査の上、監督員の承諾を受けること

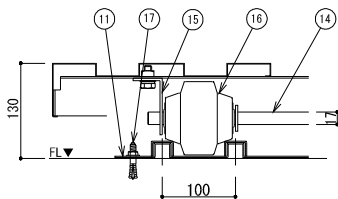
※ ホール等の基礎の位置とコートラインについては施工図を作成し、監督員の承諾を受けること



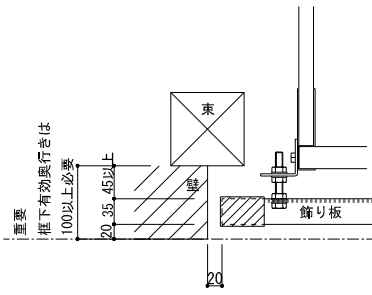


アルミ製移動階段 1/20

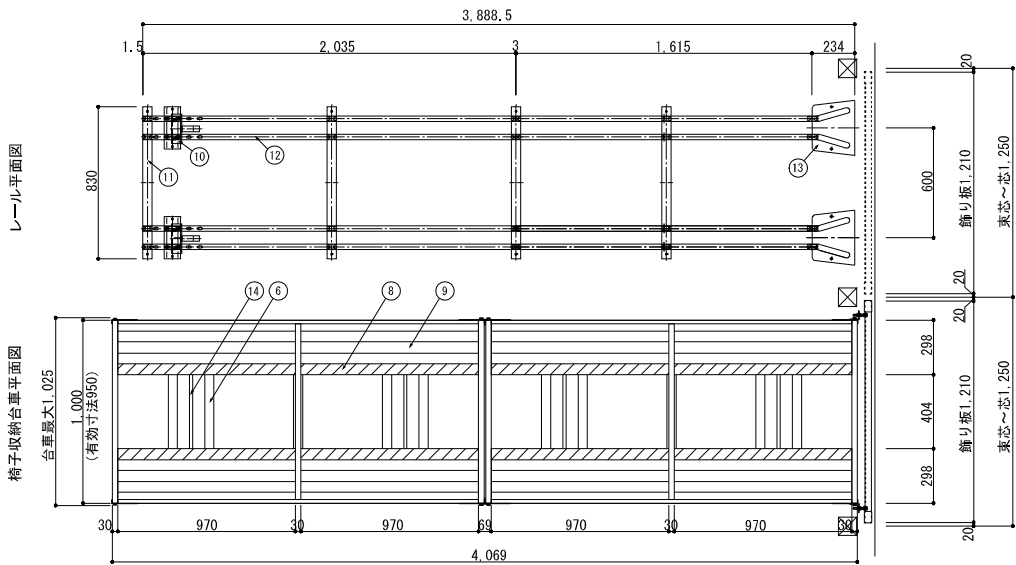
アルミ製移動階段主要構成部品仕様書			
品番	名称	材料・加工等	表面処理
1	フック	ALMダイキャスト製	粉体塗装
2	滑り止めゴム	成形品 6ミリ 差込	
3	Bkt 1	強化プラスチック製 (成型)	
4	支柱材 1	ALM押し出し成形品 (80×30×3t)	粉体塗装
5	支柱材 2	ALM押し出し成形品 (80×30×3t)	粉体塗装
6	支柱用フタ 1	ALM押し出し成形品	粉体塗装
7	支柱用フタ 2	ALM押し出し成形品	粉体塗装
8	カラー 1	φ22×5t 穴径φ8.5	
9	カラー 2	鋼スベーサー (G0800)	
10	カラー 3	φ22×3t 穴径φ8.5	
11	Bkt 2Bkt 2	ALM押し出し成形品	粉体塗装
12	脚ベース	ALM押し出し成形品	粉体塗装
13	ステップカバー	ALM押し出し成形品	粉体塗装
14	ステップ材	ALM押し出し成形品	粉体塗装



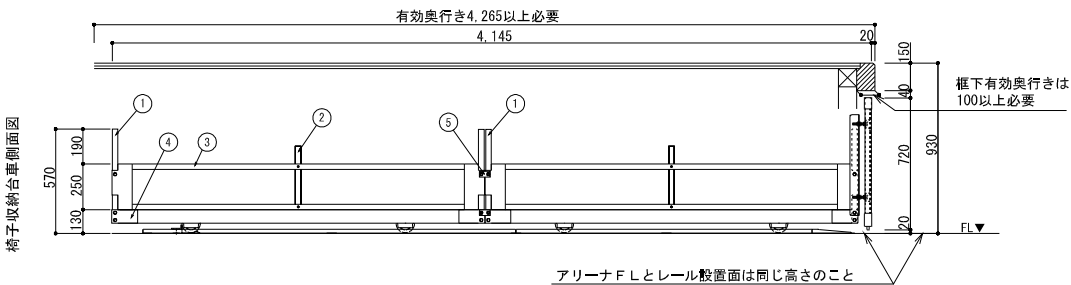
車輪部詳細 1/5



A部詳細 1/5

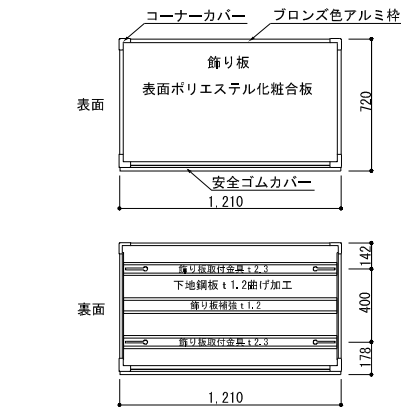


椅子収納台車平面図

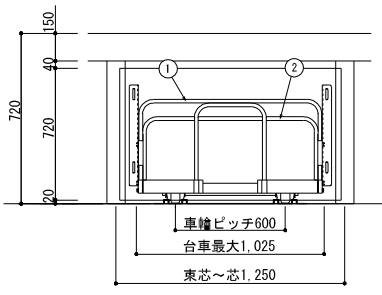


椅子収納台車側面図

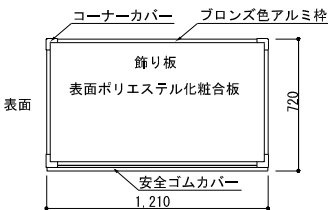
収納台車 1/20



飾り板詳細図 1/20

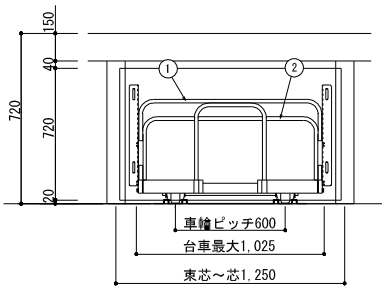


台車正面図 1/25



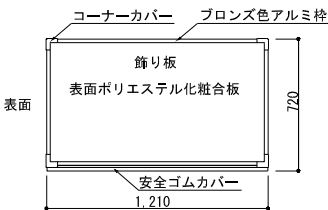
表面

表面



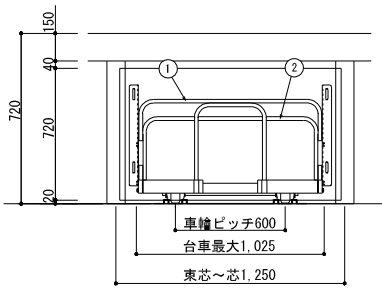
表面

表面



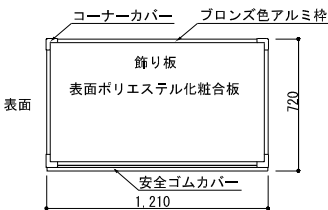
表面

表面



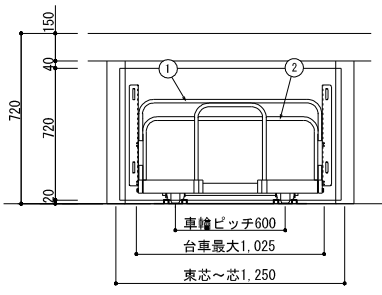
表面

表面



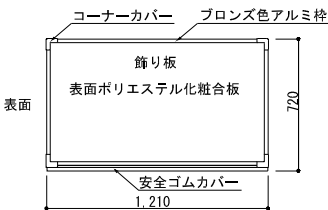
表面

表面



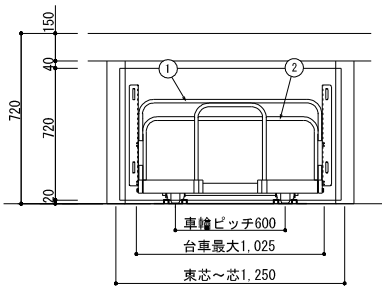
表面

表面



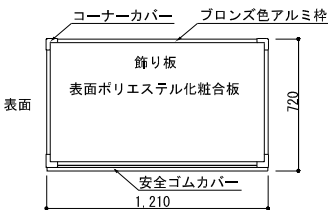
表面

表面



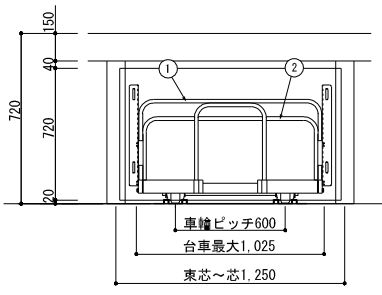
表面

表面



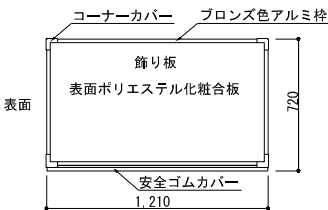
表面

表面



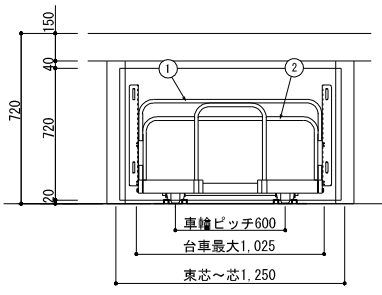
表面

表面



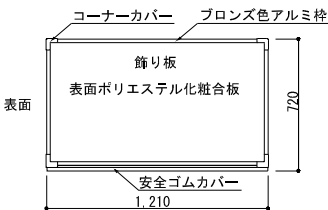
表面

表面



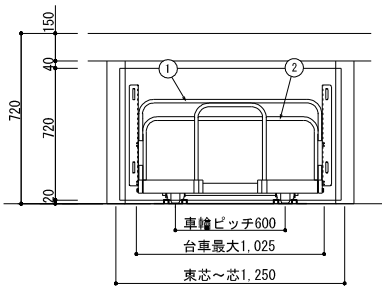
表面

表面



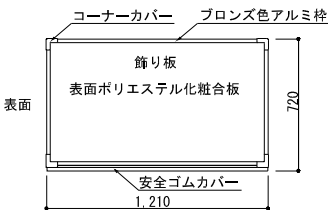
表面

表面



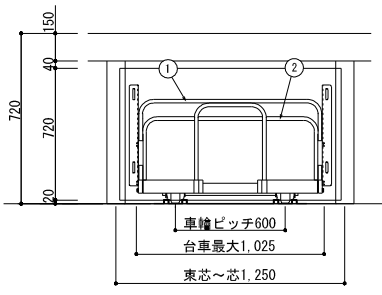
表面

表面



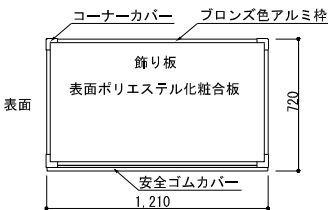
表面

表面



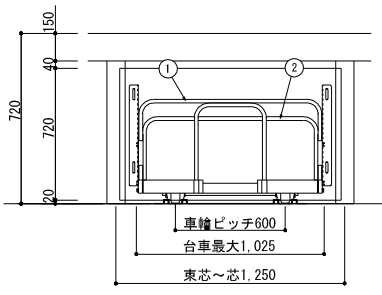
表面

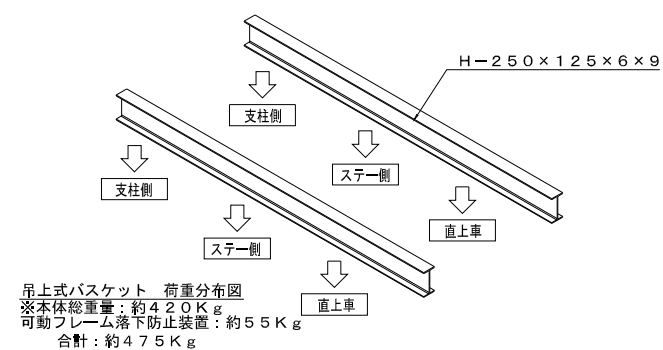
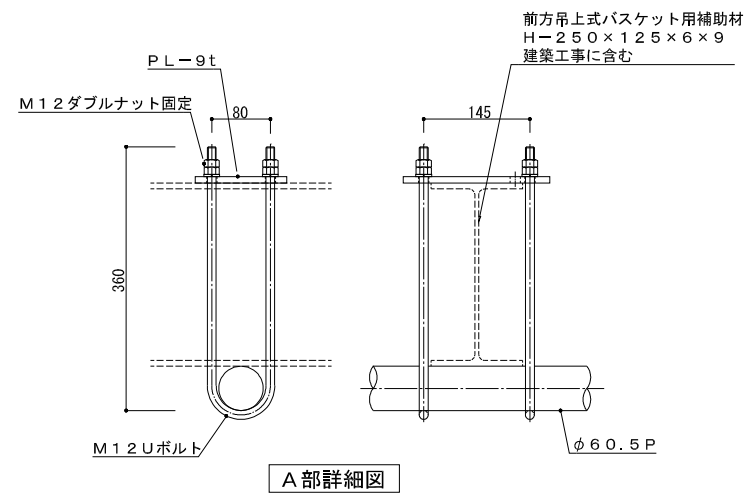
表面



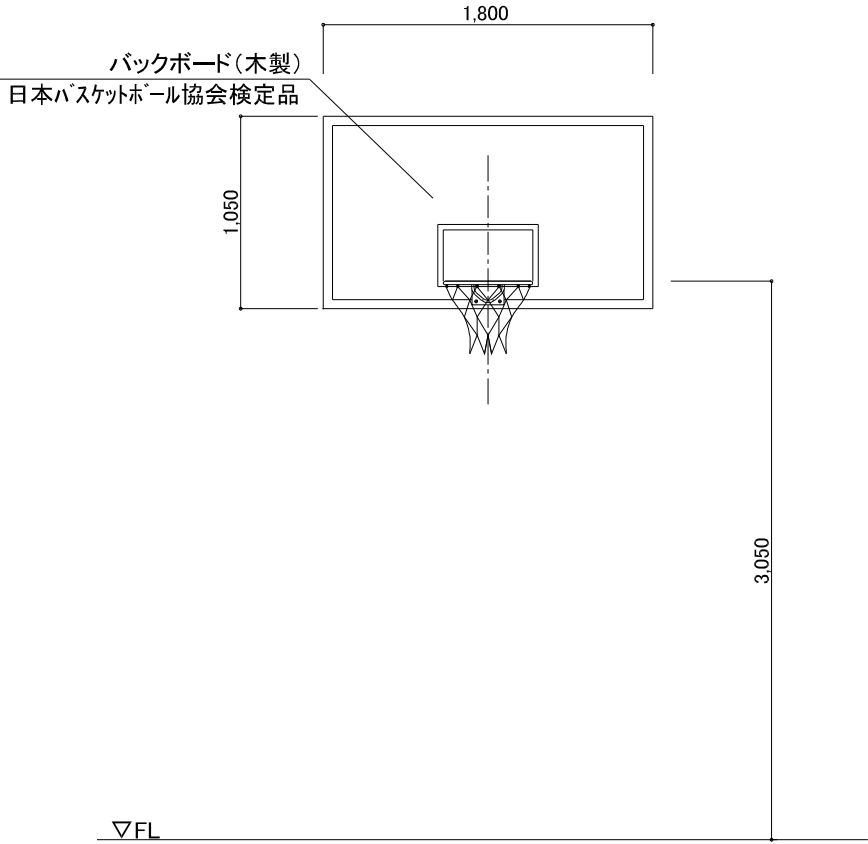
表面

表面

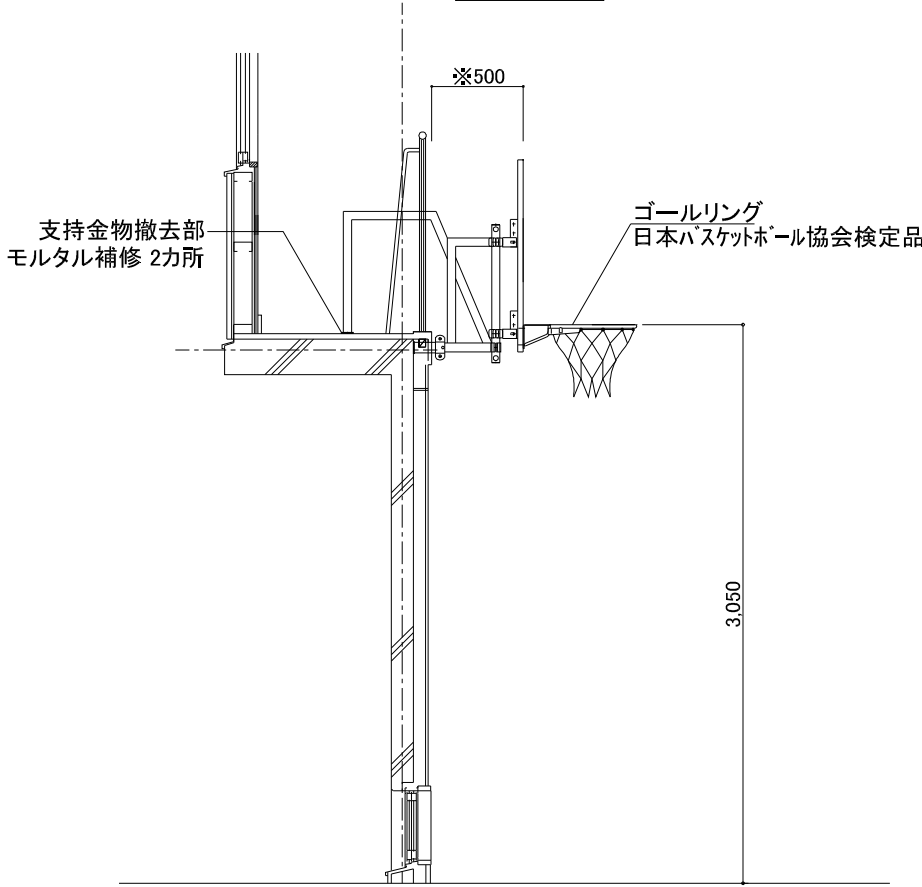




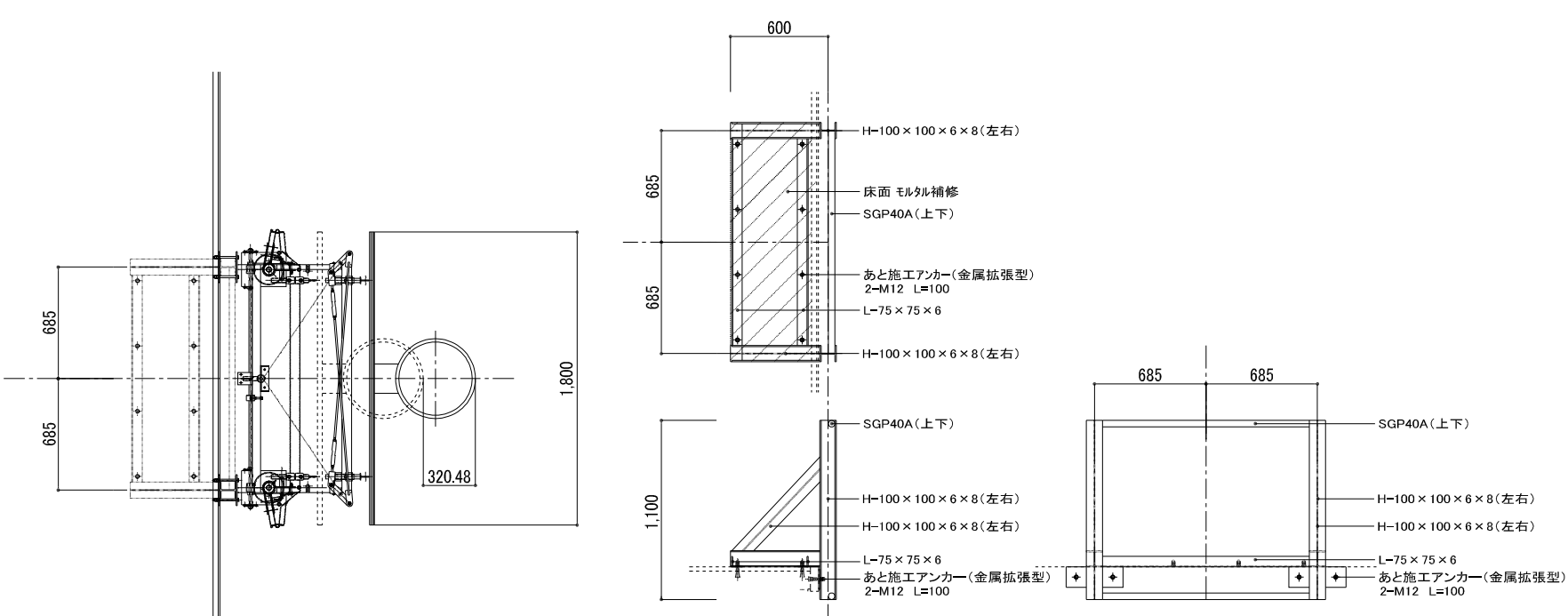
短期（ダック時先端に1.5KNの荷重）		長期（通常線出時）	
直上車	0.13 (kN)	直上車	0.13 (kN)
支柱側	1.23 (kN)	支柱側	1.98 (kN)
ステー側	1.20 (kN)	ステー側	1.20 (kN)



正面図

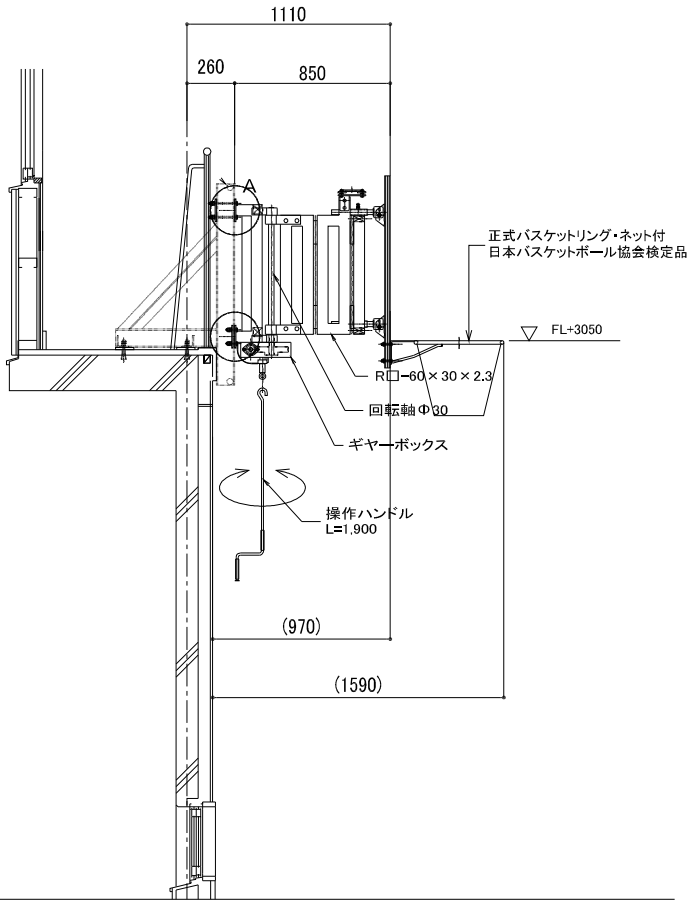


断面図

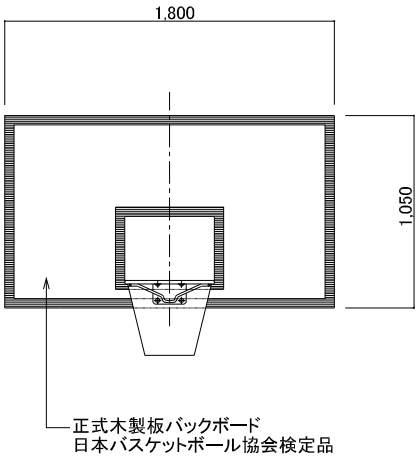


取付用鉄骨下地 建築工事

※鉄部は下地調整の上 SOP塗装・錆止め塗装

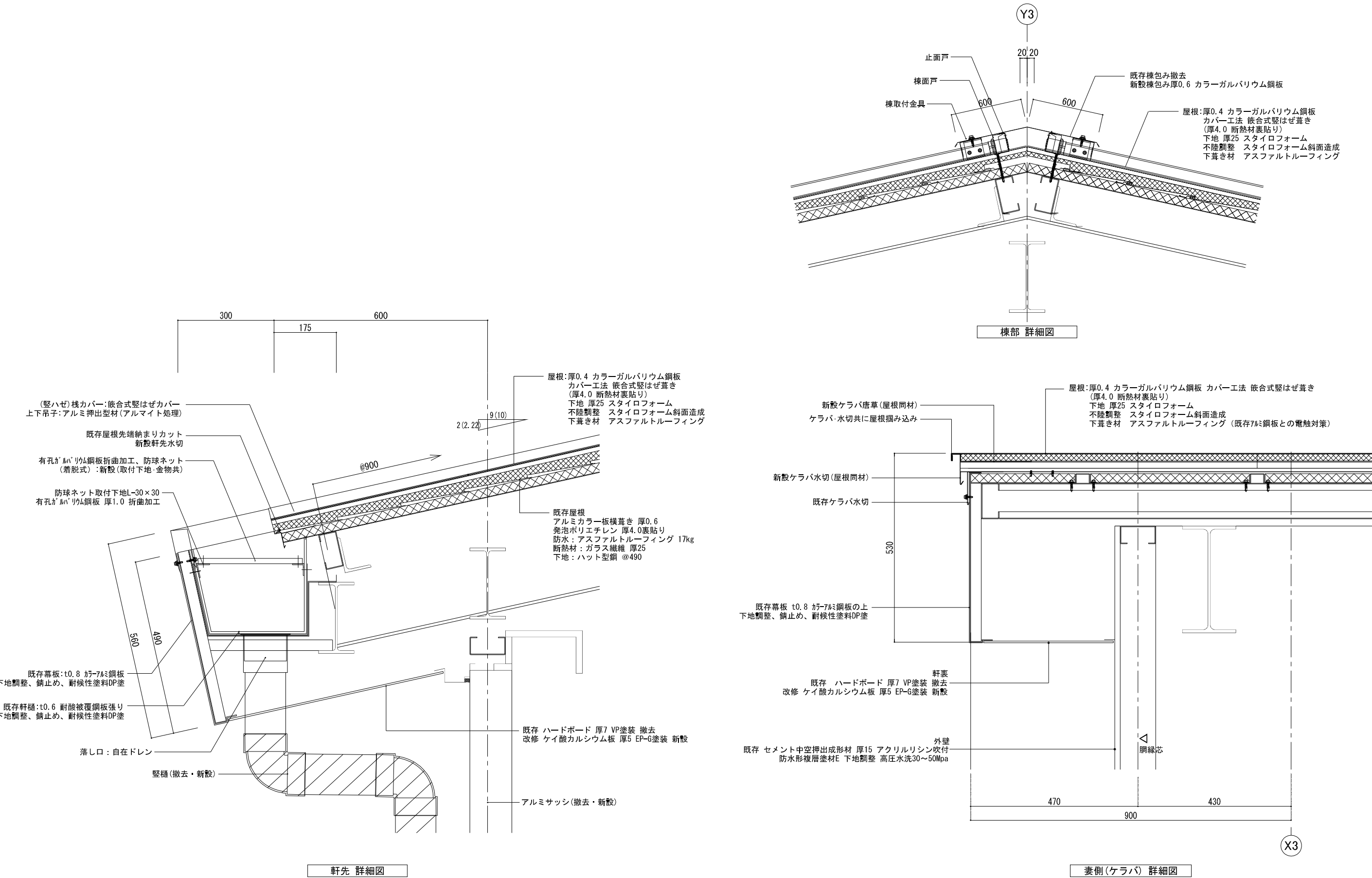


断面図



壁面固定折畳み式バスケット装置 (S=1/20)
イノコ BG-25 F (同等品以上)
日本バスケットボール協会装置普及検定品

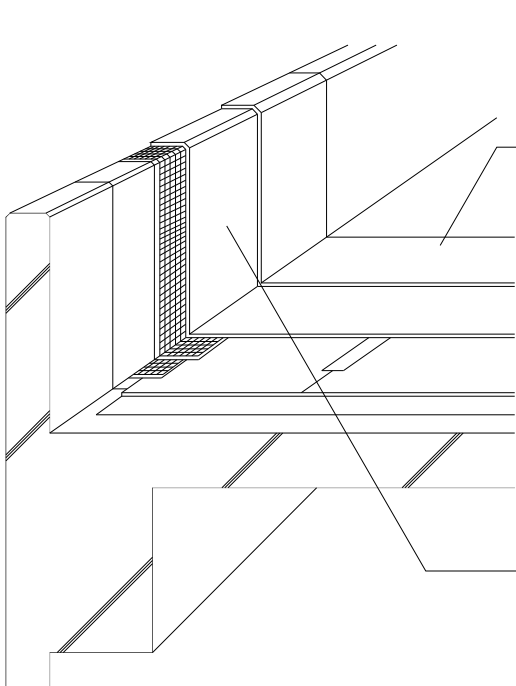
壁面固定式バスケット装置取り換え
既設バスケット装置 撤去処分



1. 標準仕様

- 1) 平 場:ウレタン塗膜防水(X-1)
- 2) 立上り:ウレタン塗膜防水(X-2)

※ 使用材料は全て環境対応型 とし、日本ウレタン建材工業会の「環境対応工法」認定品とする

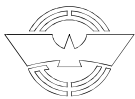
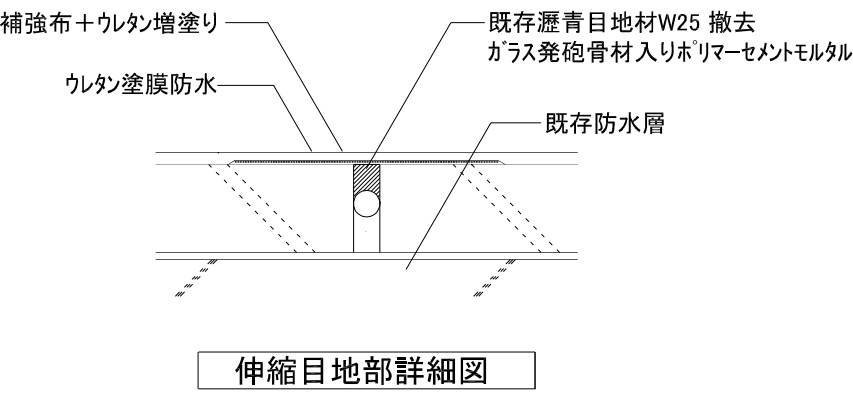
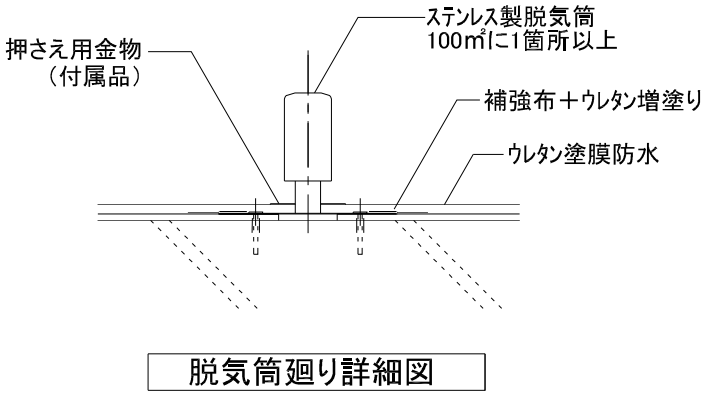
	種別	平場:X-1工法	
	工程	材料・工法	使用量(kg/㎡)
	1	接着剤塗り、通気緩衝シート張り	0.3
	2	ウレタン防水材塗り	1.5
	3	ウレタン防水材(1類)塗り	1.5
	4	仕上塗料塗り	0.2
	種別	平場:X-2工法	
	工程	材料・工法	使用量(kg/㎡)
	1	プライマー塗り	0.2
	2	ウレタン防水材塗り、補強布張り	0.3
	3	ウレタン防水材塗り	1.5
	4	ウレタン防水材(1類)塗り	1.2
	5	仕上塗料塗り	0.2
	種別	立上り:X-2工法	
	工程	材料・工法	使用量(kg/㎡)
	1	プライマー塗り	0.2
	2	ウレタン防水材塗り、補強布張り	0.3
	3	ウレタン防水材塗り	0.9
	4	ウレタン防水材(1類)塗り	0.8
	5	仕上塗料塗り	0.2

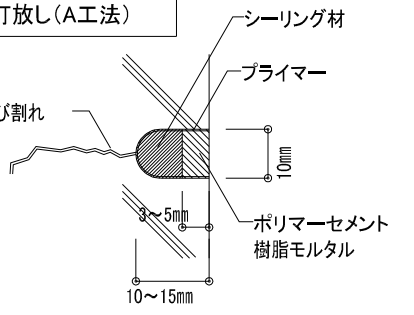
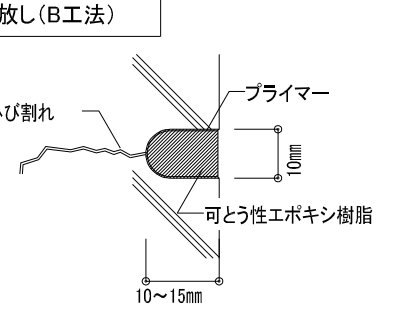
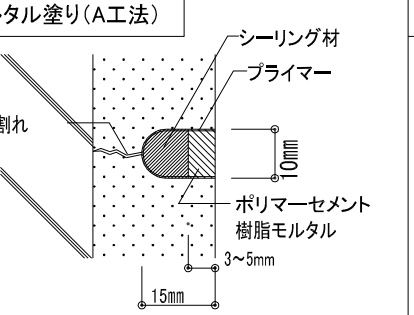
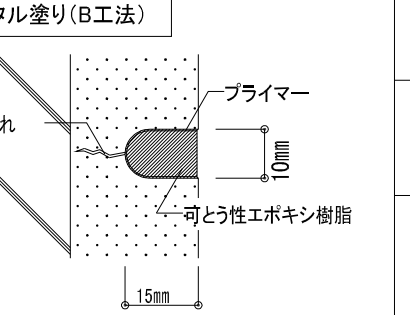
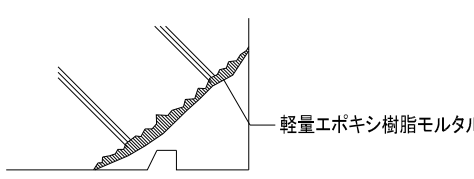
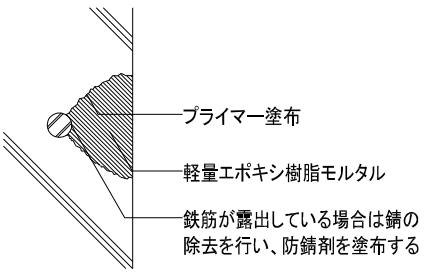
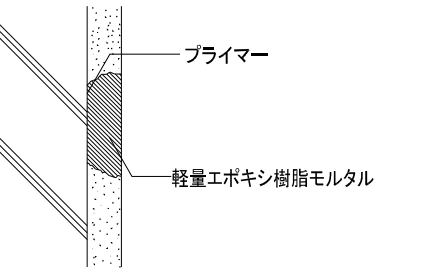
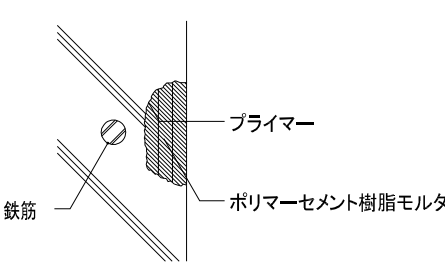
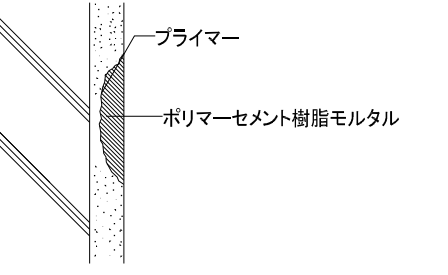
施工留意事項:防水材塗継ぎの重ねは幅を100mm以上、補強布の重ねは幅を50mm以上とする

2. 下地処理:公共建築改修工事標準仕様書による

- 1) 既存下地に付着している異物はケレンし、全面を高圧水洗浄(加圧力10~15MPa)を行う
- 2) ルーフドレン部の改修を行う(改修用ドレン設置)
- 3) 平場・立上り面共、樹脂モルタルにて下地調整を行う

※コンクリート面等のひび割れ部は、樹脂モルタルにて補修を行う
※既存下地の欠損部及びぜい弱部は、樹脂モルタルにて補修を行う
※ひび割れ幅が2mm以上の場合はUカットのうえ、ポリウレタン系シーリング材等を充填する



Uカットシール材充填工法				充填工法(軽量エポキシ樹脂モルタル)																																			
打放し(A工法)		 ※挙動あり:ひび割れ幅＞1.0mm		打放し(B工法)		 ※挙動あり:0.2mm≦ひび割れ幅≦1.0mm ※挙動なし:ひび割れ幅＞1.0mm		モルタル塗り(A工法)		 ※挙動あり:ひび割れ幅＞1.0mm		モルタル塗り(B工法)		 ※挙動あり:0.2mm≦ひび割れ幅≦1.0mm ※挙動なし:ひび割れ幅＞1.0mm		打放 モルタル塗り		 軽量エポキシ樹脂モルタル																					
補修範囲の確認 ↓ Uカット ↓ 孔内の清掃 ↓ プライマー塗布 ↓ シール材の計量 および混練 ↓ ・ひび割れの状況を確認し、補修範囲を決定する。 ・ひび割れに沿って、幅10mm、深さ10～15mm程度のU字型の溝を設ける。 ・Uカット溝内部の切粉等をワイヤーブラシ、刷毛等で除去し、清掃する。 ・プライマーを溝内部に塗残しがないように均一に塗布する。 ・主剤と硬化剤を規定量正確に計量し、気泡を巻き込まないよう充分混練する。計量は、可使時間内に使い切る量とする。 仕上げ塗材・下地調整材のいずれか、または両者に石綿含有の場合は「Uカットシール材充填工法」の採用不可		シール材の充填 ↓ 仕上げ ↓ 養生 ↓ 清掃 ↓ 自主検査 ・溝内にシール材をコーキングガンで、空隙や打残し等のないよう加圧しながら充てんし、表面を平滑に仕上げる。 ※A工法の場合はシーリング材をコンクリート表面から3～5mm程度低めに充てんする。 ・A工法:シーリング材の硬化後、ポリマーセメントモルタルをコンクリート表面に合わせて平滑に塗り込み仕上げる。 ・B工法:可とう性エポキシ樹脂の上に仕上塗材、塗料等を施す場合は、硬化前に表面にけい砂を散布する。 ・シール材が硬化するまで損傷、汚染等のないようにする。また降雨等からも養生する。 ・シール部以外の汚れ等を除去し、清掃する。 ・シール材の仕上がり状態、硬化状態および後片付けを確認する。		補修範囲の確認 ↓ 下地処理・ケレン ↓ プライマー塗布 ↓ エポキシ樹脂 モルタルの計量・混練 ↓ エポキシ樹脂 モルタルの充填 ↓ 表面仕上げ ↓ 養生 ↓ 清掃 ↓ 自主検査 ・欠損部の状況を確認し、補修範囲を決定する。 ・欠損部の脆弱部分などを 手工具(※1)にて はつり取った後ほこり等除去して清浄で強固な下地を出す。 ・鉄筋が露出している場合は、錆を除去する。 ・防錆のためエポキシプライマーを塗布する。 刷毛で充分に浸透させながら行う。 ・主剤と硬化剤を規定量正確に軽量し、充分に混練する。 ・プライマーの粘着性のあるうちに、エポキシ樹脂モルタルを充分押え込みながら充てんする。 ・表面を金ゴテ等で充分押えて、なだらかに仕上げる。 ・エポキシ樹脂モルタルが硬化するまでは(24時間以上)損傷、汚染のないようにし、また雨水等からも養生する。 ・補修部以外の汚れを除去、清掃する。 ・モルタルの仕上がり状態、硬化状態および後片付けを確認する。																																			
充填工法(軽量エポキシ樹脂モルタル) ※ 危険性「大」の場合										充填工法(ポリマーセメント樹脂モルタル) ※ 危険性「小」の場合																													
打放し					 プライマー塗布 軽量エポキシ樹脂モルタル 鉄筋が露出している場合は錆の除去を行い、防錆剤を塗布する					モルタル塗り					 プライマー 軽量エポキシ樹脂モルタル					打放し					 プライマー ポリマーセメント樹脂モルタル 鉄筋					モルタル塗り					 プライマー ポリマーセメント樹脂モルタル				
補修範囲の確認 ↓ 下地処理 ↓ ケレン清掃 ↓ プライマー塗布 ↓ 軽量エポキシ樹脂 モルタルの計量・混練 ↓ ・欠損部の状況を確認し、補修範囲を決定する。 ・欠損部の脆弱部分などを 手工具(※1)にて はつり取った後、ほこり等を除去して清浄で強固なコンクリート下地を出す。 ・鉄筋が露出している場合は、錆を除去する。 ・浮き錆はワイヤーブラシやサンダーでケレン清掃する。 ・防錆のためエポキシプライマーを塗布する。 刷毛で充分に浸透させながら行う。 ・主剤と硬化剤を規定量正確に計量し、充分に混練する。					軽量エポキシ樹脂 モルタルの充填 ↓ 表面仕上げ ↓ 養生 ↓ 清掃 ↓ 自主検査 ・プライマーの粘着性のあるうちに、エポキシ樹脂モルタルを充分押え込みながら充てんする。 ・表面を金ゴテ等で充分押えて、平滑に仕上げる。 ・軽量エポキシ樹脂モルタルが硬化するまでは(24時間以上)損傷、汚染のないようにし、また雨水等からも養生する。 ・補修部以外の汚れを除去し、清掃する。 ・軽量エポキシ樹脂モルタルの仕上がり状態、硬化状態および後片付けを確認する。					補修範囲の確認 ↓ 下地処理 ↓ ケレン清掃 ↓ プライマー塗布 ↓ ポリマーセメント樹脂 モルタルの調合・充てん ↓ ・欠損部の状況を確認し、補修範囲を決定する。 ・手工具(※1)にて はつり取り、ほこり等を除去して清浄で強固なコンクリート下地を出す。 ・鉄筋が露出している場合は、錆を除去する。 ・浮き錆はワイヤーブラシやサンダーでケレン清掃する。 ・仕様に沿ったプライマーの調整を行う。 ・プライマーを被着面に塗り残しのないように塗布する。 ・ポリマーセメント樹脂モルタルは、仕様に基づいて調合してから充分に混練する。 ・欠損の状態の合わせ、数層に分けてポリマーセメント樹脂モルタルを充てん又は塗り付ける。 ・各層塗り厚は7mm程度とする。					表面仕上げ ↓ 養生 ↓ 清掃 ↓ 自主検査 ・表面を金ゴテで充分押さえて、平滑に仕上げる。 ・各層とも急激な乾燥を避けて、ポリマーセメント樹脂モルタルが硬化するまで損傷、汚染のないようにするとともに降雨等からも養生する。 (7日以上) ・ポリマーセメント樹脂モルタルの硬化後、補修以外の汚れ等を除去し、清掃する。 ・ポリマーセメント樹脂モルタルの仕上がり状態、硬化状態およびあとかたづけを確認する。																								
工事件名：海老名市立海西中学校屋内運動場大規模改修工事										 海老名市										図面名称 縮尺										外壁の改修工法ディテールシート (1) NO SCALE 図面番号 A - 42									

樹脂注入工法

打放し

ひび割れ

パテ状エポキシ樹脂

注入パイプ
(φ6～12mm)

15～30mm

手動式樹脂注入工法
※挙動なし:ひび割れ幅＞1.0mm

打放し

ひび割れ

シール材

注入器具

台座

自動式低圧エポキシ樹脂注入工法
※ひび割れ幅＞0.2mm

モルタル塗り

注入パイプ(φ6～12mm)

パテ状エポキシ樹脂

10～15mm

手動式樹脂注入工法
※挙動なし:ひび割れ幅＞1.0mm

モルタル塗り

シール材

注入器具

台座

自動式低圧エポキシ樹脂注入工法
※ひび割れ幅＞0.2mm

補修範囲の確認

ひび割れ部の清掃

注入孔位置決め

台座の貼り付け

仮止めシール

・ひび割れの状況を確認し、補修範囲を決定する。

・ひび割れ部を中心に幅50mm程度の表面をワイヤーブラシ等で清掃する。

・ひび割れ部が濡れている場合は、乾燥するまで作業は中止する。

・注入孔位置を下記の表によりスケール等で測定し、チョークなどでマーキングする。

ひび割れ幅(mm)	0.3以下	0.3～0.5	0.5～1.0	1.0以上
注入孔の間隔(mm)	50～100	100～200	150～250	200～300

・台座または専用器具の注入口を塞がないように接着剤で固定する。

・メーカー仕様に基づき、仮止めシール材を施工する。

・硬化するまで出来るだけ振動を与えないように注意する。

エポキシ樹脂の計量・混練

エポキシ樹脂の注入

エポキシ樹脂の硬化・養生

専用器具・仮止めシール材の除去

自主検査

・主剤と硬化剤を規定量正確に計量し、均一になるまで充分混練する。

・専用器具にエポキシ樹脂を充填し、注入を行う。

・注入状態を確認し、必要に応じてエポキシ樹脂を補充する。

・注入作業完了後も専用器具を設置したまま硬化養生する。

・12時間以上の放置養生

・皮スキ、ディスクサンダー、ホットエアガンなどを用いて専用器具及び、仮止めシール材を除去し、下地面を平滑に仕上げる。

・エポキシ樹脂の使用量及び、専用器具内の残量から注入量を確認する。

※注記

詳細の仕様はメーカー仕様による

アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法

モルタル塗り

アンカーピン

パテ状エポキシ樹脂

エポキシ樹脂

30mm

α

アンカーピン本数

一般部分	16本／m2
指定部分	25本／m2
狭幅部	5本／m

※ 1ヶ所の浮き面積が0.25m2未満の場合

アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法

モルタル塗り

パテ状エポキシ樹脂

エポキシ樹脂

アンカーピン

パテ状エポキシ樹脂

30mm

α

アンカーピン本数(本／㎡)

種類	項目	アンカーピンの本数	注入口の本数
一般部分		13本／m2	12本／m2
指定部分		20本／m2	20本／m2
狭幅部		5本／m	5本／m

※ 1ヶ所の浮き面積が0.25m2以上の場合

補修範囲の確認

アンカーピンニングの本数と配置の決定

せん孔 (※2)

孔内の清掃

アンカーピン固定用エポキシ樹脂の計量・混練

アンカーピン固定用エポキシ樹脂の注入

・テストハンマー等で打診し、浮きの状態と範囲を調べてマーキングする。

・アンカーピンニングのせん孔位置を右上表にてチョークでマーキングする。

・アンカーピンニング用のせん孔深さは、躯体コンクリートに30mm以上とする。

・せん孔径は使用するアンカーピンの直径より2mm程度大きい直径とする。

・孔内の切粉等をブラシや圧縮空気等で除去する。

・主剤と硬化剤を規定量正確に計量し、充分に混練する。

・グリスポンプを用いて、せん孔部の最深部から徐々にアポキシ樹脂を注入する。充填量は指定がある場合を除き1ヶ所当り25ccとする。

・規定のアンカーピンを孔最深部まで埋め込む。

・適切な長さのアンカーピンのねじ切り部分にアンカーピン固定用エポキシ樹脂を塗布してから、気泡の巻込みに注意して孔内最深部まで確実に挿入する。

アンカーピンの挿入

養生

アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法

清掃

自主検査

・アンカーピン:ステンレス製全ネジφ4mm

・アンカーピンの頭は仕上り面から5mm程度引っ込むようにする。孔内よりはみ出したエポキシ樹脂は除去し、目立たぬ色のパテ状エポキシ樹脂で穴うめする。

・アンカーピン固定用エポキシ樹脂注入後、夏期15時間、冬季24時間以上は衝撃や振動を与えないようにし、また降雨等からも養生する。

・注入部以外に付着した汚れを除去し、清掃する。

・テストハンマーで打診して注入状態を確認するとともに、後片付けも確認する。

残存浮き部への注入孔の位置決め

注入孔のせん孔 (※2)

孔内の清掃

ひび割れ等のシール

残存浮きへの注入

養生

仕上げ

清掃

自主検査

・テストハンマーで打診して残存浮き範囲を再確認し、注入孔位置をチョーク等でマーキングする。

・アンカーピン固定用エポキシ樹脂硬化後、躯体コンクリートに5mm以上の深さまでせん孔する。

・孔内の切粉等をブラシや圧縮空気等で除去する。

・注入時にエポキシ樹脂が流出する恐れのあるひび割れや開口部等は確実にシールし、硬化養生する。

・グリスポンプを用いてエポキシ樹脂を適切な注入圧を保ちながら、ゆっくり注入を行う。

・注入順序は下部から上部へ、片端部から他端部へ打診しながら残存浮き部全面に注入する。

・注入後注入孔をパッキン等でふさぐ。

・エポキシ樹脂注入後、夏期15時間、冬季24時間以上は衝撃や振動を与えないようにし、また降雨等からも養生する。

・アンカーピンニングおよび注入孔にパテ状エポキシ樹脂等を充てんし、仕上げを行う。

・注入部以外に付着した汚れを除去し、清掃する。

・テストハンマーで打診して注入状態を確認するとともに、あとかたづけも確認する。

工事件名：海老名市立海西中学校屋内運動場大規模改修工事

海老名市

図面名称

外壁の改修工法ディテールシート (2)

縮尺

NO SCALE

図面番号

A - 43

■ 金属屋根改修塗装仕様		
遮熱塗料塗り(屋根用高日射反射率(遮熱)弱溶剤系高耐候型変性シリコン樹脂塗料)		[ガルバリウム鋼板屋根面]
工程・材料	工法	所要量
下地調整	「高圧水洗機」による水洗い工法」又は、 「水洗い」にて汚れ・付着物・下地に適さない 劣化した既存塗膜を除去後、十分に乾燥させる	加圧力10～15MPa
下塗り	刷毛・全面にローラー塗り 塗装間隔(23℃)8H～7D	0.22kg／㎡以上 ウエット膜厚150μm ドライ膜厚55μm
上塗り(1～2回) 屋根用高日射反射率(遮熱)弱溶剤系高耐候型変性シリコン樹脂塗料 (ミラクールS100 各色 同等品)	刷毛・全面にローラー塗り 塗装間隔(23℃)4H～7D	0.22～0.25kg／㎡以上 ウエット膜厚180μm ドライ膜厚70μm

■ 外壁改修塗装仕様		
防水形複層塗材E (JIS A 6909)		[外壁垂直面・外壁水平面・小庇等小面積の上裏・ALCパネル(凸凹模様)]
工程・材料	工法	所要量
下地調整	「高圧水洗機」による水洗い工法」又は、 「水洗い」にて汚れ・付着物・下地に適さない 劣化した既存塗膜を除去	加圧力10～15MPa
下地調整塗材(C-1 ポリマーセメント系) (※1)	全面にローラー塗り	0.8kg／㎡以上
下塗り 防水形複層塗材用下塗材 (JIS A 6909)	全面に吹付 1回	0.1kg／㎡以上
増塗り 防水形複層塗材用下塗材 (JIS A 6909)	出隅・入隅・目地部・開口部回り等には け又はローラー塗りにより、端部に段差の ないように塗り分ける	0.9kg／㎡以上
主材基層塗り	全面に吹付 2回	1.7kg／㎡以上
主材模様塗り(パラペット天端等の平場はフラット)	全面に吹付	0.9kg／㎡以上
上塗り(JIS A 6909) フッ素系・1液・水系	全面に吹付 2回	0.25kg／㎡以上

外装合成樹脂エマルジョン系薄付け仕上塗材(外装薄塗材E) (JIS A 6909)		[庇・軒裏コンクリート面]
工程・材料	工法	所要量
下地調整(既存下地の場合)	「高圧水洗機」による水洗い工法」又は、 「水洗い」にて汚れ・付着物・下地に適さない 劣化した既存塗膜を除去	加圧力10～15MPa
下地調整塗材(C-1 ポリマーセメント系) (※1)	全面に吹付け、またはローラー塗り	0.8kg／㎡以上
下塗り	全面に吹付	0.1kg／㎡以上
主材塗り	全面に吹付 2回	1.5kg／㎡以上

(※1)下地補修等で不陸が著しく生じる部分は下地調整塗材(C-2 ポリマーセメント系)を使用すること

水性アクリル樹脂系塗床(防滑仕上) 塗替え		[階段,通路]
工程・材料	工法	所要量
下地調整	「高圧水洗機」による水洗い工法」又は、 「水洗い」にて汚れ・付着物・下地に適さない 劣化した既存塗膜を除去	加圧力10～15MPa
下地調整塗材(C-1 ポリマーセメント系) (※1)	全面にローラー塗り	0.8kg／㎡以上
下塗り 水性アクリル樹脂系塗床材	全面にローラー塗り	0.4kg／㎡以上
仕上塗料塗り(防滑仕上) 水性アクリル樹脂系塗床材	全面にローラー塗り	0.6kg／㎡以上

■ ガラス繊維天井改修塗装仕様		
飛散防止塗料塗り(表面固化粉塵飛散防止処理工法)		[ガラス繊維天井面]
工程・材料	工法	所要量
下地調整	小さな傷・ほつれ等は押えて補修する 剝離・脆弱部分は撤去	
表面固化 飛散防止塗料塗り(表面固化粉塵飛散防止処理工法) (ロックシール工法R 同等処理工法)	エアレススプレー 工程内2以上	0.6～1.0kg／㎡ 18～30㎡／18kg(2回での量)

■ 外部鉄部改修塗装仕様		
耐候性塗料塗り DP塗装(鉄鋼面改修)		
工程・材料	工法	所要量
下地調整(RB種) 既存塗膜の除去 汚れ、付着物除去 油類除去 研磨紙ざり	ディスクサンダー、スクレーパー等により劣化部分を全面除去し活膜は残す 素地を傷つけないようにワイヤブラシ等により除去する 溶剤ぶき 研磨紙P120～220で全面を平らに研磨する	
下塗り(2回) 変性エポキシ樹脂プライマー E種	はけにて全面塗り付け 塗装間隔(20℃)24時間以上～7日以内	0.14kg／㎡以上
研磨紙ざり	研磨紙P120～220で研磨する	
中塗り 鋼構造物用耐候性塗料(JIS K5659) 中塗り塗料	はけにて全面塗り付け、塗料用シンナーA 塗装間隔(20℃)24時間以上～7日以内	0.14kg／㎡以上 希釈率0～10%
上塗り 鋼構造物用耐候性塗料(JIS K5659)フッ素系塗料 1級	はけにて全面塗り付け、塗料用シンナーA	0.10kg／㎡以上 希釈率0～10%

■ 内部鉄部改修塗装仕様		
合成樹脂調合ペイント塗り SOP塗装(鉄鋼面改修)		
工程・材料	工法	所要量
下地調整(RB種) 既存塗膜の除去 汚れ、付着物除去 油類除去 研磨紙ざり	ディスクサンダー、スクレーパー等により劣化部分を全面除去し活膜は残す 素地を傷つけないようにワイヤブラシ等により除去する 溶剤ぶき 研磨紙P120～220で全面を平らに研磨する	
下塗り(1回目)+研磨紙ざり下塗り(2回目) 鉛・クロムフリー錆止めペイント(JIS K5674) A種 パテかい(JASS18M-110)+研磨紙ざり	はけにて全面塗り付け、研磨紙P120～180で全面研磨する 塗装間隔(20℃)24時間以上～7日以内	0.10kg／㎡以上
中塗り(1回目)+研磨紙ざり+中塗り(2回目) 合成樹脂調合ペイント塗料(JIS K5516) 1種	はけにて全面塗り付け、塗料用シンナーA、研磨紙P220～240で全面研磨する 塗装間隔(20℃)24時間以上～7日以内	0.09kg／㎡以上
上塗り 合成樹脂調合ペイント塗料(JIS K5516) 1種	はけにて全面塗り付け、塗料用シンナーA	0.08kg／㎡以上

■ 内部木部改修塗装仕様		
OSCU塗り 水性1液ウレタン塗料塗り(木部面改修)		
工程・材料	工法	所要量
新設の場合 :素地ごしらえ,木部B種 既存塗膜ある場合:下地調整,木部RA種(既存塗膜全面除去)		
着色(2回) 水性自然系木部用浸透型着色剤 OS (VATON FX各色同等品) ふき取り	刷毛塗り/ローラーにて全面塗り付け 塗装間隔(23℃)16時間以上	0.03kg／㎡以上
下塗り・中塗り(艶有り) 水性ウレタン塗料(無黄変タイプ)(水性VATON FXフロアNX同等品) 研磨紙刷り	全面白木綿布片でふき取る	
	羊毛モップ塗り/刷毛塗りにて全面塗り付け 塗装間隔(23℃)16時間以上	0.05kg／㎡以上 (0.08～0.10)
	研磨紙P240～320	
上塗り(各艶) 水性ウレタン塗料(無黄変タイプ)(水性VATON FXフロアNX同等品)	羊毛モップ塗り/刷毛塗りにて全面塗り付け	0.05kg／㎡以上 (0.08～0.10)

2液形ポリウレタン樹脂ワニス塗料(床面改修)		[ステージ床、体育室床面]
工程・材料	工法	所要量
体育室床の場合:素地ごしらえ,木部B種 ステージ床の場合(既存塗膜ある場合):下地調整,木部RA種(既存塗膜全面除去)		
下塗り(1回) 水性2液型ポリウレタンワニス 研磨紙ざり(研磨紙240～320)	専用アプリケーションター(ムートン等)/刷毛塗り 塗装間隔(20℃)16時間以上3日間以下	0.06kg／㎡以上
中塗り(1回) 水性2液型ポリウレタンワニス 研磨紙ざり(研磨紙240～320)	専用アプリケーションター(ムートン等)/刷毛塗り 塗装間隔(20℃)6時間以上	0.06kg／㎡以上
コートライン引き(体育室床) 溶剤型1液ポリウレタン樹脂塗料 50mm(コートライン一覧表による)	刷毛塗り 塗装間隔(20℃)12時間以上3日間以下	0.06kg／㎡以上
上塗り(1回) 水性2液型ポリウレタンワニス	専用アプリケーションター(ムートン等)/刷毛塗り	0.06kg／㎡以上

工事件名：海老名市立海西中学校屋内運動場大規模改修工事



海老名市

図面名称

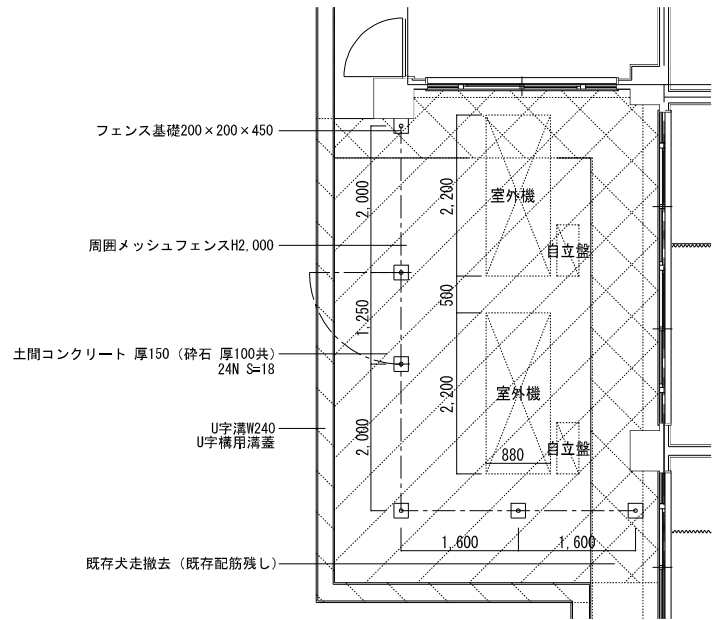
改修塗料等仕様書

縮尺

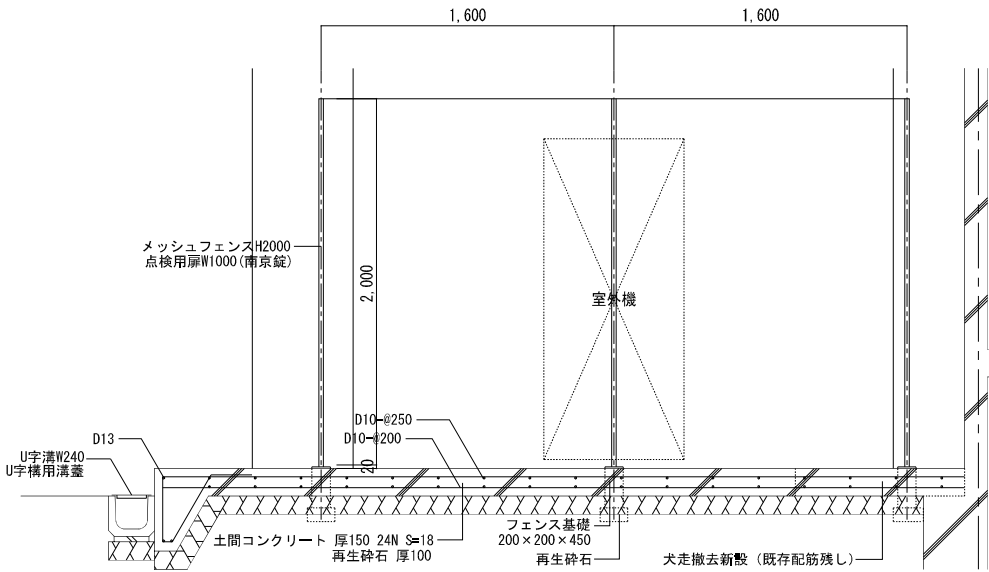
N0 SCALE

図面番号

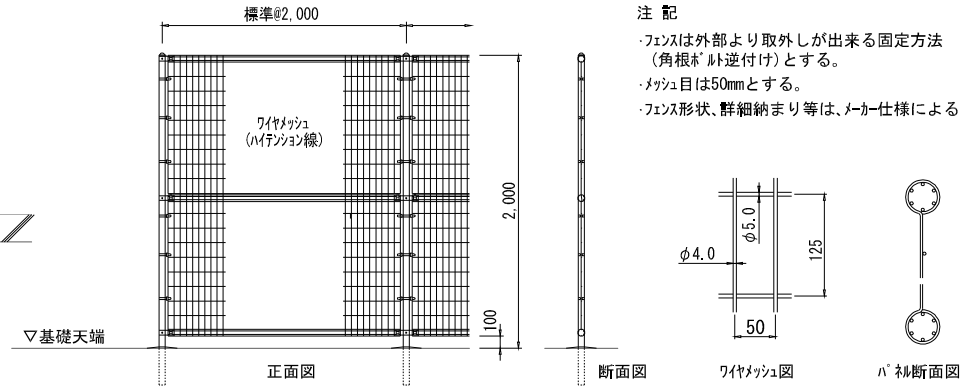
A - 44



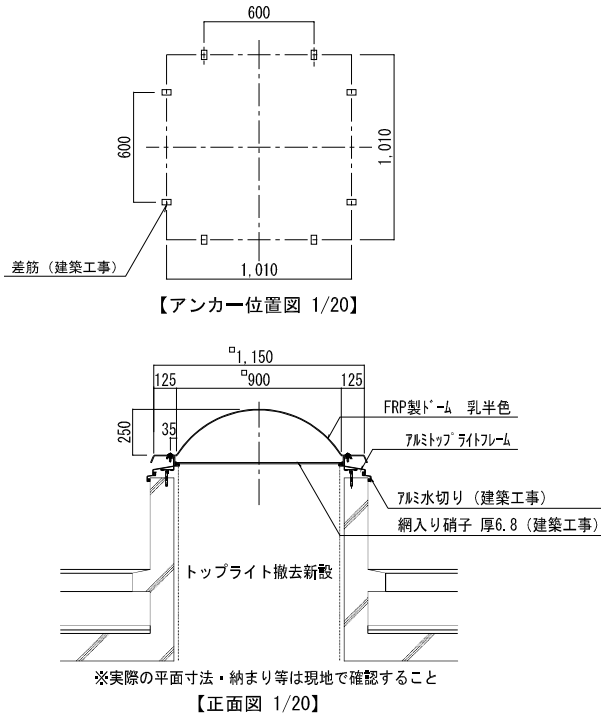
【空調室外機周囲平面図 1/50】



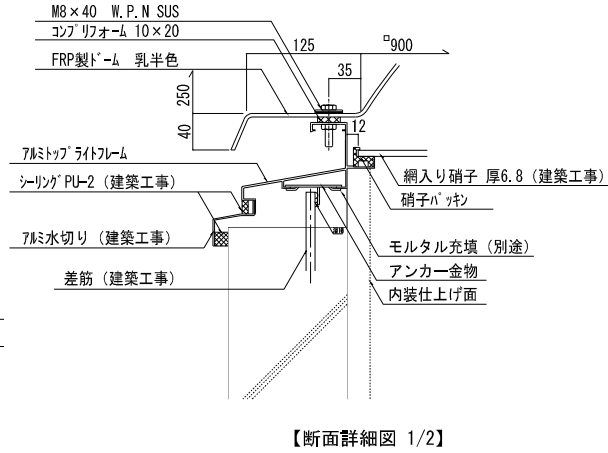
【空調室外機周囲断面図 1/20】



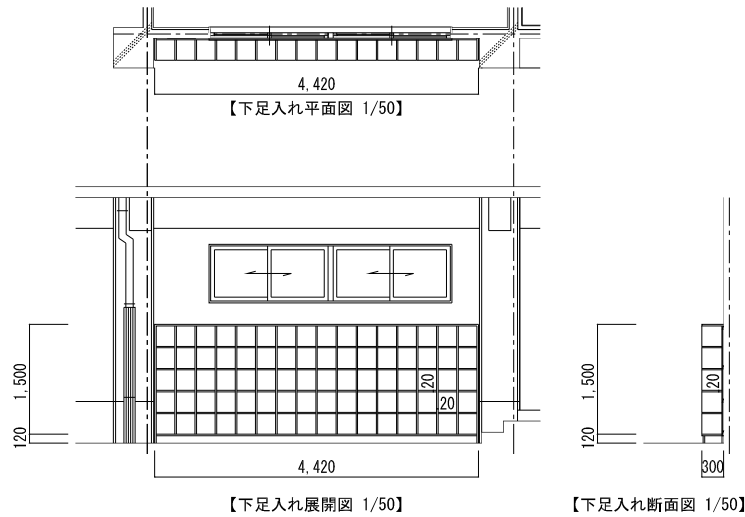
【ネットフェンス詳細図 1/30】



【正面図 1/20】



【断面詳細図 1/2】



【下足入れ展開図 1/50】

【下足入れ断面図 1/50】

電 気 設 備 改 修 工 事 特 記 仕 様 書					
1 工事概要					
1. 工事名称 海老名市立海西中学校屋内運動場大規模改修工事					
2. 工事場所 海老名市さつき町58番地					
3. 建物概要					
建物用途	工事種別	敷地面積	階 数	構 造	建築面積
屋内運動場	大規模改修工事	21,935.00㎡	平屋建	1階：鉄筋コンクリート・吹抜部：鉄骨造	901.70㎡
					823.30㎡
4. 工事種目 (○印の付いたものを適用する。)					
工事項目	建物別及び 工 事 種 別	屋 外	屋 内 運 動 場	工 事 種 別	屋 外
○電力設備	照明工以外				
・動力設備					
・電灯設備					
・管束機設備					
・受変電設備					
・電力貯蔵設備					
・受電設備					
○構内情報通信設備	一式				
・構内交換設備					
○情報表示設備	一式				
○誘導・警報設備	一式				
○監視設備	一式				
・誘導・警報設備					
・テレビ共同受信設備					
・監視カメラ設備					
・防犯・入退室管理設備					
○消防火災報知設備	一式(消火設備部以外)				
・中央監視制御設備					
・構内配電回路					
・構内通信回路					
・電波障害調査					
5. 指定部分 ※ なし ・ あり (工 期：平成 年 月 日)					
6. 特記仕様書					
1. 一般事項					
(1)特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて「国土交通省大臣官庁官庁業務部監修の公共建築工事標準仕様書(電気設備工事項、最新版)、公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事項、最新版)」(以下「標準仕様書」という。)、同部設備・環境部監修の「公共建築設備工事標準図(電気設備工事項、最新版)」(以下「標準図」という。)、及び国土交通省大臣官庁官庁業務部監修の「電気設備工事監理指針(最新版)」による。					
(2)機械設備工事及び建築工事と本工事を含む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事特記仕様書を適用する。					
2. 特記事項					
(1)項目は番号に○印の付いたものを適用する。					
(2)特記事項は、○印の付いたものを適用する。○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。					
○印と※印の付いた場合は、共に適用するものとする。					
章 項 目 特 記 事 項					
一 般 共 通 事 項	① 適用基準等	※ 工事写真の撮り方(建築設備編)(国土交通省大臣官庁業務部監修) ※			
	② 機 材 等	※ 本工事に使用する機材等は、設計図面に規定するもの、またはこれらと同等のものとする。ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員の承認を受けるものとする。 ※ 本工事に使用する材料の選定及び施工に当たっては、採発・性能・安全性の観点による健康への影響に配慮する。 ※ 使用する材料のホルムアルデヒド仕様は、日本工業規格及び日本農林規格のF☆☆☆☆規格品、建築材料協会規格適合品または同等品、化学物質等製品安全データシート等にホルマン不使用が明示されたものとする。			
	③ 機材の品質・性能証明	本工事着手前に主要機材メーカーリスト及び仕様書提出を提出し、監督職員の承認を受ける。 また、「建築材料・設備機材等品質性能評価事業」(社)公共建築協会)によって所定の品質・性能を有することの証明を受けた材料・機材等を使用する場合は、評価書の写しを監督職員に提出するものとする。			
	④ 保 険	本工事着手前に工事目的物及び工事材料等を、本工事完了後引渡し後日まで火災保険及びその他の保険に付し、写しを監督職員に提出する。			
	⑤ 施工計画書および施工図等	工事の着手に先立ち、工事の総合的な計画をまとめた施工計画書を作成し、監督職員に提出する。 工事の施工に先立ち、工種別施工要領書及び施工図等を作成し、監督職員の承認を受ける。			
	⑥ 工事実施情報の登録	該負額が500万円以上の場合は、CORINSに登録する。 受注時、変更時及び完成時にあらかじめ監督職員の確認を受け、登録手続きを行い、工事カルテの受領証を監督職員に提出のこと。			
	⑦ 手続き	工事の着手、施工及び完成において、官公署その他関係機関へ必要な手続き等は監督職員と協議の上、該負者が迅速なく処理する。なお、当該手続きに係る費用は該負者の負担とする。			
	⑧ 事故報告	施工中に事故が発生した場合は、直ちに監督職員に通報するとともに、「事故報告書」(任意様式)を別に指示する期日まで監督職員に提出する。			
	⑨ 電気保安技術者	電気工作物に係る工事においては、電気保安技術者を置くものとする。			
	⑩ 足場、さん棚等	・ 別契約の関係請負者が設置したものは、無償で使用できる。 ○ 本工事で設置する。 なお、特種足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン」(厚生労働省平成21年4月改訂)によるものとし、二段手すり及び橋本等の機能を有するものでなければならない。			
一 般 共 通 事 項	⑪ 工事表示板	※ 設置する(海老名市公共工事共通事項書による) ・ 設置しない			
	⑫ 監督員事務所	※ 設けない ・ 設ける			
	⑬ 工事用電力、水、他	建築工事特記仕様書による。			
	⑭ 工事用仮設物	構内につくることが ※ できる ・ できない			
	⑮ 発生材の処理等	PCBを含有する機器等については、飛散・流出がないように現場において適切な場所に保管すること。 保管場所は監督職員との協議による。			
	⑯ 発生材の処理等	発生材の処理 ・ 引渡しを要するもの (・ PCB使用機器) ・ 特別処理要廃棄物 (・ 中央監視装置) ・ 変圧器等・所在地 (・ 金属管配線) ・ 現場において再利用を図るもの (・ 再資源化を図るもの)			
一 般 共 通 事 項	⑰ 残土処理	※ 構内指示の場所に敷き出し ・ 構内指示の場所に堆積 ・ 構外搬出			
	⑱ 設置施工	設置施工における設備機器の固定は、「建築設備耐震設計・施工指針」(建設省住宅局建築指導課監修)による。 本工事の施設分類は、「特定の施設 ・ 一般の施設」で地域係数は1とし、設計用標準水平震度は下表のとおりとする。なお、()内の数値は防災支援の機能を有するものでなければならない。			
		設計用標準震度			
		特定の施設			
		一般の施設			
		設置場所			
		重要機器			
		一般機器			
		上層部・屋上及び屋頂			
		中間部			
一 般 共 通 事 項		一階及び地下下層			
		重要機器			
		一般機器			
		重要機器			
		一般機器			
		重要機器			
		一般機器			
		重要機器			
		一般機器			
		重要機器			

19. 他工事との工事区分		他工事との工事区分は図面に特記なき場合、別途「工事区分表」による。
20. 保温、結露防止		外部に面する壁、天井でFPP板(スタイロフォーム等)打込み箇所に取付ける位置ボックスなどは、保温、結露防止処理を行う。
21. 電線類		本工事ででは環境配慮の観点から、原則としてEMケーブルを使用するものとする。 なお、標準仕様書第6編 通信情報設備工事 第1章 機材 第1節 電線類等 表1.1.1 電線類に「EM-MEE-S」を追加する。
22. 合成樹脂製可とう管		合成樹脂製可とう管は、P管とする。(温度による分類はタイプ25を標準とする)
23. 二種金属製可とう管		露出箇所 ・ ビニル被覆あり ・ ビニル被覆なし いんべい箇所 ・ ビニル被覆あり ・ ビニル被覆なし
24. 電線本数、管路など		分岐箱、制御盤、端子盤などの2次側以降の配線経路、電線太さ、電線本数、管径などは、監督職員の承認を受けて変更してもさしつかえない。 また、機械室等の床配線は図面上P管で記載している場合であっても、立上り部分等の露出配管部分は金属管とし、その場合は全長にわたって接地線を設ける。 長さ1m以上の連続しない電線管には、1.2mm以上のビニル被覆鉄線を連続する。
25. 呼び線		図面に特記なき場合、(※ 金属製(ステンレス・新金属も含む) ・ 樹脂製)とする。
26. フラッシュプレート		※ 水平高低調節付(空転防止リング付) ・ 鋼合金製 ・ アルミ合金製
27. フロアプレート・ベース		※ 鋼合金製 ・ アルミ合金製
28. 支持金物、固定金物		屋外の機器及び配管に使用する支持金物(ボルト・母)はステンレス製(SUS304)とし、屋外機器のアンカーボルトのナットには、ナットキャップ(樹脂製)を取り付ける。 また、振動をとなす機器の支持金物のナットは、ダブルナットとする。
29. あと施工アンカー		施工方法 ・ 接着系 (※ 有機系 ・ 接着剤) ・ 金属拡張系 (※ 本体打込式 ・) 性能・施工確認 ※ 行わない ・ 行う
30. 接地線の種別・表示等		接地線の図面は図面に特記なき場合、下表による。なお、EBの長さは1,500mmとする。 ただし、D=10は1,000mm、W=30は1,200mmとする。 被圧機器及び屋外灯用接地線の埋設深は不変とする。
		接地線の種別 記号 接地抵抗値 接地線の規格、数量
		・ 管束機設備用接地 ELA Q以下 EB(D=14又はW=40)×3連-2組
		・ 管束機設備用接地 ELA Q以下 EB(D=14又はW=40)×3連-2組
		・ 共用接地 EA・ED・ELH 10Ω以下 EB(D=14又はW=40)×3連-2組
		・ 共用接地 EA・ED・ED 10Ω以下 EB(D=14又はW=40)×3連-2組
		・ A種 EA 10Ω以下 EB(D=14又はW=40)×3連-2組
		・ B種 EB Q以下 EB(D=14又はW=40)×3連-2組
		・ C種 EC Q以下 EB(D=14又はW=40)×3連-2組
		・ D種 ED 10Ω以下 EB(D=14又はW=40)×3連-2組
		・ 構内交換機(橋脚)用 ET Q以下 EB(D=14又はW=40)×3連-2組
		・ 本配線の保安装置 EAt 10Ω以下 EB(D=14又はW=40)×3連-2組
		・ 電圧引込口の保安器 EDt 10Ω以下 EB(D=14又はW=40)×3連-2組
		・ 防雷電極 EDa 10Ω以下 EB(D=14又はW=40)×3連-2組
		・ 防犯装置 ES Q以下 EB(D=14又はW=40)×3連-2組
		・ 測定用 Eo EB(D=10又はW=30)×3連-2組
		・ 避雷器用(低圧用) ELL 10Ω以下 EB(D=14又はW=40)×3連-2組
		・ 避雷器用(高圧用) ELH 10Ω以下 EB(D=14又はW=40)×3連-2組
		・ 構造体接地 建築構造体利用(通信用も含む)
31. 塗装工事		下記部位に使用する外面の塗装電線の露出配管には塗装を施す。 ・ 屋外 ・ 屋上 ○ 屋内
32. 山留め		切取図面にその箇所の土質に見合った勾配を保って掘削できる場合を除き、掘削の深さが1.5mを超える場合には、山留めを行うものとする。
33. 舗装工事		国土交通省大臣官庁官庁業務部監修の公共建築工事標準仕様書(建築工事)22章(舗装工事)及び建築工事監理指針(舗装工事)による。
34. はつり		既存コンクリート床、壁などの配管貫通は、原則としてダイヤモンドカッターによる。
35. 再使用機器		再使用する機器は、現場内で清掃、絶縁抵抗測定の上、取り付ける。
36. 撤去後の修繕等		機器撤去後の天井、壁及び床等の修繕は、既存仕上げと同等とする。なお、施工に際し、既存設備及び施設に損傷を及ぼした場合は、原状に復旧する。
37. アスベスト		アスベストについては、労働安全衛生法(石綿障害予防規則)、廃棄物処理法等に則り処理を行うこと。
1. 工事範囲		○ 配管 ○ 配線 ○ 分電盤類
2. 電気方式		・ 幹線 単相3線式 100/200V 50Hz ・ 分岐 単相3線式 100/200V ・ 分岐 単相2線式 100V
3. 施工方法		幹線 ○ 金属管配線 ○ ケーブル配線 分岐 ○ 合成樹脂管配線 ○ 金属管配線 ○ ケーブル配線 分岐 ○ 合成樹脂管配線 ○ 金属管配線 ○ ケーブル配線 屋外露出 ○ 合成樹脂管配線 ○ 金属管配線 ○ ケーブル配線 ボックス ○ 合成樹脂製 ○ 金属製
4. 蛍光灯		蛍光灯器具安定器の種別および点灯方式、力率、定格入力電圧、周波数は図示以外は下記による。
5. 蛍光ランプ		・ 省エネ形 (・ 全部 ・ 暖房を行う部屋、廊下などに限る。) ・ 一般形
6. 蛍光ランプ器具		※ 電池内蔵形 ・ 電源別置形 ※ 飛び出し形 ・ 外部別置形
7. 照度測定		照度測定は、原則、本工事範囲全てで行うものとするが、これにより難い場合は監督職員との協議による。
8. ハイテンションアウトレット		※ 鋼合金製 ・ アルミ製
1. 工事範囲		・ 配管 ・ 配線 ・ 制御盤類
2. 電気方式		・ 幹線 三相3線式 200V 50Hz ・ 分岐 三相3線式 200V
3. 施工方法		・ 金属管配線 ・ ケーブル配線 分岐 ・ 合成樹脂管配線 ・ 金属管配線 屋外露出 ・ 合成樹脂管配線 ・ 金属管配線 ボックス ・ 合成樹脂製 ・ 金属製
4. 警報型		※ 壁掛形(電源装置 ※ 内蔵 ・ 別置) ・
5. 電圧開閉用押切(遠方操作用)		※ 埋込用形配線器具
6. 機器への接続		電動機などへの接続は本工事とする。
7. 電動機等の接地		図示以外は金属管接地とする。
8. 進相用コンデンサ		各負荷ごとに適合するコンデンサを取り付ける。
9. 電気自動車用急速充電装置		・ 機器類 ・ 定格容量 kVA

電 気 設 備	1. 電気方式	幹線 相 線式 V 50Hz 分岐 相 線式 (m) (m)
	2. 施工場所及び面積	
	1. 工事範囲	・ 受電部 ・ 引下げ導線 ・ 接地機設備
	2. 受電部	・ 変換 ・ 導上導線 ・ 笠木(別途)など
	3. 送電導線	・ 引下げ導線 ※ 建築構造体利用
	4. 接地機	※ 接地機設備 ・ 建築構造体利用
	5. 測定用補助接地機	・ 設置
	1. 工事範囲	・ 機器類
	2. 電気方式	・ 高圧 三相3線式 6kV 50Hz ・ 低圧 三相3線式 200V ・ 低圧 単相3線式 100V/200V
	3. 引込ケーブル	・ EM-CET38' ・ EM-CET60' ・ EM-CE38'-3C ・ EM-CE60'-3C
変 圧 機	4. 配電盤	・ 屋内形 ・ 屋外形(防塵処理及び結露対策を施す) ・ キュービクル式変電所 ・ 高圧開閉器設備
	5. 主遮断装置	※ 限流ヒューズ及び高圧負荷開閉器(PF-8) ・ 高圧交流遮断器(CB) 定格遮断電流 kA
	6. 高圧機器類	・ 油入式 ・ 乾式
	7. 変圧器	・ 単相変圧器 kVA ・ 三相変圧器 kVA (油入式・JIS C4304-2005適合品・乾式・JIS C4306-2005適合品)
	8. 進相用コンデンサ	※ 低圧 ・ 高圧 ・ 6% ・ 13%
	9. リアクトル	・ 6% ・ 13%
	10. 自励力率制御装置	※ 無効電力検出方式 ・ 力率検出方式
	11. 測定用補助接地機	・ 設置
	1. 直流電線保護	※ 非常用照明器具電源、受変電設備制御電源供用 ・ 受変電設備専用 ・ 非常用照明器具専用 蓄電池 ・ 鉛蓄電池 (・ HS ・ CS ・ MSE) ・ アルカリ蓄電池 (・ AH ・ AMH)
	2. 交流無停電電源装置	用途 (kVA 容量) 蓄電池 ・ 鉛蓄電池 (・ HS ・ CS ・ MSE) ・ アルカリ蓄電池 (・ AH ・ AMH)
発 電 機	1. 工事範囲	・ 機器類
	2. 形 式	・ 簡易形 ・ キュービクル式 ・ オープン形 ・ 屋外形
	3. 発電機	電気方式 三相3線式 50Hz 電圧 V 定格出力 kVA
	4. 原動機	種類 ・ ディーゼル ・ ガスタービン 定格出力 kW以下 (PS以上) 始動方式 ※ 電気式 ・ 空気式 冷却方式 ・ ラジエータ式 ・ 水冷循環式
	5. 燃 料	種類 ・ 軽油 ・ 灯油 ・ A重油 燃料小出槽 L 主制御機 ・ なし ・ あり (・ 別途 ・ 本工事)
	6. 太陽光発電装置	太陽電池アレイパネル出力 kW パワーコンディショナ 相 線式 定格出力 kW
構 内 交 換 機	1. 工事範囲	・ 交換機 ・ 電話機 ・ 配線 (・ 全部 ・ 端子盤以降)
	2. 電話交換機	線式 ・ ボタン電話装置 ・ PBX 回線数 回線 回線 回線 回線
	3. 電話機への配線	・ EM-BTIEE (埋込型・外形寸法約200×8)1.5m ・ ワイヤプロテクタ (・ 納入する ・ 取り付ける)
	4. ローテンションアウトレット(亀甲形)	※ 一般電線用 個 (・ 納入する ・ 取り付ける) ※ 鋼合金製 ・ アルミ製
	5. 保安部用接地	※ 本工事 ・ 別途施工
	1. 工事範囲及び施工方法	項 目 配 管 配 線 機 器 類 合 成 樹 脂 管 配 線 金 属 管 配 線 ケーブル配線
		・ 構内情報通信設備
		・ 情報表示
		・ 映像・音響
		・ 伝導・音響
構 内 交 換 機	3. 電話機への配線	・ EM-BTIEE (埋込型・外形寸法約200×8)1.5m ・ ワイヤプロテクタ (・ 納入する ・ 取り付ける)
	4. ローテンションアウトレット(亀甲形)	※ 一般電線用 個 (・ 納入する ・ 取り付ける) ※ 鋼合金製 ・ アルミ製
	5. 保安部用接地	※ 本工事 ・ 別途施工
	1. 工事範囲及び施工方法	項 目 配 管 配 線 機 器 類 合 成 樹 脂 管 配 線 金 属 管 配 線 ケーブル配線
		・ 構内情報通信設備
		・ 情報表示
		・ 映像・音響
		・ 伝導・音響
		・ 伝導・音響
		・ 伝導・音響
構 内 交 換 機	3. 電話機への配線	・ EM-BTIEE (埋込型・外形寸法約200×8)1.5m ・ ワイヤプロテクタ (・ 納入する ・ 取り付ける)
	4. ローテンションアウトレット(亀甲形)	※ 一般電線用 個 (・ 納入する ・ 取り付ける) ※ 鋼合金製 ・ アルミ製
	5. 保安部用接地	※ 本工事 ・ 別途施工
	1. 工事範囲及び施工方法	項 目 配 管 配 線 機 器 類 合 成 樹 脂 管 配 線 金 属 管 配 線 ケーブル配線
		・ 構内情報通信設備
		・ 情報表示
		・ 映像・音響
		・ 伝導・音響
		・ 伝導・音響
		・ 伝導・音響
構 内 交 換 機	3. 電話機への配線	・ EM-BTIEE (埋込型・外形寸法約200×8)1.5m ・ ワイヤプロテクタ (・ 納入する ・ 取り付ける)
	4. ローテンションアウトレット(亀甲形)	※ 一般電線用 個 (・ 納入する ・ 取り付ける) ※ 鋼合金製 ・ アルミ製
	5. 保安部用接地	※ 本工事 ・ 別途施工
	1. 工事範囲及び施工方法	項 目 配 管 配 線 機 器 類 合 成 樹 脂 管 配 線 金 属 管 配 線 ケーブル配線

凡例	
G ● BL	避難口誘導灯 BL級 ガート付
⊕ 2	コンセント 2P15A×2
⊕ ² / ₆	コンセント 2P15A×2 ガートプレート付
⊕ 2 (抜止)	抜止コンセント 2P15A×2
⊕ ² / ₆ (抜止)	抜止コンセント 2P15A×2 ガートプレート付
☒	ﾌﾟﾚｯｸｽ (200×200×150) 鋼板製
×	撤去を示す。

※特記なき太線は撤去とする。

- 電灯盤 L-2 取外し MCCB3P 50AF/40AT×1 (400×600×200)
MCCB2P 30AF/20AT×6
- ・改修前： L-S 電灯盤 の主幹ﾌﾟﾚｯｶ1次側より電源供給
 - ・改修後： (新設) 電灯盤 L-1 の主幹ﾌﾟﾚｯｶ1次側より電源供給 (E-03参照)

電灯設備 既存 1 階平面図 1/100

工事件名：海老名市立海西中学校屋内運動場大規模改修工事



海老名市

図面名称

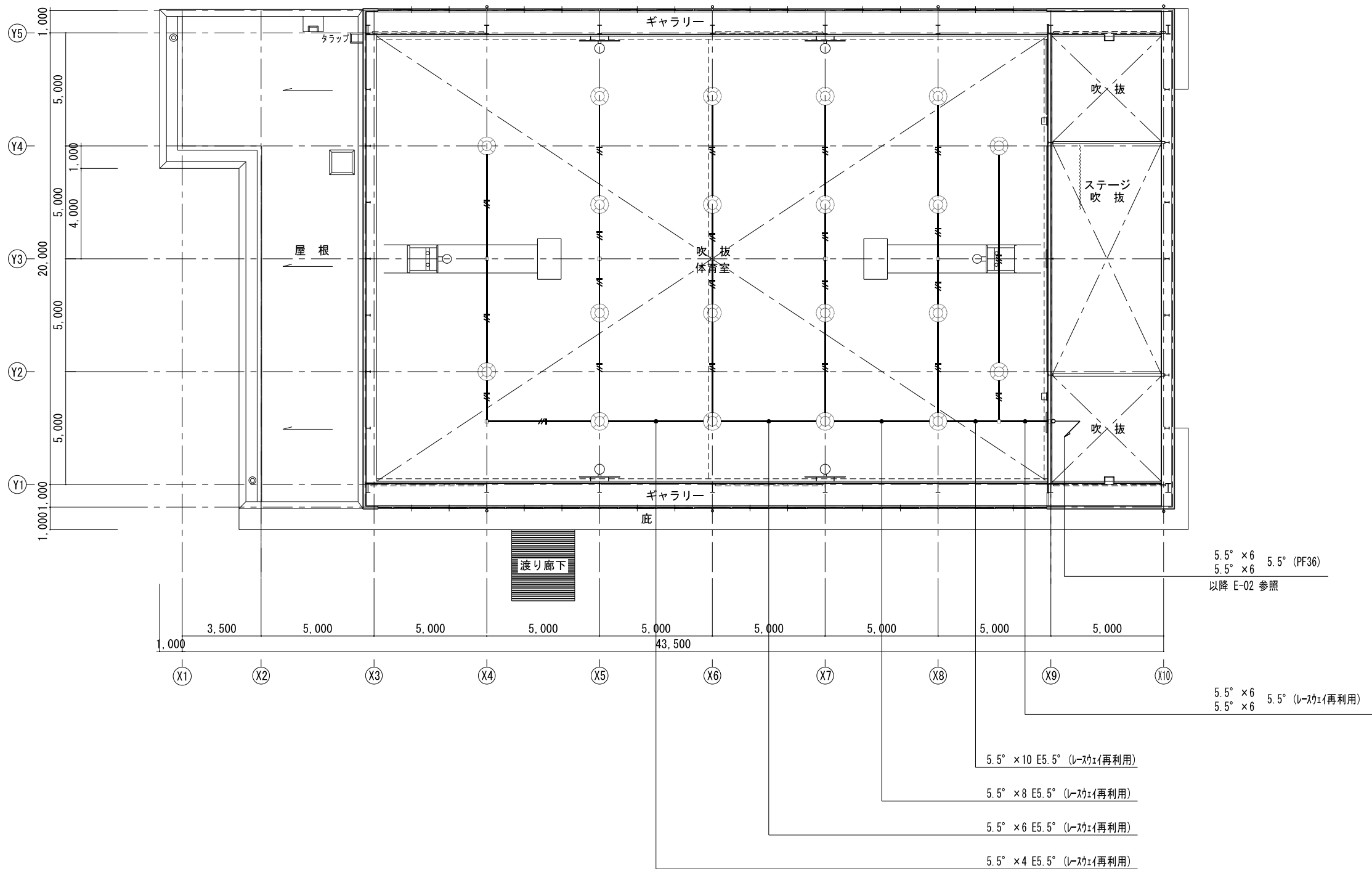
電灯設備 既存 1 階平面図

縮尺

A1:1/100 A3:1/200

図面番号

E- 02



特記なき配管配線は下記とする。	
	5.5° × 2 E5.5° (レスタイ再利用)

※特記なき太線は撤去とする。

工事件名：海老名市立海西中学校屋内運動場大規模改修工事



海老名市

図面名称

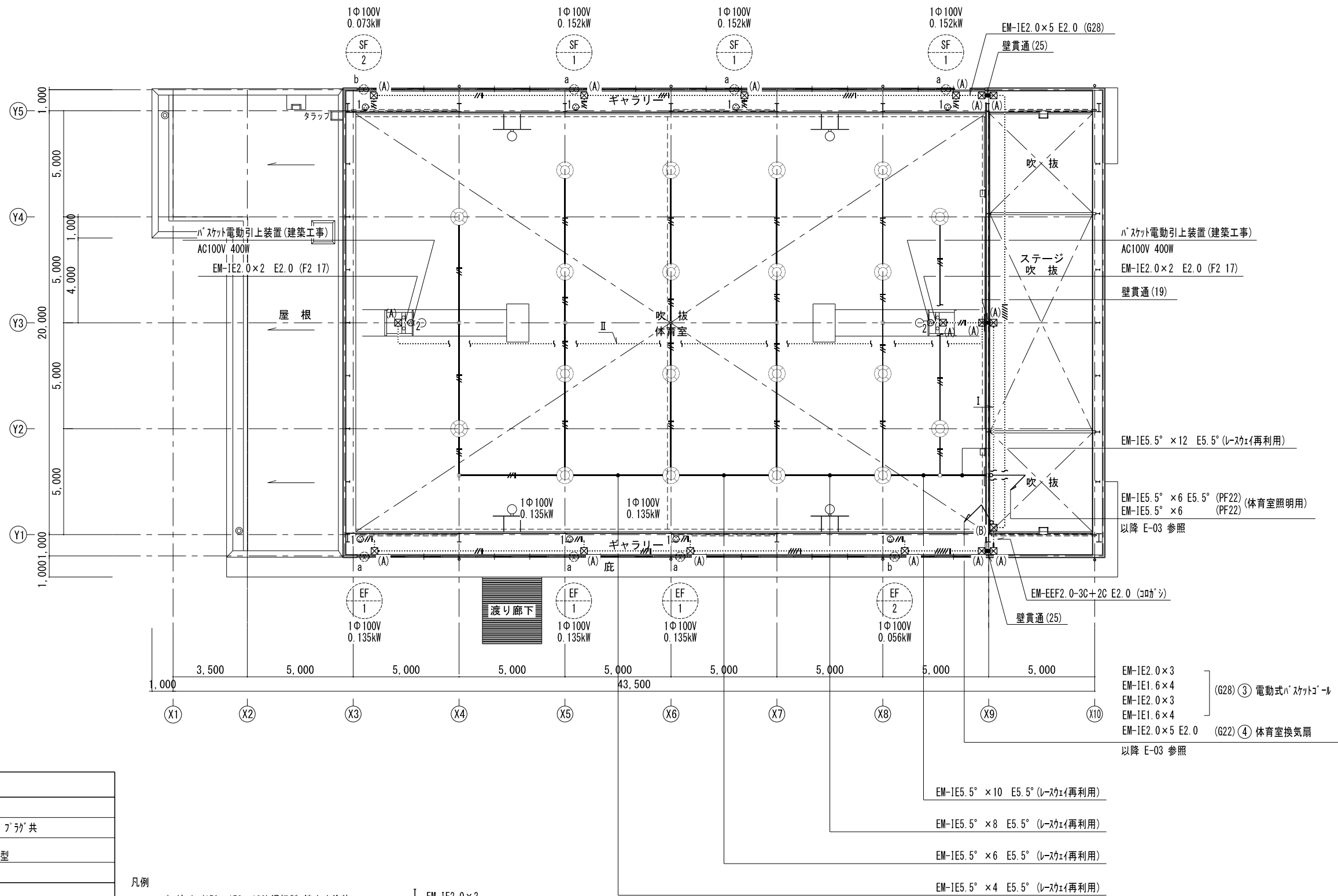
電灯設備 既存 2階平面図

縮尺

A1:1/100 A3:1/200

図面番号

E- 04



凡例	
	高天井LED照明器具(既設)
	引掛コンセント 2P15A×1 接地極付 プラグ 共
	引掛コンセント 2P15A×1 金属製プレート付 中四角 浅型
	有圧換気扇(機器設備工事)
特記なき配管配線は下記とする。	
	EM-IE5.5° ×2 E5.5° (レスタイリ再利用)
	EM-IE2.0×5 E2.0 (G28)
	EM-IE2.0×4 E2.0 (G28)
	EM-IE2.0×3 E2.0 (G22)
	EM-IE2.0×2 E2.0 (G22)

注1. 給気・排気ファンは連動運転とする。
※特記なき太線は新設とする。

凡例	
	Ⅰ EM-IE2.0×3 EM-IE1.6×4 EM-IE2.0×3 EM-IE1.6×4 (G28)
	Ⅱ EM-IE2.0×3 EM-IE1.6×4 (G22)
※()は接地端子付とする。	

電灯設備 改修 2階平面図 1/100

工事件名：海老名市立海西中学校屋内運動場大規模改修工事



海老名市

図面名称

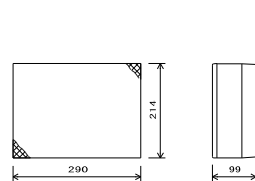
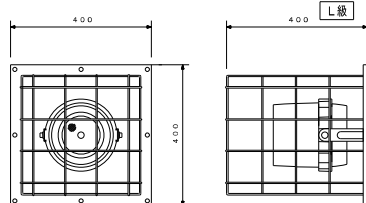
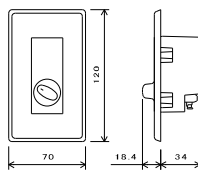
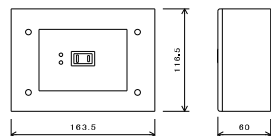
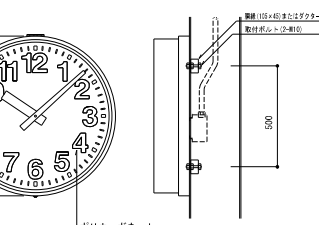
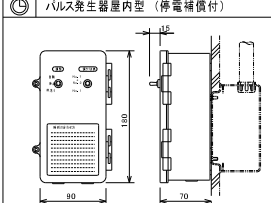
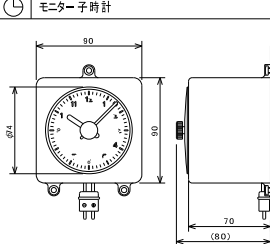
電灯設備 改修 2階平面図

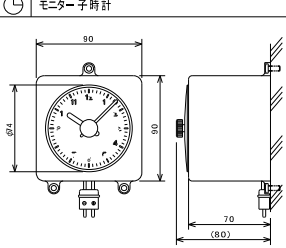
縮尺

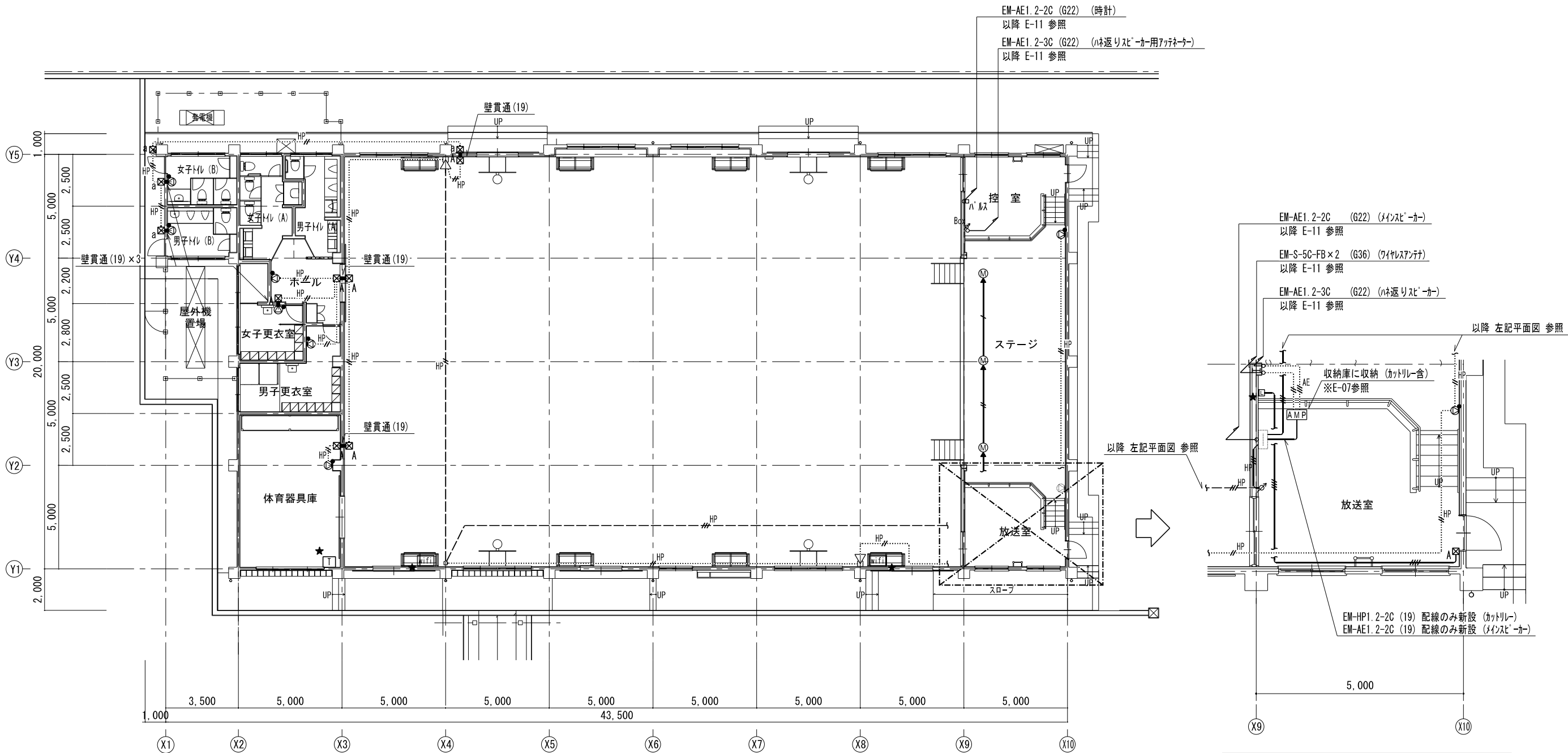
A1:1/100 A3:1/200

図面番号

E- 05

	木製壁掛型スピーカー A T T 付		ワイドホーンスピーカー (防球ガード付)		アッテネーター 6 W以下		電源カトリレー (露出ボックス付)																																																						
 <table><tr><td>定格入力</td><td>3 W (3.3 kΩ), 1 W (10 kΩ)</td></tr><tr><td>出力音圧レベル</td><td>95 dB (1 W, 1 m)</td></tr><tr><td>周波数特性</td><td>160 Hz~17 kHz</td></tr><tr><td>スピーカー</td><td>16 cmコーン型</td></tr><tr><td>仕 上</td><td>本体: 木製 ライトグレー</td></tr><tr><td>ネット</td><td>ジャージ ライトグレー</td></tr><tr><td>その他</td><td>差込型コネクターによるワンタッチ接続、音量調節器付</td></tr></table>		定格入力	3 W (3.3 kΩ), 1 W (10 kΩ)	出力音圧レベル	95 dB (1 W, 1 m)	周波数特性	160 Hz~17 kHz	スピーカー	16 cmコーン型	仕 上	本体: 木製 ライトグレー	ネット	ジャージ ライトグレー	その他	差込型コネクターによるワンタッチ接続、音量調節器付	 <table><tr><td>定格入力</td><td>6W (1.7 kΩ), 3W (3.3 kΩ), 1W (10 kΩ)</td></tr><tr><td>出力音圧レベル</td><td>96 dB (1W, 1m)</td></tr><tr><td>周波数特性</td><td>130 Hz~13 kHz</td></tr><tr><td>スピーカー</td><td>12 cm防滴コーン型</td></tr><tr><td>仕 上</td><td>ホーン・カバー: 樹脂 オフホワイト</td></tr><tr><td>その他</td><td>防水性能: 防まつ形、防球ガード付</td></tr></table>		定格入力	6W (1.7 kΩ), 3W (3.3 kΩ), 1W (10 kΩ)	出力音圧レベル	96 dB (1W, 1m)	周波数特性	130 Hz~13 kHz	スピーカー	12 cm防滴コーン型	仕 上	ホーン・カバー: 樹脂 オフホワイト	その他	防水性能: 防まつ形、防球ガード付	 <table><tr><td>入力容量</td><td>0.5~6 W</td></tr><tr><td>音量切換</td><td>5段階切換</td></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr></table>		入力容量	0.5~6 W	音量切換	5段階切換									 <table><tr><td>電 源</td><td>AC100 V 50/60 Hz</td></tr><tr><td>電力容量</td><td>最大800 W</td></tr><tr><td>電流容量</td><td>最大10 A</td></tr><tr><td>制御方式</td><td>制御電源によりAC100 V新制御</td></tr><tr><td>制御電流</td><td>DC24 V 0.3 mA</td></tr><tr><td>仕 上</td><td>パネル: アルミ</td></tr><tr><td>その他</td><td>露出ボックス付</td></tr></table>		電 源	AC100 V 50/60 Hz	電力容量	最大800 W	電流容量	最大10 A	制御方式	制御電源によりAC100 V新制御	制御電流	DC24 V 0.3 mA	仕 上	パネル: アルミ	その他	露出ボックス付		
定格入力	3 W (3.3 kΩ), 1 W (10 kΩ)																																																												
出力音圧レベル	95 dB (1 W, 1 m)																																																												
周波数特性	160 Hz~17 kHz																																																												
スピーカー	16 cmコーン型																																																												
仕 上	本体: 木製 ライトグレー																																																												
ネット	ジャージ ライトグレー																																																												
その他	差込型コネクターによるワンタッチ接続、音量調節器付																																																												
定格入力	6W (1.7 kΩ), 3W (3.3 kΩ), 1W (10 kΩ)																																																												
出力音圧レベル	96 dB (1W, 1m)																																																												
周波数特性	130 Hz~13 kHz																																																												
スピーカー	12 cm防滴コーン型																																																												
仕 上	ホーン・カバー: 樹脂 オフホワイト																																																												
その他	防水性能: 防まつ形、防球ガード付																																																												
入力容量	0.5~6 W																																																												
音量切換	5段階切換																																																												
電 源	AC100 V 50/60 Hz																																																												
電力容量	最大800 W																																																												
電流容量	最大10 A																																																												
制御方式	制御電源によりAC100 V新制御																																																												
制御電流	DC24 V 0.3 mA																																																												
仕 上	パネル: アルミ																																																												
その他	露出ボックス付																																																												
	壁掛け時計		パルス発生器 モニター時計																																																										
 子 時 計 参 考 姿 図		 <table><tr><td>定格</td><td>AC100V 50Hz/60Hz共用</td></tr><tr><td>消費電力</td><td>二ツ山実消費電力 DC24V 170mA</td></tr><tr><td>停電復帰時間</td><td>30秒以上</td></tr><tr><td>使用温度範囲</td><td>-10℃~+50℃</td></tr><tr><td>出力容量</td><td>80mA</td></tr><tr><td>出力電圧</td><td>DC24V有極30秒パルス</td></tr><tr><td>ケース</td><td>A35樹脂 アイボリー色</td></tr></table>		定格	AC100V 50Hz/60Hz共用	消費電力	二ツ山実消費電力 DC24V 170mA	停電復帰時間	30秒以上	使用温度範囲	-10℃~+50℃	出力容量	80mA	出力電圧	DC24V有極30秒パルス	ケース	A35樹脂 アイボリー色	 <table><tr><td>定格</td><td>DC24V有極30秒パルス 消費電流12mA</td></tr><tr><td>文字板</td><td>A35樹脂 白色 文字黒色印刷</td></tr><tr><td>材料</td><td>ABS 高強度</td></tr><tr><td>表面処理</td><td>アクリル 透明</td></tr><tr><td>ケース</td><td>A35樹脂 アイボリー色</td></tr></table>		定格	DC24V有極30秒パルス 消費電流12mA	文字板	A35樹脂 白色 文字黒色印刷	材料	ABS 高強度	表面処理	アクリル 透明	ケース	A35樹脂 アイボリー色																																
定格	AC100V 50Hz/60Hz共用																																																												
消費電力	二ツ山実消費電力 DC24V 170mA																																																												
停電復帰時間	30秒以上																																																												
使用温度範囲	-10℃~+50℃																																																												
出力容量	80mA																																																												
出力電圧	DC24V有極30秒パルス																																																												
ケース	A35樹脂 アイボリー色																																																												
定格	DC24V有極30秒パルス 消費電流12mA																																																												
文字板	A35樹脂 白色 文字黒色印刷																																																												
材料	ABS 高強度																																																												
表面処理	アクリル 透明																																																												
ケース	A35樹脂 アイボリー色																																																												



通信・情報設備 改修 1階平面詳細図 1/50

凡例			特記なき配管配線は下記とする。	
AMP	PAアンテナ ダイナミックワイヤレスチューナー ワイヤレスアンテナ混合分配器 SD/USB対応CDプレーヤー ※E-07参照	(拡声設備)		EM-UTP-4P (CAT6) (PF16) 配管のみ新設
				EM-HP1. 2-2C (19) 配線のみ新設
	既設端子盤			EM-HP1. 2-2C (G22) 新設
				EM-HP1. 2-3C (19) 配線のみ新設
	災害用特設公衆電話用端子盤	(音響設備)		EM-AE1. 2-3C (G22) 新設
wifi	wifiアンテナ	Box		EM-S-5C-FB×2 (G36) 新設
	モジュラージャック・MMA用ボックス(1個用)			EM-MEES0. 75-2C×1 (19) 配線のみ新設
	金属製ラックボックス 中四角 深型 丸型ラックプレート			EM-MEES0. 75-2C×2 (25) 配線のみ新設
★	再取付を示す。	(時刻表示設備)		EM-MEES0. 75-2C×3 (25) 配線のみ新設
		パネル		

※特記なき太線は新設とする。

通信・情報設備 改修 1階平面図 1/100

- 凡例
- ⓐ : プレートボックス(150×150×100)銅板製 錆止め塗装
 - ⓑ : プレートボックス(150×150×100)溶融亜鉛めっき 防水型
 - ⓒ : プレートボックス(200×200×150)銅板製 錆止め塗装
 - ⓓ : プレートボックス(200×200×150)溶融亜鉛めっき 防水型
 - ⓔ : プレートボックス(300×300×200)銅板製 錆止め塗装
 - ⓕ : プレートボックス(300×300×200)溶融亜鉛めっき 防水型
- ※()は接地端子付とする。

工事件名：海老名市立海西中学校屋内運動場大規模改修工事



海老名市

図面名称

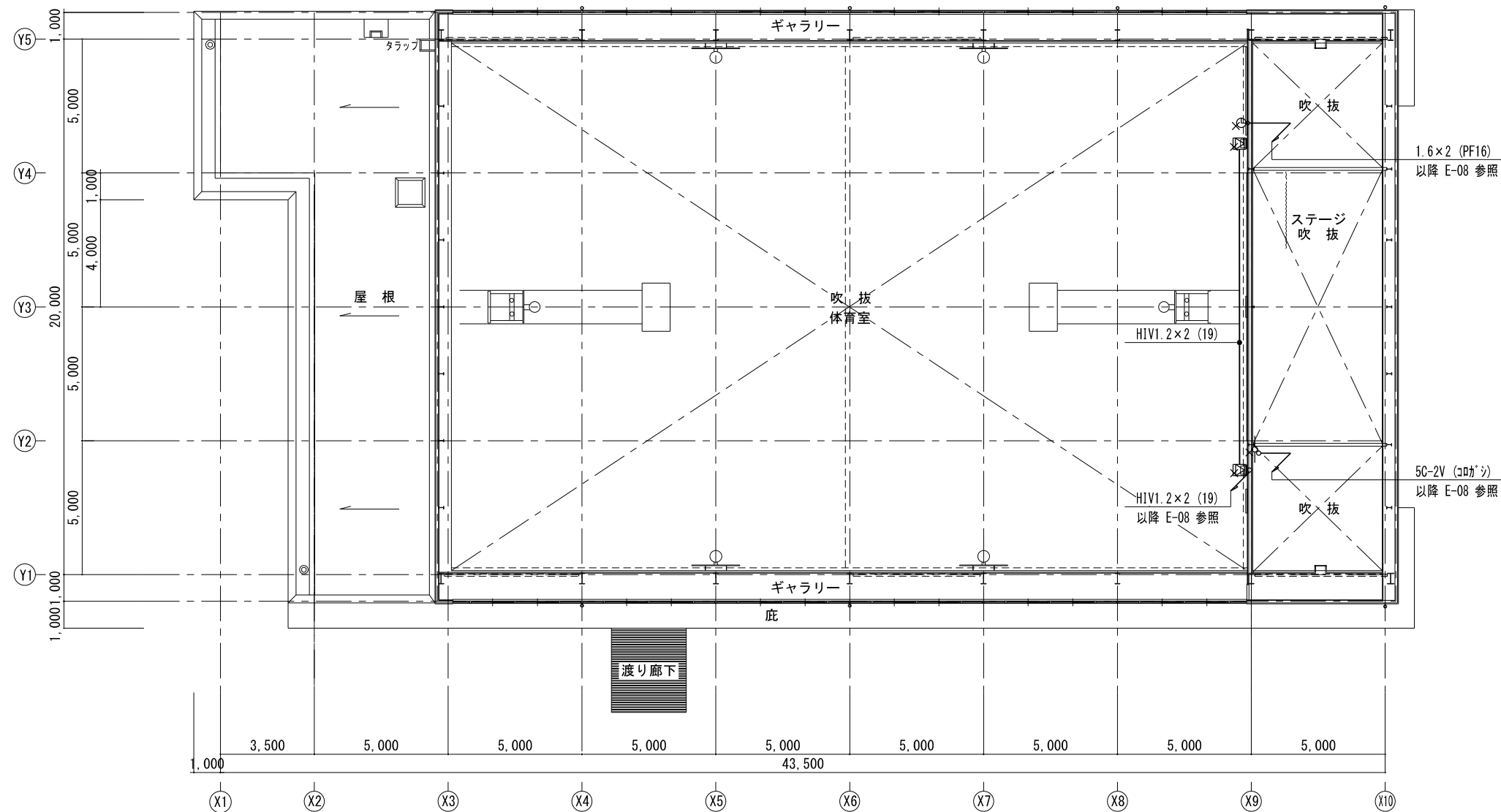
通信・情報設備 改修 1階平面図・平面詳細図

縮尺

A1:1/100 A3:1/200

図面番号

E- 09



凡例	
	メインスターカー
	壁掛け時計
	ワイヤレスアンテナ
	撤去を示す。

※特記なき太線は撤去とする。

通信・情報設備 既存 2階平面図 1/100

工事件名：海老名市立海西中学校屋内運動場大規模改修工事



海老名市

図面名称

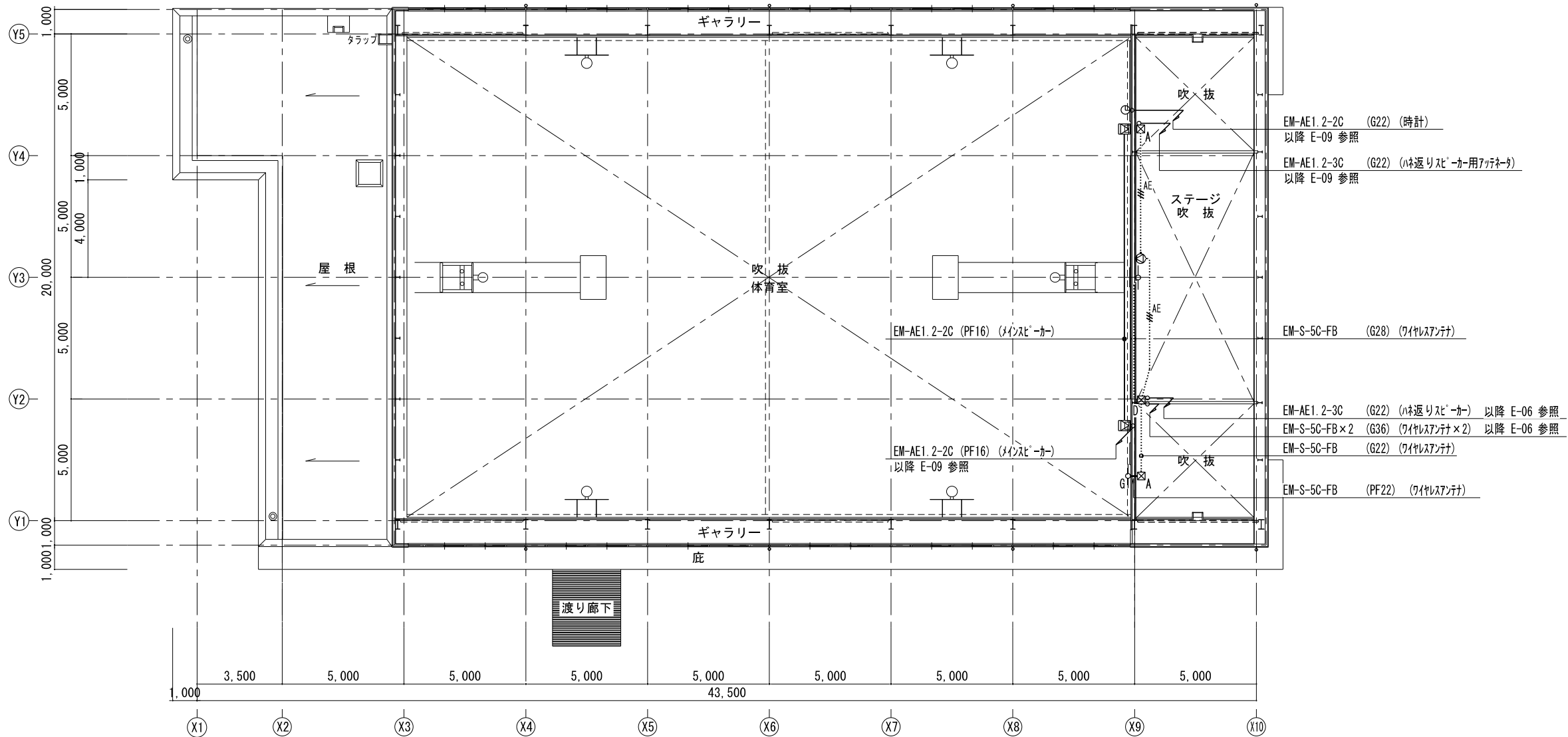
通信・情報設備 既存 2階平面図

縮尺

A1:1/100 A3:1/200

図面番号

E- 10



凡例	
	メインスピーカー
	ネットワークリピーター
	壁取付用ワイヤレスアンテナ
	壁取付用ワイヤレスアンテナ（防球ネット付）
	壁掛け時計
特記なき配管配線は下記とする。	
	EM-AE1.2-3C (G22)

- 凡例
- _A : プルボックス (150×150×100) 鋼板製 錆止め塗装
 - _a : プルボックス (150×150×100) 溶融亜鉛めっき 防水型
 - _B : プルボックス (200×200×150) 鋼板製 錆止め塗装
 - _b : プルボックス (200×200×150) 溶融亜鉛めっき 防水型
 - _D : プルボックス (300×300×200) 鋼板製 錆止め塗装
 - _d : プルボックス (300×300×200) 溶融亜鉛めっき 防水型
- ※ () は接地端子付とする。

※特記なき太線は新設とする。

通信・情報設備 改修 2階平面図 1/100

工事件名：海老名市立海西中学校屋内運動場大規模改修工事



海老名市

図面名称

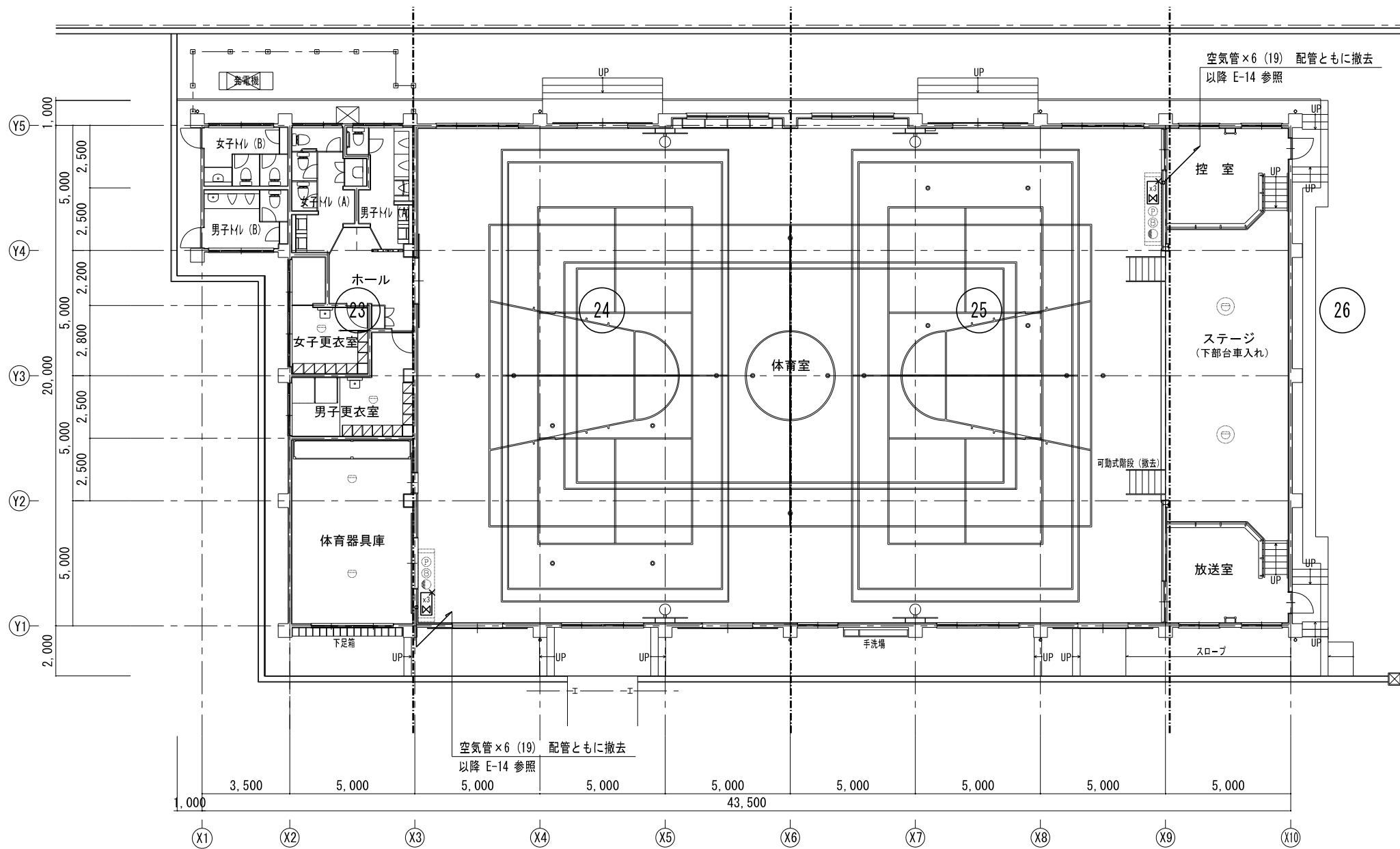
通信・情報設備 改修 2階平面図

縮尺

A1:1/100 A3:1/200

図面番号

E- 11



凡例	
⊖	差動式ｽﾏｰﾄ型感知器 2種
⊖	差動式ｽﾏｰﾄ型感知器 2種 ｽﾃｰｼﾞ下
Ⓟ	発信機 P型1級
Ⓢ	電鈴 DC24V
●	表示灯 AC24V
□	機器収容箱
⊗	差動式分布型感知器の検出部
—	差動式分布型感知器 (空気管式)
- - - - -	警戒区域境界線
(No)	警戒区域番号
×	撤去を示す。

※特記なき太線は撤去とする。

自動火災報知設備 既存 1階平面図 1/100

工事件名：海老名市立海西中学校屋内運動場大規模改修工事



海老名市

図面名称

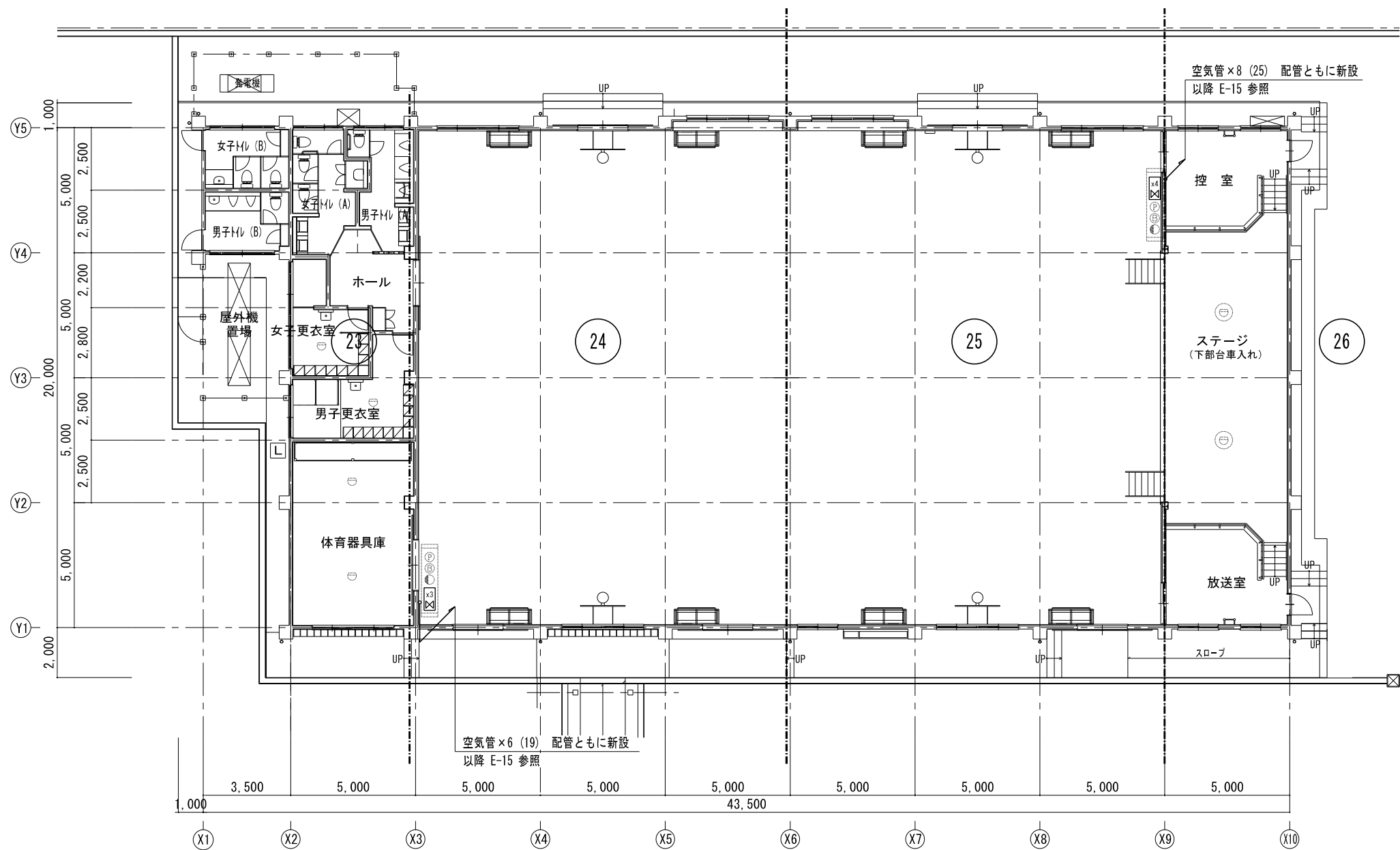
自動火災報知設備 既存 1階平面図

縮尺

A1:1/100 A3:1/200

図面番号

E- 12



凡例	
⊖	差動式ｽﾚｯﾄ型感知器 2種
⊕	差動式ｽﾚｯﾄ型感知器 2種 ｽﾃｰｼﾞ下
Ⓟ	発信機 P型1級
Ⓢ	電鈴 DC24V
●	表示灯 AC24V
□	機器収容箱
⊠	差動式分布型感知器の検出部
—	差動式分布型感知器 (空気管式)
- - - - -	警戒区域境界線
Ⓝ	警戒区域番号

※特記なき太線は新設とする。

自動火災報知設備 改修 1階平面図 1/100

工事件名：海老名市立海西中学校屋内運動場大規模改修工事



海老名市

図面名称

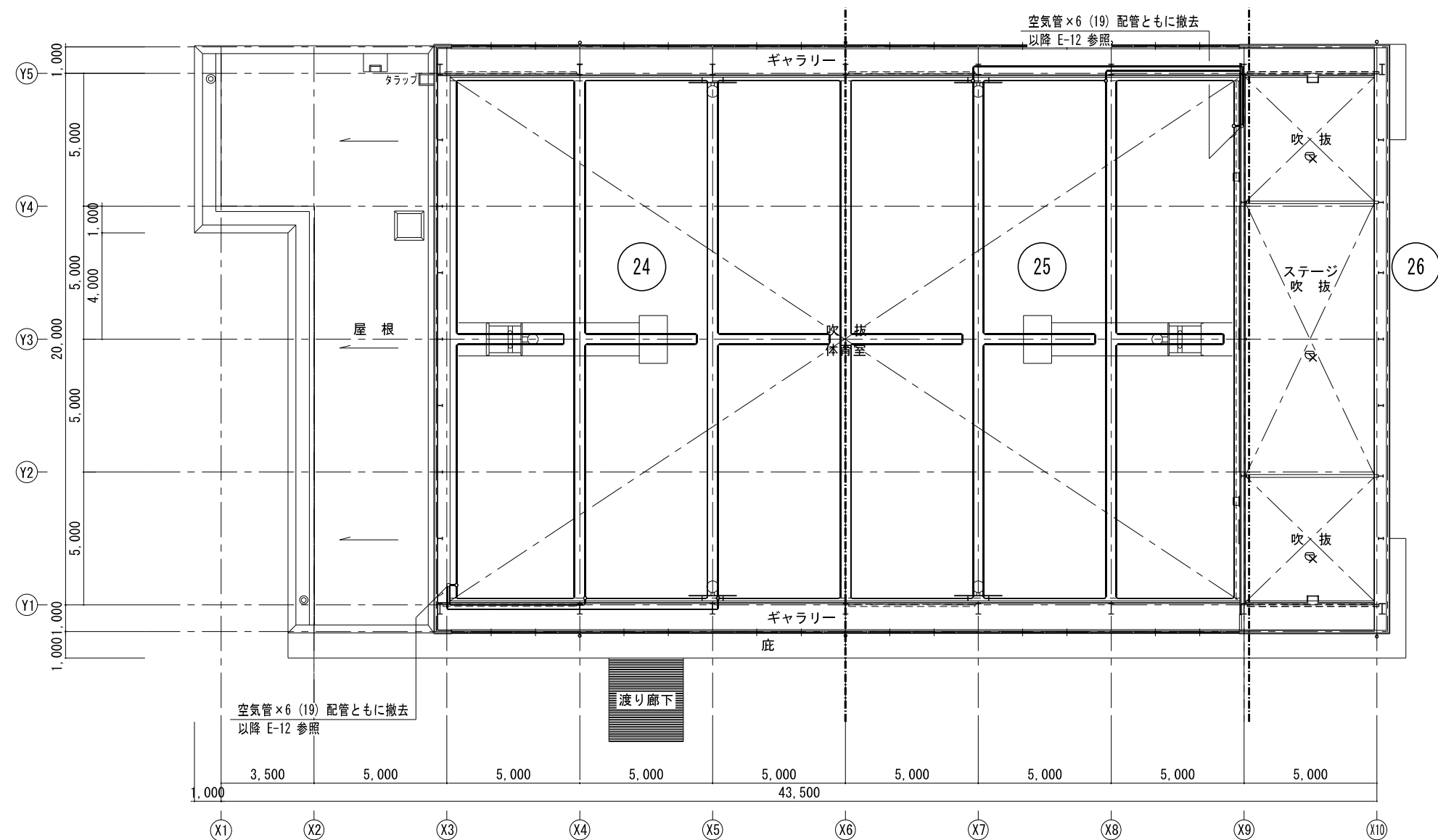
自動火災報知設備 改修 1階平面図

縮尺

A1:1/100 A3:1/200

図面番号

E- 13



凡例	
	差動式点検型感知器 2種
	差動式分布型感知器 (空気管式)
	警戒区域境界線
	撤去を示す。
	警戒区域番号

※特記なき太線は撤去とする。

自動火災報知設備 既存 2階平面図 1/100

工事件名：海老名市立海西中学校屋内運動場大規模改修工事



海老名市

図面名称

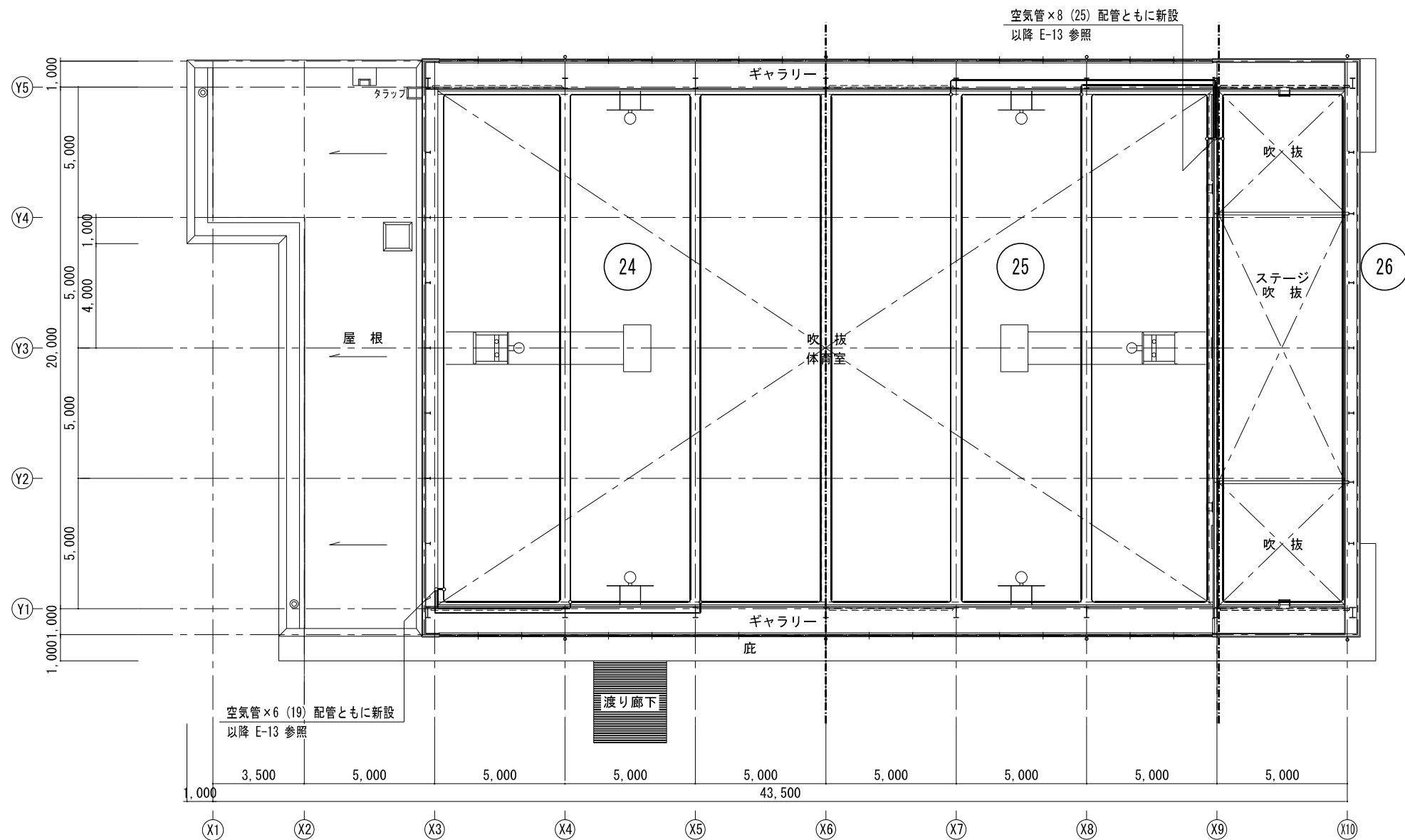
自動火災報知設備 既存 2階平面図

縮尺

A1:1/100 A3:1/200

図面番号

E- 14



凡例		
	差動式分布型感知器 (空気管式)	新設
	警戒区域境界線	
	警戒区域番号	

※図中、太線は今回工事を示す。

自動火災報知設備 改修 2階平面図 1/100

工事件名：海老名市立海西中学校屋内運動場大規模改修工事



海老名市

図面名称

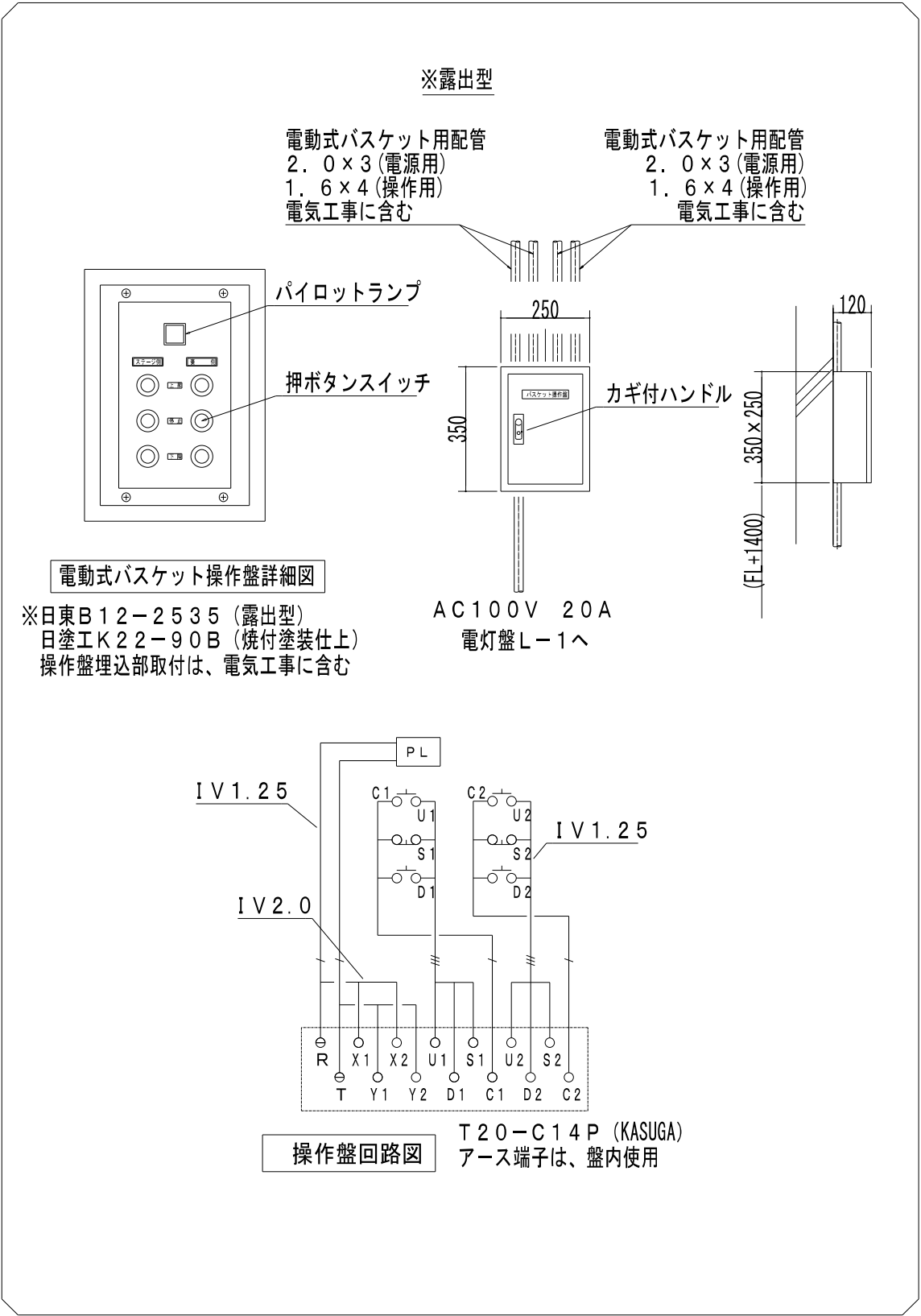
自動火災報知設備 改修 2階平面図

縮尺

A1:1/100 A3:1/200

図面番号

E- 15



[illegible]

切り取り面とその箇所の上質に見合った勾配を保って掘削できる場合を除き、掘削の深さが1.5mを超える場合には、山留めを行うものとする。

国土交通大臣官庁首席官庁幹部監修の建築工事標準仕様書22章（舗装工事）及び同監理指針（舗装工事）による。

図面に特記なき場合は、表「工事区分表」による。

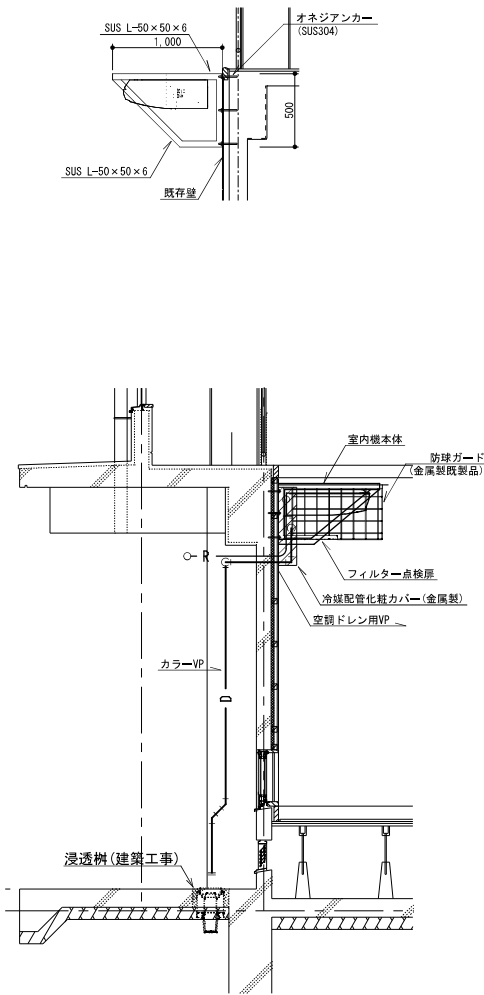
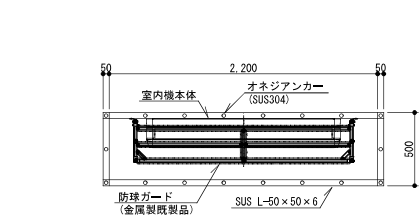
	海老名市	図面名称

工事写真
※ 作成する 作成しない

工事写真は、「海老名市公共工事デジタル写真管理要項」により撮影する。

注記：機器及びシステム参考図について

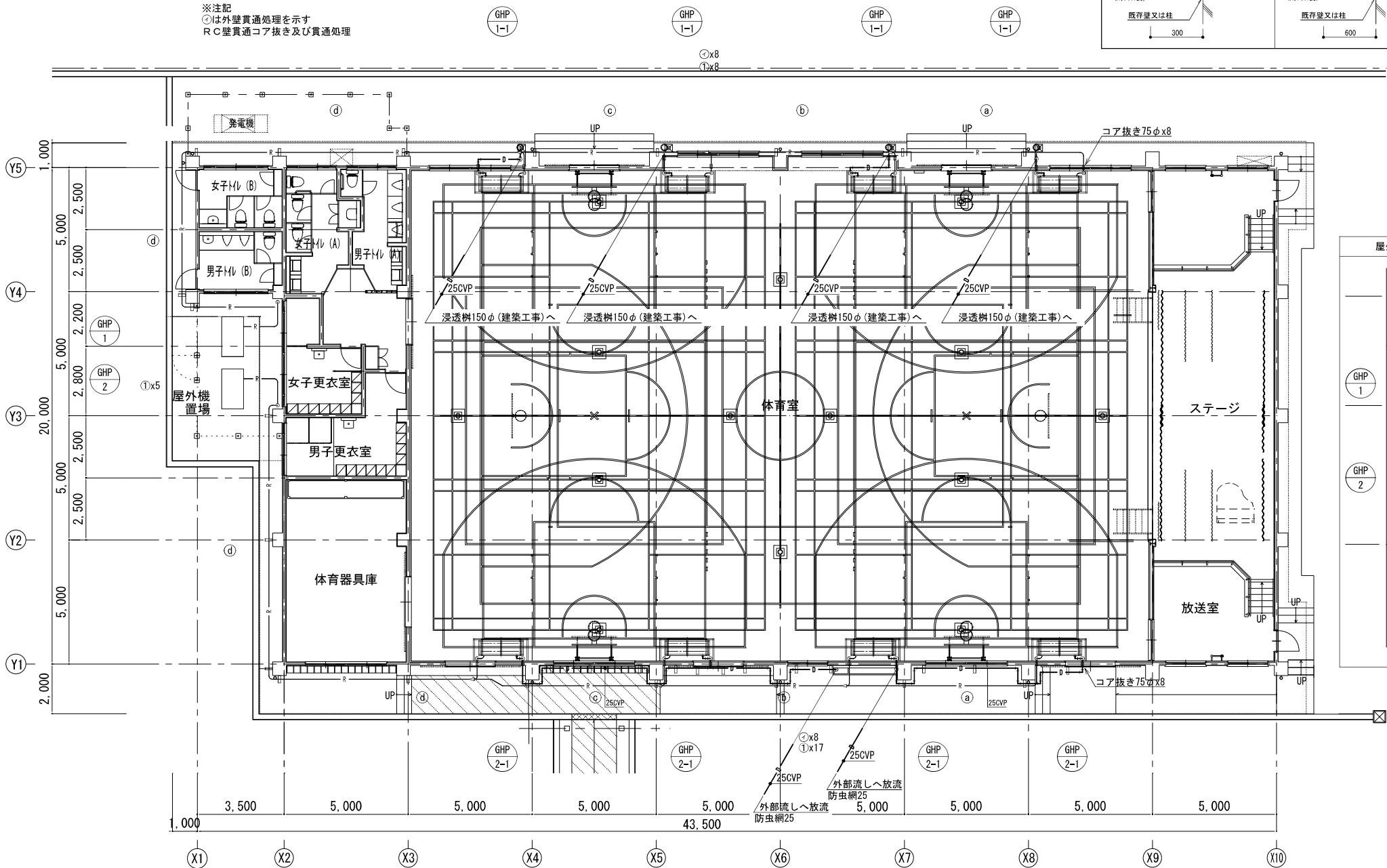
本図面中で、機器又はシステムの品質・グレードを規定する目的で、対象品の形状・材質、部材及びシステム構成等を参考図として記載している。
これらのものについては、その品質・性能が図面と同等もしくはそれ以上のものを使用するものととする。



室内機廻り詳細図 S=1:30

記号	冷媒管 (CUP) (液管/ガス管)	制御配線	電源配線
a	9.5φ/15.9φ	EM-CEES-1, 25~2C	EM-EEF-2, 0~3C
b	9.5φ/22.2φ	EM-CEES-1, 25~2C	EM-EEF-2, 0~3C
c	12.7φ/28.6φ	EM-CEES-1, 25~2C	EM-EEF-2, 0~3C
d	15.9φ/28.6φ	EM-CEES-1, 25~2C	EM-EEF-2, 0~3C

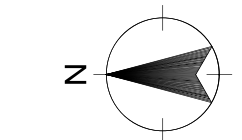
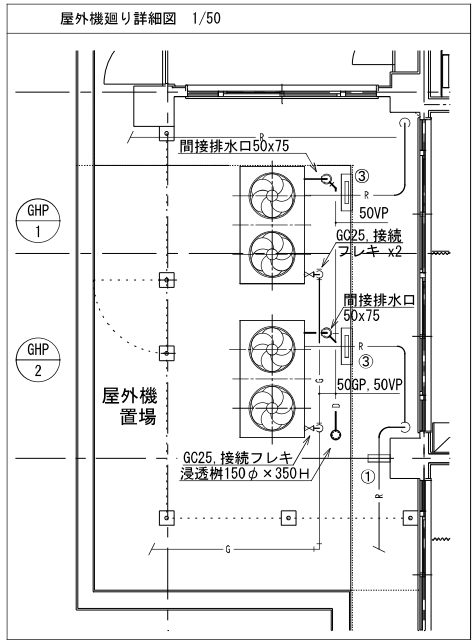
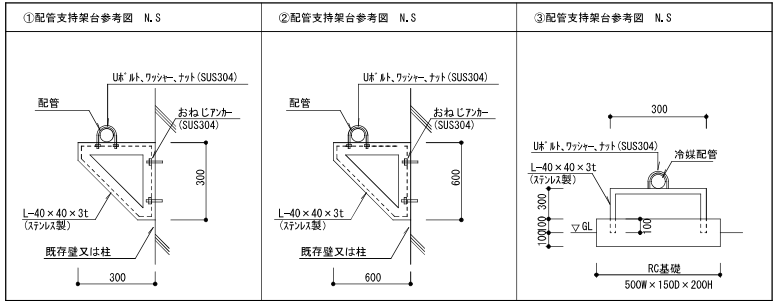
※注記
②は外壁貫通処理を示す
R C壁貫通コア抜き及び貫通処理



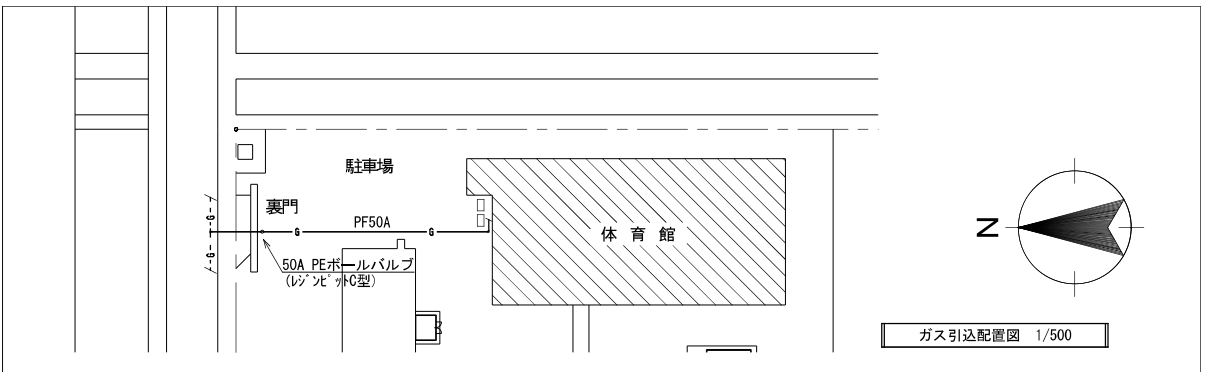
空調設備 改修 1階平面図 1/100

機器表

記号	機器名称	仕 様	電気容量			台数	設置場所		備 考
			相	電圧(V)	出力(kW)		階	室名	
GHP-1	室外機	形 式 : ガス吹き空冷ヒートポンプマルチエアコン (電源自立型)	1	200	1.33	2	1	室外機置場	コンクリート基礎 (建築工事)
GHP-2		冷 房 能 力 : 56.0kW 暖 房 能 力 : 63.0kW ガス消費量 : 13A 冷房49.2kW 暖房46.6kW (発電時)							
		冷 媒 : R410A 付属品 : SUS製基礎ボルト 防振ゴムパッド 冷媒分岐管×3							
		電源切替装置、その他標準付属品共							
GHP-1-1	室内機	形 式 : 天井形	1	200		8	1	体育館	金属製防球ガード
GHP-2-1		冷 房 能 力 : 14.0kW 暖 房 能 力 : 16.0kW 付属品 : ゴムパッド その他標準付属品共							
R	個別リモコン	形 式 : ワイヤードリモコン 機 能 : 運転・停止 温度・風量設定 異常・故障表示 週間タイマー 付属品 : 銀付リモコンボックス	1	100		2	1	控室1	
C	コインタイマー	形 式 : コインタイマー 仕様硬貨 : 100円硬貨 連続投入 50枚迄 運転時間 : 10分~190分(10分単位)	1	100	0.004	1	1	控室1	屋内機用中継基盤共 電源供給は電気工事



ガス引込配置図 1/500



工事件名：海老名市立海西中学校屋内運動場大規模改修工事



海老名市

図面名称

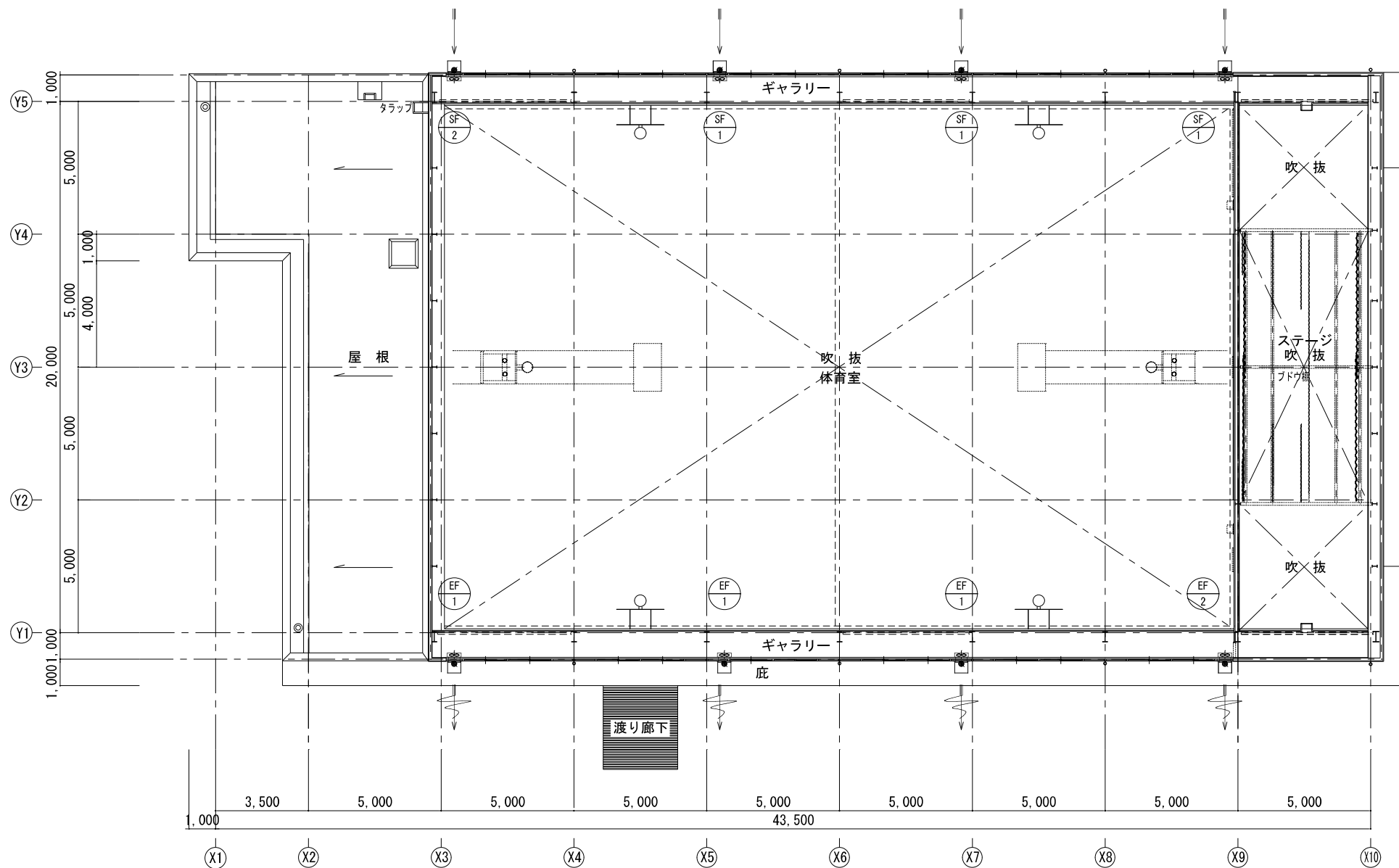
空調設備 改修 1階平面図

縮尺

A1:1/100 A3:1/200

図面番号

M-02

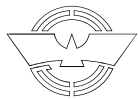


換気設備 改修 2階平面図 1/100

記号	機器名称	仕 様	電気容量			台数	設置場所		備 考
			相	電圧 (V)	出力 (W)		階	室名	
EF-1	排風機	形 式：銅板製有圧換気扇（低騒音形） 能 力：40cm × 2320m3/h × 50Pa 付属品：SUS製ウェザーカバー 外れ防止型コンセント バックガード、アタッチメント その他標準付属品共	1	100	135	3	2	体育場上部	（バックガードには電卓金網 巻き込み防止を施す。）
EF-2	排風機	形 式：銅板製有圧換気扇（低騒音形） 能 力：30cm × 1300m3/h × 40Pa （24時間換気 1300m3/h） 付属品：SUS製ウェザーカバー 外れ防止型コンセント バックガード、アタッチメント その他標準付属品共	1	100	56	1	2	体育場上部	（バックガードには電卓金網 巻き込み防止を施す。）

記号	機器名称	仕 様	電気容量			台数	設置場所		備 考
			相	電圧 (V)	出力 (W)		階	室名	
SF-1	排風機	形 式：銅板製有圧換気扇（低騒音形） 能 力：40cm × 2320m3/h × 50Pa 付属品：SUS製ウェザーカバー 外れ防止型コンセント バックガード、アタッチメント その他標準付属品共	1	100	152	3	2	体育場上部	（バックガードには電卓金網 巻き込み防止を施す。）
SF-2	排風機	形 式：銅板製有圧換気扇（低騒音形） 能 力：30cm × 1300m3/h × 40Pa （24時間換気 1300m3/h） 付属品：SUS製ウェザーカバー 外れ防止型コンセント バックガード、アタッチメント その他標準付属品共	1	100	73	1	2	体育場上部	（バックガードには電卓金網 巻き込み防止を施す。）

工事件名：海老名市立海西中学校屋内運動場大規模改修工事



海老名市

図面名称

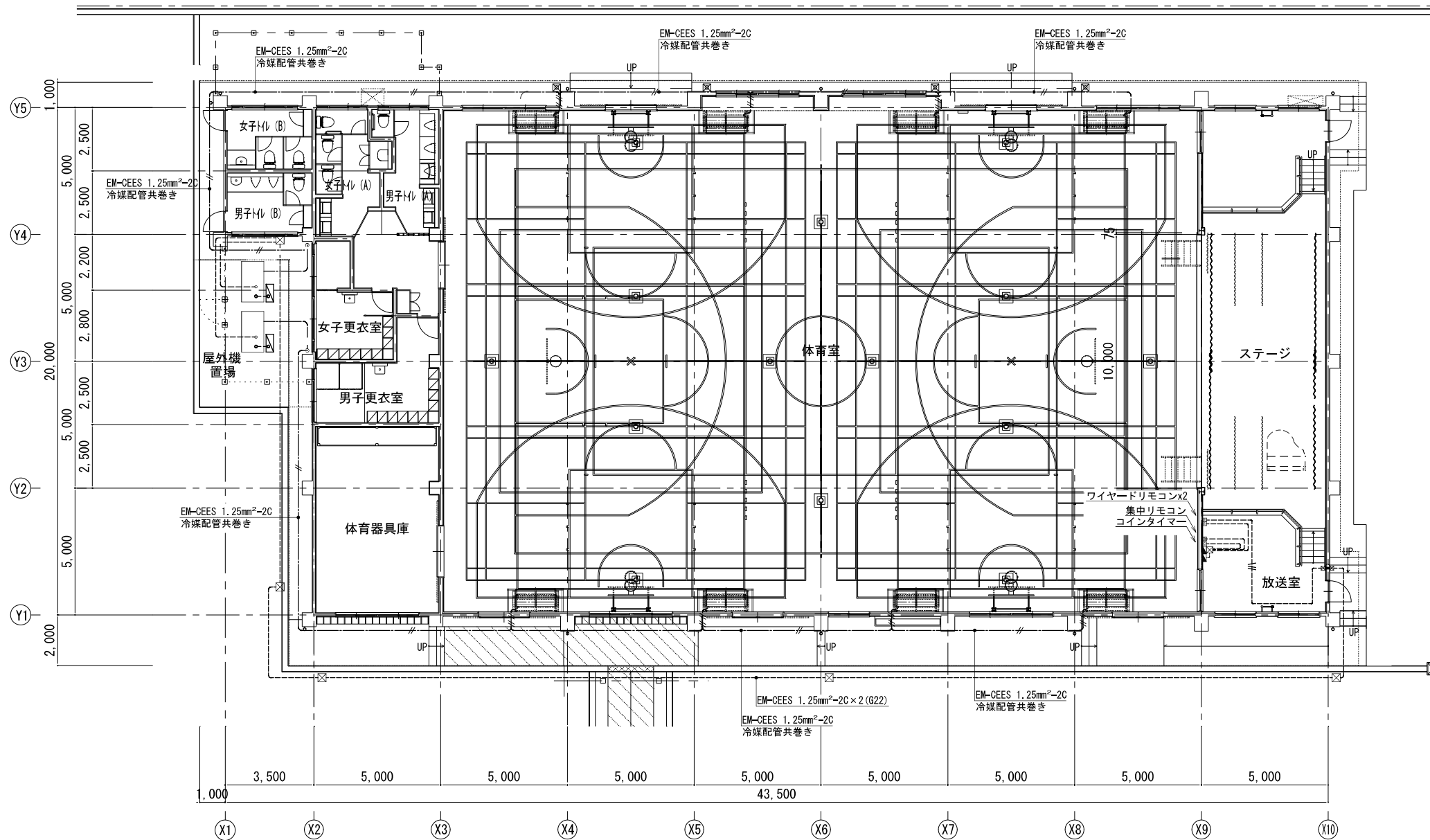
換気設備 改修 2階平面図

縮尺

A1:1/100 A3:1/200

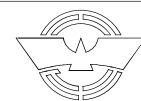
図面番号

M-03



計装設備 改修 1階平面図 1/100

工事件名：海老名市立海西中学校屋内運動場大規模改修工事



海老名市

図面名称

縮尺

計装設備 改修 1階平面図

A1:1/100 A3:1/200

図面番号

M-04